

瑞穂町町民意識調査報告書

～「瑞穂町長期総合計画 後期基本計画」策定に向けて～

平成17年 2 月

瑞 穂 町

目次

第1章 調査の概要

1 調査の目的.....	3
2 調査方法等.....	3
3 回収結果.....	3
4 報告書の注意事項.....	3
5 回答者の属性.....	6
(1) 性別.....	6
(2) 年齢.....	6
(3) 職業.....	7
(4) 職場・通学先.....	8
(5) 居住年数.....	9
(6) 居住地区.....	9

第2章 調査結果

1 瑞穂町の生活について.....	13
(1) 住みよさ.....	13
(2) 定住意向.....	15
(3) 住み続けたい理由.....	18
(4) 引っ越したい理由.....	19
(5) 生活行動の場所.....	20
2 瑞穂町の将来像や現状の評価について.....	28
(1) 将来像.....	28
(2) 社会が重視すべきこと.....	31
(3) 町政の各分野に対する評価.....	35
(4) 町政全体の満足感.....	49
(5) 土地利用のあり方.....	52
3 行政と町民の役割などについて.....	54
(1) 行政改革の重点.....	54
(2) 行いたい活動.....	57
(3) 行政への町民参加.....	59
(4) 公共施設の活用方法.....	61

第3章 前回調査結果との比較

1 回答者の属性について.....	65
(1) 性・年齢.....	65
(2) 仕事.....	65
(3) 居住の状況.....	66
2 瑞穂町の生活について.....	67
(1) 住みよさ.....	67
(2) 定住意向.....	69
(3) 住み続けたい理由.....	69
(4) 引っ越したい理由.....	70
(5) 生活行動の場所.....	71
2 瑞穂町の将来像や現状の評価について.....	73
(1) 将来像.....	73
(2) 社会が重視すべきこと.....	74
(3) 町政の各分野に対する評価.....	75
(4) 町政全体の満足感.....	82
(5) 土地利用のあり方.....	83
3 行政と町民の役割などについて.....	84
(1) 行政改革の重点.....	84
(2) 行いたい活動.....	85
(3) 行政への町民参加.....	86
(4) 公共施設の活用方法.....	87

第4章 調査結果のまとめ

1 瑞穂町の生活について.....	91
2 瑞穂町の将来像や現状の評価について.....	91
3 行政と町民の役割について.....	92

第5章 自由回答

1 意見のまとめ.....	95
2 自由回答.....	100

参考資料

1 調査票.....	131
------------	-----

第 1 章 調査の概要

1 調査の目的

平成13年度から平成22年度の10年間を計画期間とする「瑞穂町長期総合計画」の後期基本計画策定にあたり、これまで推進してきた前期基本計画に対する町民の評価、この間の町民意識の変化等を把握することを目的に本調査を実施した。

このため、前期基本計画の策定にあたり平成11年9月に実施した町民意識調査と同様の質問事項と、前期基本計画における各分野に関する質問事項を中心に調査した。

2 調査方法等

- | | |
|-----------|---|
| (1) 調査項目 | ・ 瑞穂町の生活について
・ 瑞穂町の将来像や現状の評価について
・ 行政と町民の役割などについて |
| (2) 調査地域 | 瑞穂町全域 |
| (3) 調査対象者 | 瑞穂町在住の20歳以上の男女3,000人 |
| (4) 抽出方法 | 無作為抽出法 |
| (5) 調査方法 | 郵送配布・郵送回収法(お礼状兼督促状を1回郵送) |
| (6) 調査期間 | 平成16年9月7日～平成16年9月21日 |
| (7) 調査機関 | (株)アイ アール エス |

3 回収結果

- | | |
|-----------|-------|
| (1) 有効回収数 | 1,403 |
| (2) 回収率 | 46.8% |

4 報告書の注意事項

調査結果の比率は、その設問の回答者数を基数として、小数点以下第2位を四捨五入して算出している。四捨五入の関係で、合計が100%にならない場合がある。

複数回答形式の場合、回答比率の合計は通常100%を超える。

図表中の「n」(net)とは、その設問への回答者数を表す。小数点以下1位まで示した数値は、回答比率(%)である。

選択肢の語句が長い場合、本文や表・グラフ中では省略した表現を用いている。

地区別の集計にあたっては、以下の6地区に区分した。

居住地区

地区名	町内会名
殿ヶ谷地区	安住町、表町、仲町、中芝町
石畑地区	東砂町、西砂町、丸町、神明町、表東町、表上町、上仲町、旭町
箱根ヶ崎地区	東一丁目、西一丁目・二丁目、東三丁目、中三丁目、西三丁目・四丁目・五丁目・六丁目・七丁目・八丁目・九丁目、松原町
長岡地区	長岡町、東長岡町、春日町、愛宕町、水保町
元狭山地区	二本木町、駒形町、高根町、富士山町、栗原町、松山町
武蔵野地区	旭が丘、さかえ町、富士見町、南平町



この調査の標本誤差は、次式によって得られる。ただし、信頼度を95%とする。

$$b = \pm 1.96 \sqrt{p(1-p) \div \frac{n(N-1)}{N-n}}$$

b = 標本誤差
 N = 母集団数
 n = 基数(サンプル数)
 p = 回答比率

標本誤差の早見表は下表のとおりである。表の見方は、例えばある質問の回答者数が1,403人で、回答比率が50%であった場合、その回答比率の誤差は、最大で±2.55%以内となることを示している。

したがって、本報告書中の属性別の分析にあたっては、質問によって回答者数が異なることや、各選択肢への回答比率が各々異なるため、ある属性の回答結果と全体結果との差が5ポイント以上あるものを有意差の一つの目安として分析している。

回答比率(P) 基数(n)	10%または 90%前後	20%または 80%前後	30%または 70%前後	40%または 60%前後	50%前後
1,403人	±1.53	±2.04	±2.33	±2.50	±2.55
1,000	±1.82	±2.43	±2.79	±2.98	±3.04
500	±2.60	±3.47	±3.98	±4.25	±4.34
100	±5.87	±7.83	±8.97	±9.58	±9.78

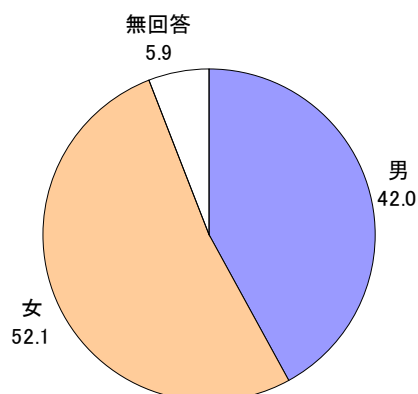
* 母集団である20歳以上人口を26,760人(平成16年1月1日現在・瑞穂町町勢要覧2004)で計算。

5 回答者の属性

(1) 性別

性別は、「女性」52.1%が「男性」42.0%を約10ポイント上回っている。

性別 n=1403

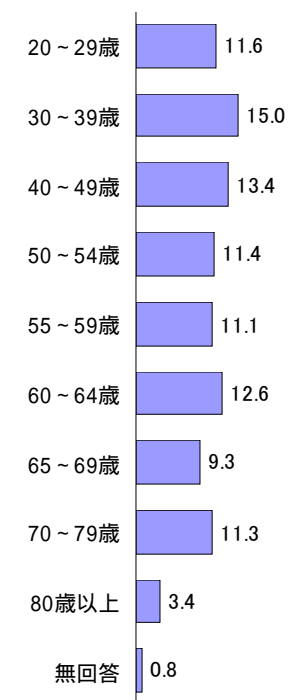


(2) 年齢

年齢については、概ね10歳間隔で質問した。「30～39歳」15.0%が最も多いが、80歳以上を除き、概ね10%前後となっている。なお、50歳代、60歳代は5歳間隔としており、これらを再計算すると50～59歳22.5%、60歳代21.9%となる。

居住地区別に見ると、全体的に地区による差はさほど大きくないが、元狭山地区は「20～29歳」が17.9%、殿ヶ谷地区は「70～79歳」が18.3%とそれぞれやや多く見られる。

年齢 n=1403



年齢(居住地区別)

単位：%

区分	回答者数	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70～79歳	80歳以上	無回答	
全体	1403	11.6	15.0	13.4	11.4	11.1	12.6	9.3	11.3	3.4	0.8	
居住地区別	殿ヶ谷地区	115	10.4	13.9	11.3	10.4	11.3	13.9	7.0	18.3	2.6	0.9
	石畑地区	169	11.8	14.2	13.0	11.8	11.8	16.0	7.7	10.1	3.0	0.6
	箱根ヶ崎地区	409	8.8	13.2	13.4	11.5	14.2	11.2	9.5	11.7	5.1	1.2
	長岡地区	187	10.7	17.6	14.4	12.8	9.1	9.1	10.2	10.7	4.8	0.5
	元狭山地区	262	17.9	13.7	14.1	11.8	10.3	13.7	8.4	7.6	1.9	0.4
	武蔵野地区	240	11.7	17.9	12.5	10.4	8.8	13.8	12.1	11.3	1.7	0.0

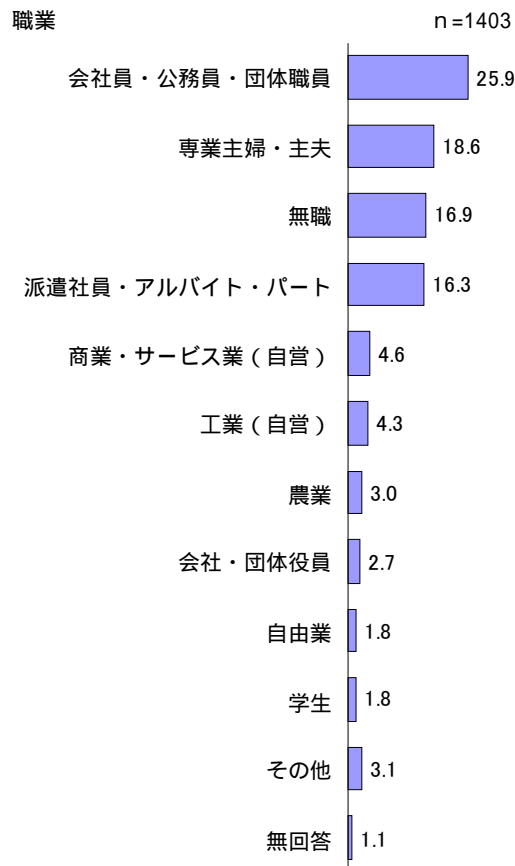
* 網がけは全体結果より5ポイント以上多いもの

(3) 職業

職業は、「会社員・公務員・団体職員」25.9%が最も多く、「専業主婦・主夫」「無職」「派遣社員・アルバイト・パート」が15~20%で続いている。

性別では、男性は「会社員・公務員・団体職員」が43.3%と他を大きく離しているが、女性は「専業主婦・主夫」33.8%とともに「派遣社員・アルバイト・パート」も24.9%と比較的多くなっている。

年齢別では、50歳代以下は「会社員・公務員・団体職員」が30~40%台と多くなっている。



職業(性・年齢別)

単位：%

区分	回答者数	会社員・公務員・団体職員	専業主婦・主夫	無職	派遣社員・アルバイト・パート	商業・サービス業(自営)	工業(自営)	農業	会社・団体役員	自由業	学生	その他	無回答	
全体	1403	25.9	18.6	16.9	16.3	4.6	4.3	3.0	2.7	1.8	1.8	3.1	1.1	
性別	男	589	43.3	0.0	20.7	6.3	4.4	6.8	4.9	4.2	3.2	1.5	3.7	0.8
	女	731	12.9	33.8	12.9	24.9	4.4	2.3	1.5	1.4	0.7	2.2	2.7	0.4
年齢別	20~29歳	163	44.2	9.2	3.1	18.4	0.6	0.6	0.6	3.1	1.2	15.3	3.7	0.0
	30~39歳	211	37.4	18.0	0.9	23.2	4.3	6.6	0.5	2.4	2.4	0.0	3.3	0.9
	40~49歳	188	40.4	15.4	4.3	21.8	6.4	4.8	0.5	3.2	1.6	0.0	1.6	0.0
	50~54歳	160	37.5	17.5	2.5	21.9	6.3	5.0	1.3	3.1	2.5	0.0	2.5	0.0
	55~59歳	156	32.1	17.3	7.1	17.3	7.7	6.4	3.2	3.8	3.2	0.0	1.9	0.0
	60~64歳	177	9.6	28.2	19.8	16.4	7.9	5.1	2.3	2.8	2.3	0.0	3.4	2.3
	65~69歳	131	6.9	28.2	36.6	7.6	2.3	4.6	6.1	0.0	0.8	0.0	5.3	1.5
	70~79歳	158	0.0	20.3	57.0	3.2	1.9	1.3	7.6	3.2	0.6	0.0	3.8	1.3
80歳以上	48	0.0	10.4	68.8	0.0	2.1	0.0	12.5	2.1	0.0	0.0	0.0	4.2	

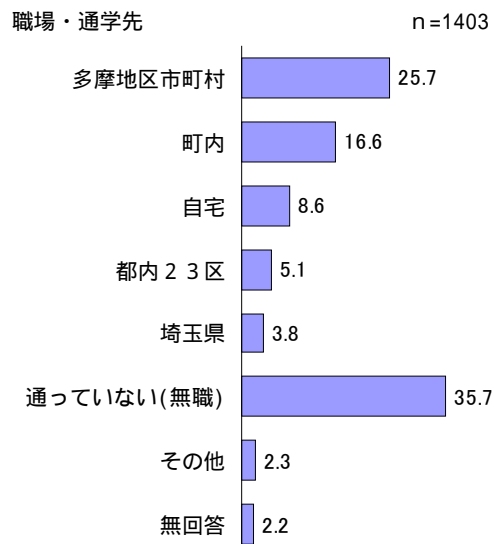
* 網がけは全体結果より5ポイント以上多いもの

(4) 職場・通学先

職場・通学先は、「多摩地区市町村」25.7%、「町内」16.6%となっている。また、「通っていない(無職)」は35.7%である。

これを職業別に見ると、会社員・公務員・団体職員は「多摩地区市町村」が55.1%と過半数となり、次いで「町内」16.5%、「都内23区」14.6%となっている。会社・団体役員は、会社員・公務員・団体職員に比べ、「多摩地区市町村」の割合がやや少なく、「町内」「自宅」が多くなっている。

派遣社員・アルバイト・パートは、「町内」が過半数を占めるとともに、「多摩地区市町村」が40%近くと多くなっている。



職場・通学先(職業別)

単位：%

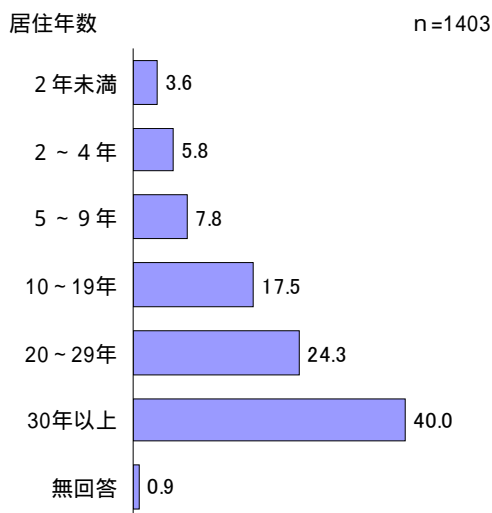
区分	回答者数	多摩地区市町村	町内	自宅	都内23区	埼玉県	通っていない(無職)	その他	無回答	
全体	1403	25.7	16.6	8.6	5.1	3.8	35.7	2.3	2.2	
職業別	農業	42	0.0	11.9	57.1	0.0	0.0	4.8	0.0	26.2
	工業(自営)	60	10.0	20.0	50.0	6.7	5.0	0.0	5.0	3.3
	商業・サービス業(自営)	65	27.7	13.8	52.3	1.5	1.5	0.0	3.1	0.0
	会社・団体役員	38	42.1	26.3	15.8	5.3	5.3	0.0	5.3	0.0
	会社員・公務員・団体職員	363	55.1	16.5	1.7	14.6	7.7	0.0	3.3	1.1
	自由業	25	28.0	28.0	28.0	8.0	0.0	0.0	4.0	4.0
	学生	25	48.0	0.0	4.0	20.0	12.0	0.0	16.0	0.0
	派遣社員・アルバイト・パート	229	38.9	52.0	1.7	1.3	5.2	0.0	0.4	0.4
	専業主婦・主夫	261	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0
	無職	237	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0
その他	43	30.2	20.9	18.6	2.3	9.3	0.0	16.3	2.3	

* 網がけは全体結果より5ポイント以上多いもの

(5) 居住年数

町内の居住年数は、「30年以上」40.0%が最も多く、年数が長いほど多くなっている。これを概ね10年間隔で分けると、次の通りとなる。

- ・10年未満 17.2%
- ・10～19年 17.5%
- ・20～29年 24.3%
- ・30年以上 40.0%



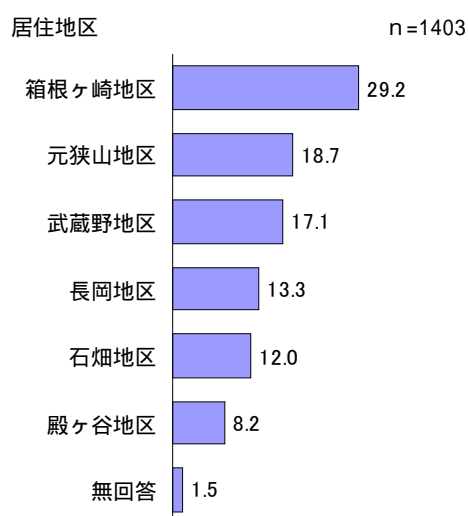
居住地区別でも、いずれの地区も居住年数が長いほど多くなる傾向が見られるが、とりわけ殿ヶ谷、石畑地区では「30年以上」が半数強を占めている。

区分	回答者数	2年未満	2～4年	5～9年	10～19年	20～29年	30年以上	無回答	
全体	1403	3.6	5.8	7.8	17.5	24.3	40.0	0.9	
居住地区別	殿ヶ谷地区	115	3.5	4.3	7.8	13.9	17.4	51.3	1.7
	石畑地区	169	1.2	4.7	4.7	12.4	25.4	50.9	0.6
	箱根ヶ崎地区	409	3.4	5.4	7.6	17.8	22.7	43.0	0.0
	長岡地区	187	2.1	6.4	5.9	20.3	23.5	40.6	1.1
	元狭山地区	262	4.2	5.7	8.4	20.2	26.3	34.4	0.8
	武蔵野地区	240	6.7	7.5	11.7	16.7	28.3	27.9	1.3

* 網がけは全体結果より5ポイント以上多いもの

(6) 居住地区

居住地区は、「箱根ヶ崎地区」29.2%を筆頭に、「元狭山地区」18.7%、「武蔵野地区」17.1%、「長岡地区」13.3%、「石畑地区」12.0%、殿ヶ谷地区8.2%となっている。

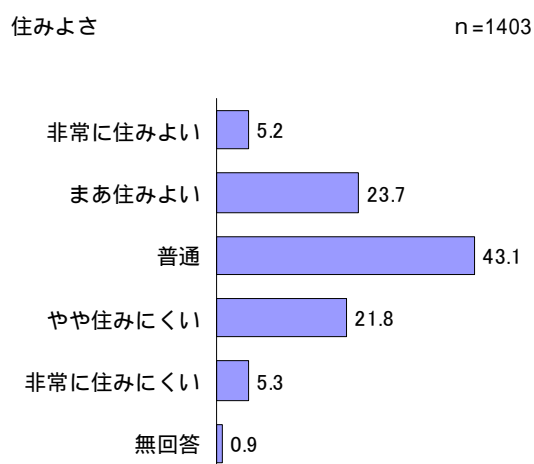


第 2 章 調查結果

1 瑞穂町の生活について

(1) 住みよさ

問1 あなたは、瑞穂町を住みよいところと感じていますか、それとも住みにくいところと感じていますか。次の中から適当と思われるものを1つ選び、その番号を で囲んでください。



全体結果

町の住みよさは、「普通」が43.1%を占め最も多くなっている。上のグラフからも明らかのように、「普通」を頂点に、「非常に住みよい」「まあ住みよい」という“住みよい”評価(合わせて28.9%)と、「やや住みにくい」「非常に住みにくい」という“住みにくい”評価(合わせて27.1%)に分かれている。

「普通」を“住みよい”に合わせると、72.0%の人がある程度満足している結果である。

属性別

住みよさを、上記の「住みよい」「普通」「住みにくい」に3区分して属性別に見てみる。

性別では、男性は「住みよい」が「住みにくい」を上回るが、女性は「住みにくい」が「住みよい」を若干上回っている。「普通」も合わせた住みよい割合は、男性76.7%、女性67.5%と10ポイント近い差となっている。

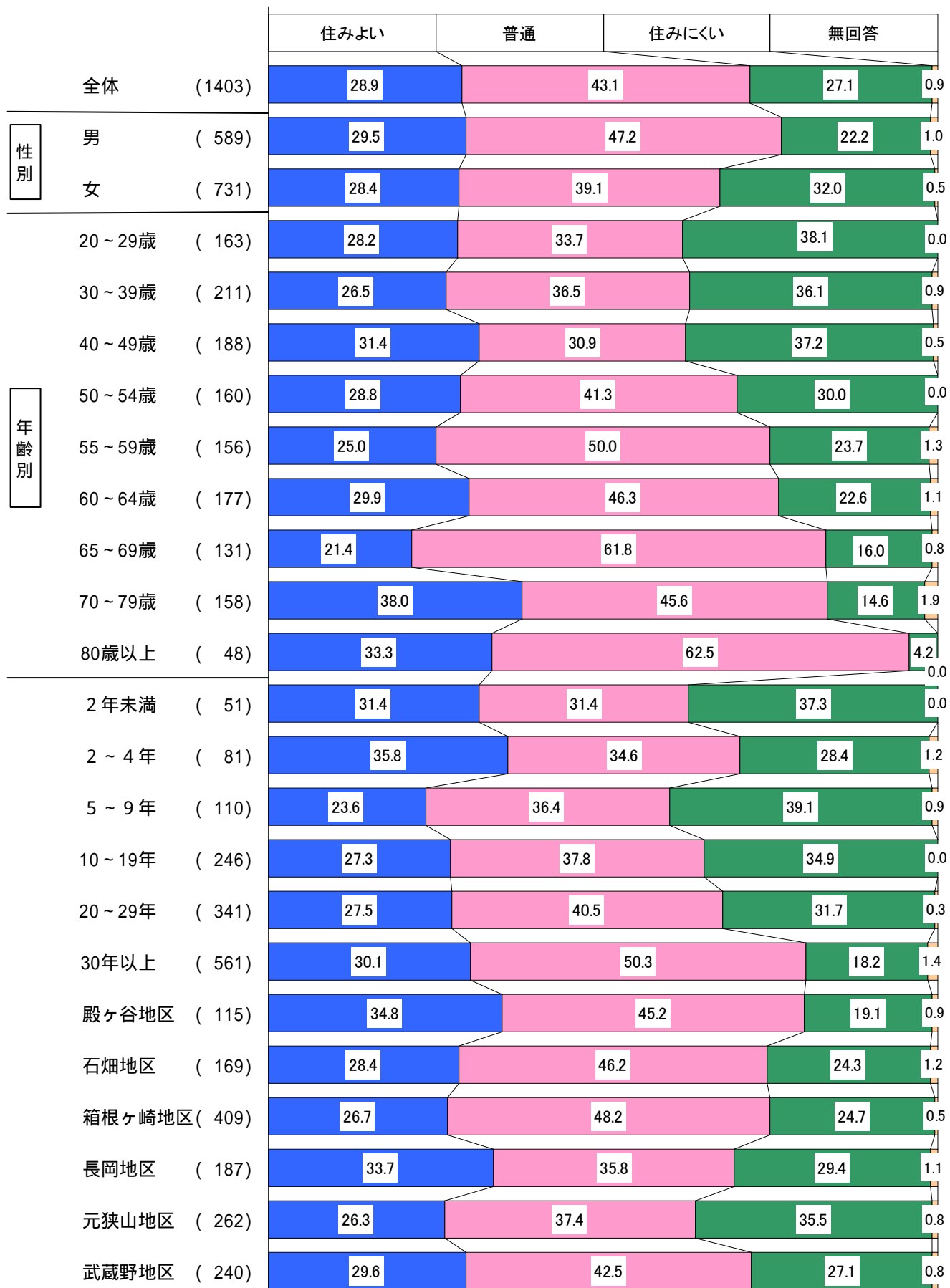
年齢別では、50歳代以上で「普通」も合わせた住みよさ感が増し、特に65歳以上では80%以上となっている。一方、50歳代前半までは「住みにくい」が「住みよい」を上回り、「普通」も合わせた住みよい割合は、40歳代までは60%とやや低くなる。

居住年数別では、30年以上で「普通」も合わせた住みよい割合が80%と多くなっているが、2～4年でも約70%となっており、居住年数が長い人だけではなく、短い人もある程度住みよさを感じている。

居住地区別に「普通」も合わせた住みよい割合を見ると、殿ヶ谷地区が80.0%で最も高く、元狭山地区が63.7%で最も低い結果となっている。

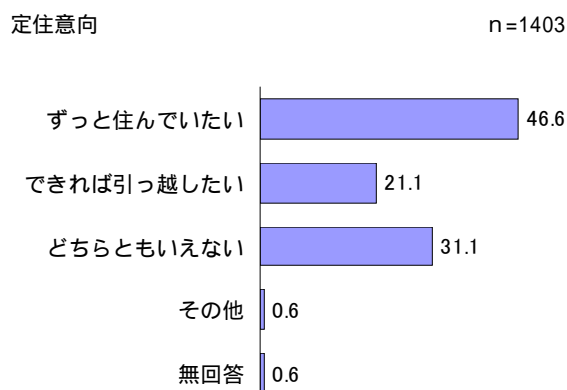
住みよさ(性・年齢・居住年数・居住地区別)

単位: %



(2) 定住意向

問2 あなたは、これからもずっと瑞穂町に住み続けたいと思いますか。それとも他のところへ移りたいと思いますか。次の中から適当と思われるものを1つ選び、その番号を で囲んでください。



全体結果

これからも瑞穂町に住み続けたいかについてたずねたところ、「ずっと住んでいたい」が46.6%と半数近くを占め、「できれば引っ越したい」21.1%の2倍強となっている。また、「どちらともいえない」が31.1%と3人に1人近く見られる。

属性別

性別の「ずっと住んでいたい」割合は、男性49.6%、女性42.4%と男性が女性を7.2ポイント上回っている。

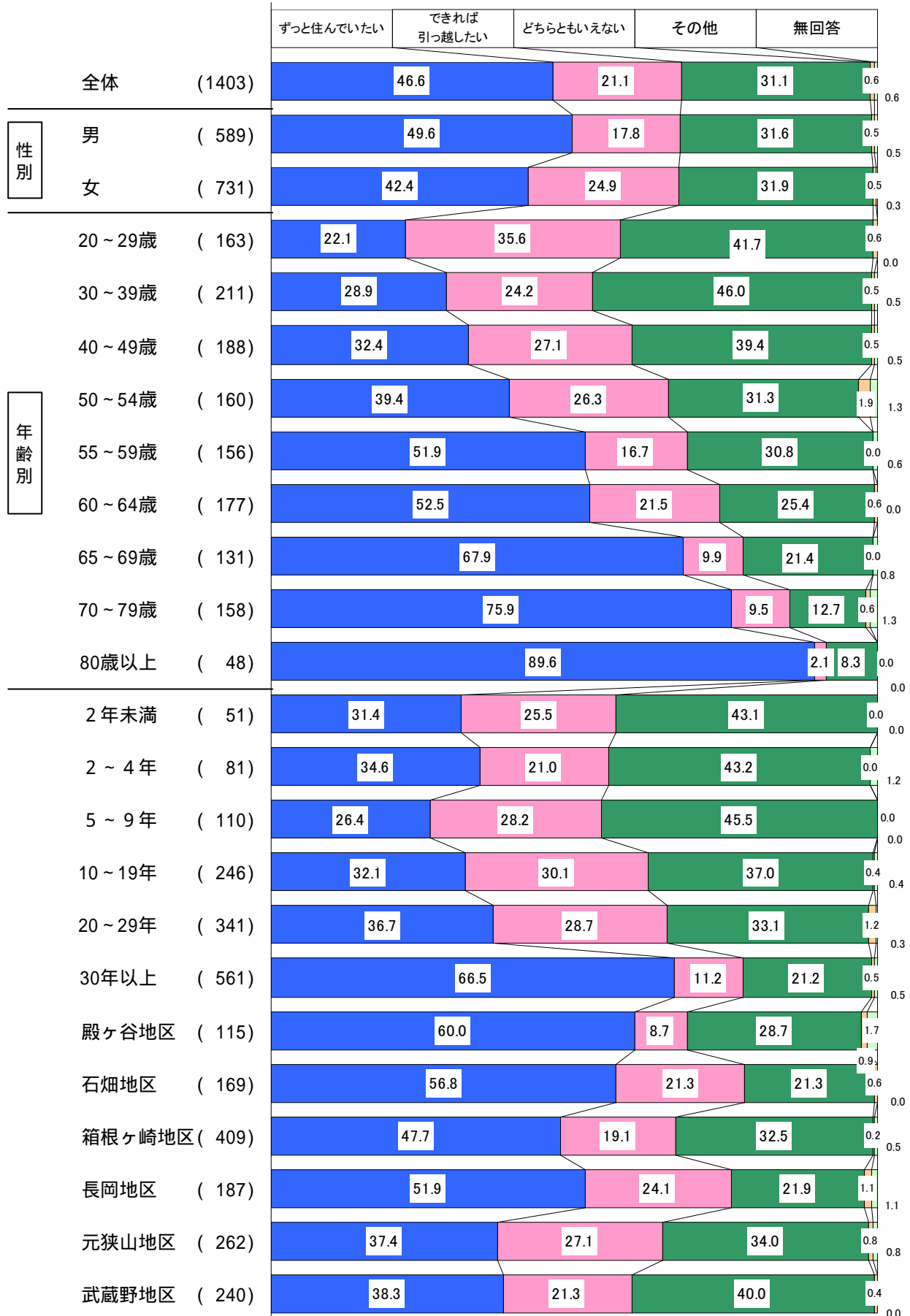
年齢別では、年代が上がるほど「ずっと住んでいたい」割合が高くなる。40歳代以下では「どちらともいえない」が40%内外で最も多い回答となっている。

居住年数別では、30年以上で「ずっと住んでいたい」が66.5%と多くなるが、10～19年、20～29年では「ずっと住んでいたい」「できれば引っ越したい」「どちらともいえない」の差が小さくなっている。10年未満では「どちらともいえない」が40%台で最も多い回答となっている。

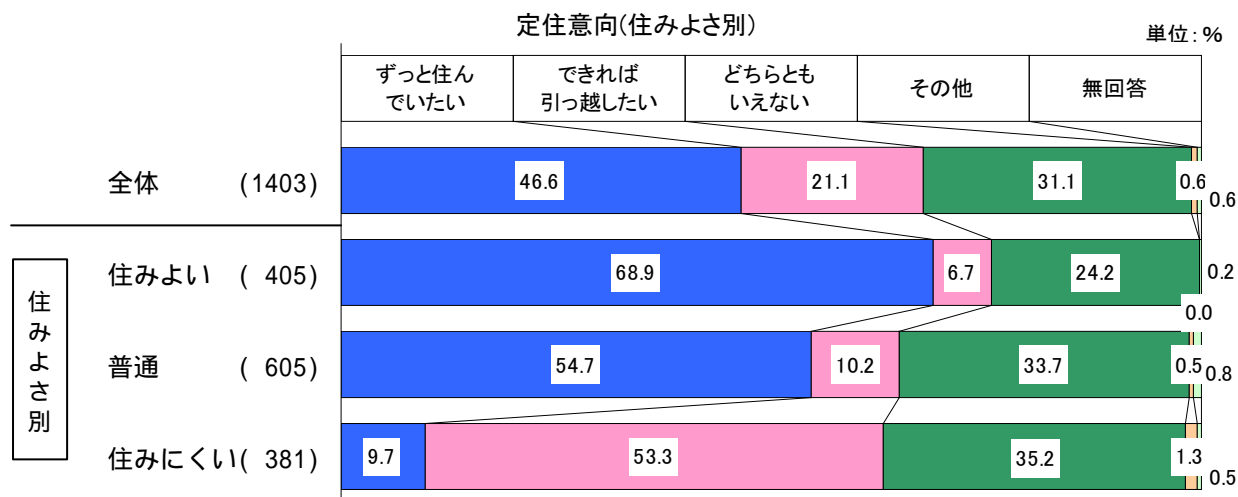
居住地区別では、殿ヶ谷、石畑、箱根ヶ崎、長岡地区で「ずっと住んでいたい」が概ね50～60%を占めるが、元狭山、武蔵野地区では「ずっと住んでいたい」と「どちらともいえない」が同程度となっている。

定住意向(性・年齢・居住年数・居住地区別)

単位: %

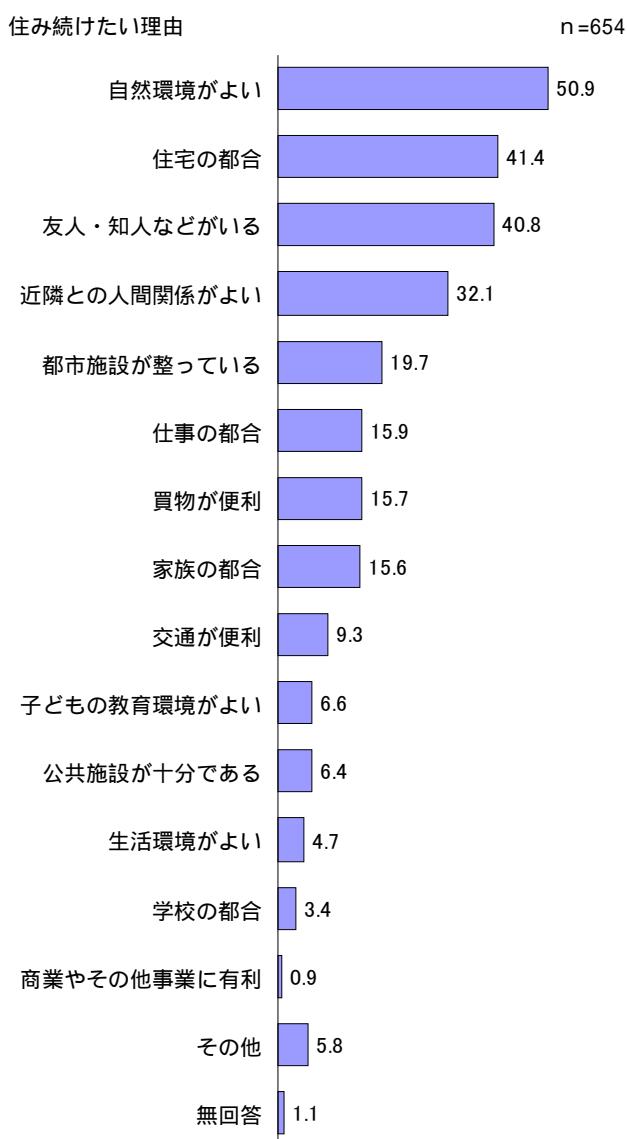


問1の住みよさの意識との関連を見ると、住みよいと感じている人は「ずっと住んでいたい」が68.9%を占め、普通と感じている人でも54.7%と過半数となり、一方、住みにくい人では「できれば引っ越したい」が53.3%と過半数となっている。したがって、住みよさが普通以上であれば、これからも住んでいたいという意識が強くなるものと考えられる。



(3) 住み続けたい理由

問2 - 1 (問2で「1. ずっと住んでいたい」とお答えになった方だけ答えてください) その理由は、主として次のどれに当てはまりますか。当てはまるものをすべて選び、その番号を で囲んでください。



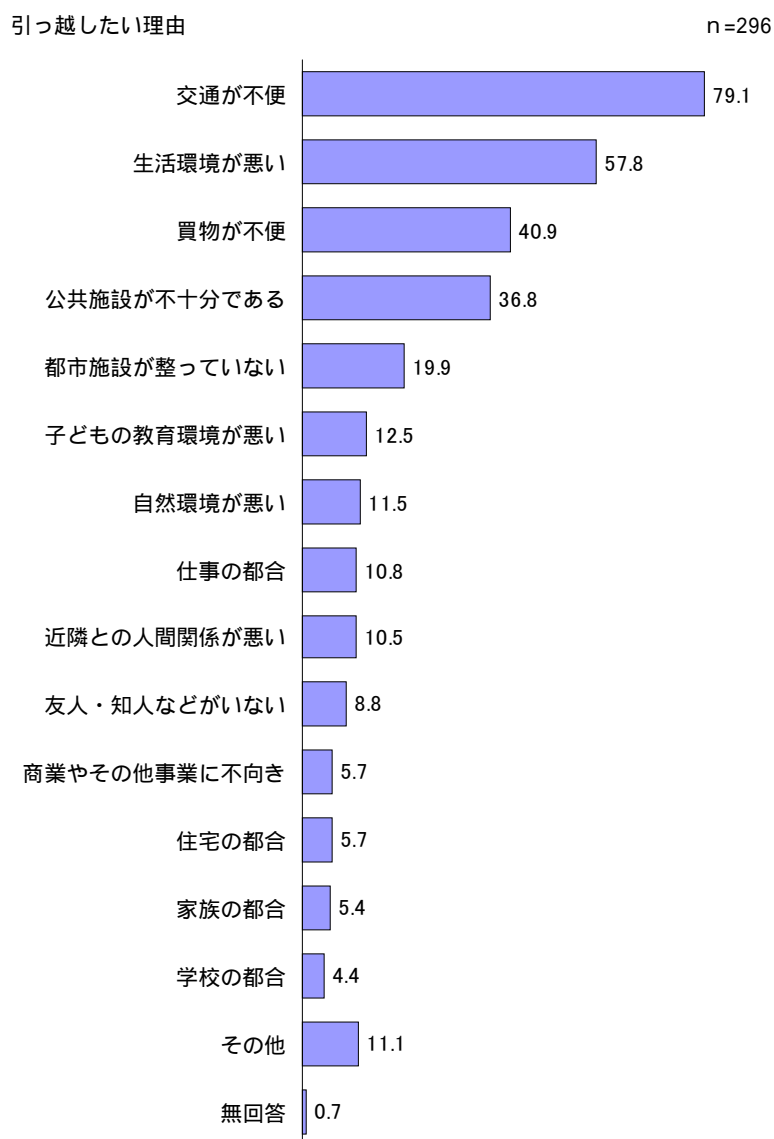
全体結果

問2で「ずっと住んでいたい」と回答した人(654人)に、その理由をたずねた。

「自然環境がよい」が50.9%と2人に1人があげ、「住宅の都合」「友人・知人などがある」がともに40%強、「近隣との人間関係がよい」32.1%などが多くあげられている。自然環境のよさと、地域における人間関係のよさなどが大きな理由となっている。

(4) 引っ越したい理由

問2 - 2 (問2で「2.できれば引っ越したい」とお答えになった方だけ教えてください) その理由は、主として次のどれに当てはまりますか。当てはまるものをすべて選び、その番号を で囲んでください。



全体結果

問2で「できれば引っ越したい」と回答した人(296人)に、その理由をたずねた。

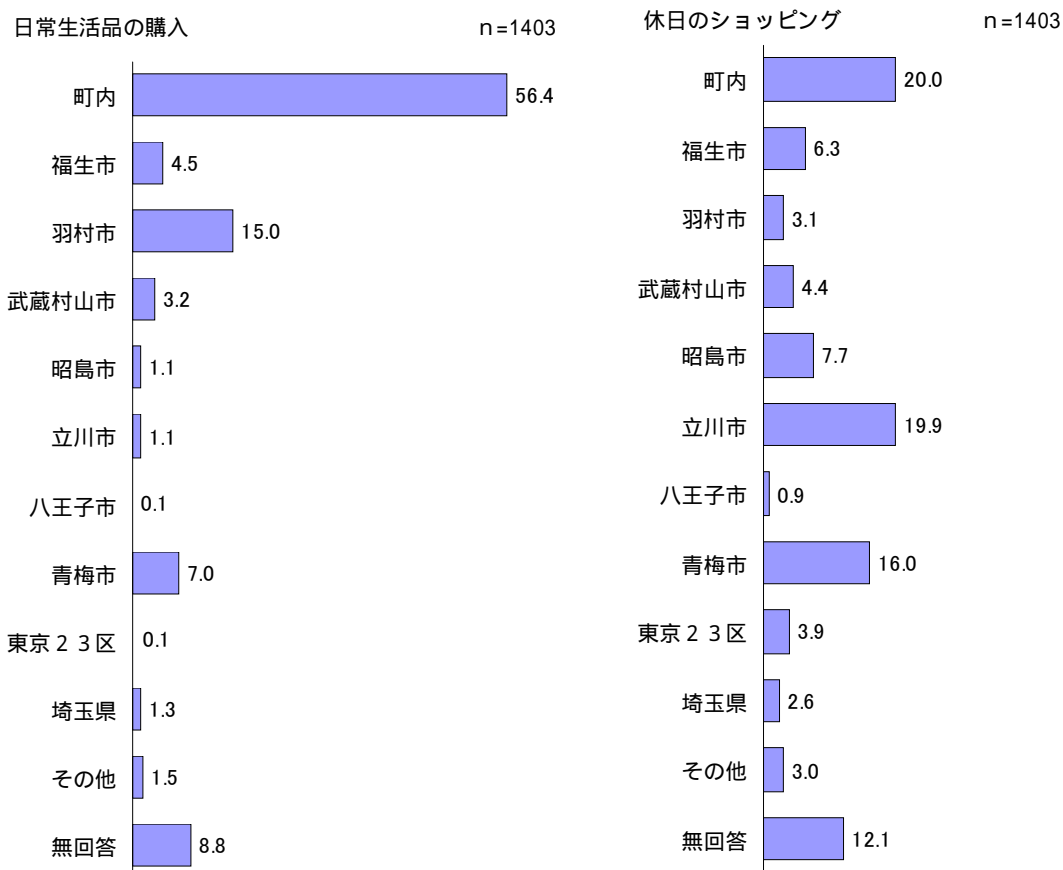
「交通が不便」を79.1%の人があげ、最大の理由となっている。次いで、「騒音、悪臭などあり生活環境が悪い」57.8%、「買物が不便」40.9%、「公共施設が不十分である」36.8%などとなっている。

(5) 生活行動の場所

問3 以下のような行動をとる場合、あなたはどこへ出かけますか。(1)～(7)のそれぞれについて、もっともよく行くと思われる地域を1つずつ選び、その番号を で囲んでください。

買物や医療、文化活動等をどこで行っているかをたずねた。以下、いくつかの項目に分けて見ていく。

[買物]



全体結果

日常生活品(食料品・家庭用品など)の購入は、「町内」が56.4%と過半数を占め、大きく開いて「羽村市」が15.0%となっている。

休日のショッピング(医療品、電化製品など)は、「町内」と「立川市」がともに約20%、また、「青梅市」も16.0%と多く見られる。

属性別

日常生活品の購入について居住地区別に見ると、元狭山、石畑地区で「町内」が70%前後と特に多い。殿ヶ谷地区では「武蔵村山市」、箱根ヶ崎地区では「羽村市」、長岡地区では「羽村市」「青梅市」、武蔵野地区では「羽村市」「福生市」がそれぞれ20%前後とやや多く見られる。

職場・通学先別では、町内勤務・通学者とともに埼玉県に通っている人でも「町内」が60%強と多い。

日常生活品の購入(居住地区・職場・通学先別)

単位：%

区分	回答者数	町内	福生市	羽村市	武蔵村山市	昭島市	立川市	八王子市	青梅市	東京23区	埼玉県	その他	無回答	
全体	1403	56.4	4.5	15.0	3.2	1.1	1.1	0.1	7.0	0.1	1.3	1.5	8.8	
居住地区別	殿ヶ谷地区	115	56.5	0.9	6.1	20.0	0.9	0.0	0.0	0.0	0.9	4.3	10.4	
	石畑地区	169	64.5	2.4	5.3	7.7	1.2	3.0	0.0	5.9	0.0	1.8	7.1	
	箱根ヶ崎地区	409	57.7	2.2	21.3	1.7	1.2	0.7	0.2	3.2	0.0	1.5	8.8	
	長岡地区	187	38.0	1.6	25.7	0.0	0.0	0.0	0.0	23.5	0.5	0.0	1.1	9.6
	元狭山地区	262	71.0	1.5	1.5	0.4	1.9	0.8	0.4	9.2	0.4	3.4	1.5	8.0
	武蔵野地区	240	46.7	17.5	21.7	0.4	0.4	1.7	0.0	2.1	0.0	0.0	0.4	9.2
職場・通学先別	自宅	120	50.8	0.8	16.7	2.5	0.8	0.0	0.0	14.2	0.8	1.7	10.0	
	町内	233	63.9	2.1	13.3	2.1	0.0	0.9	0.0	7.7	0.0	1.7	7.3	
	多摩地区市町村	361	50.1	6.9	18.8	5.0	1.1	2.5	0.3	7.5	0.0	1.7	3.9	
	都内23区	72	52.8	5.6	18.1	1.4	2.8	0.0	0.0	6.9	0.0	5.6	5.6	
	埼玉県	53	62.3	0.0	13.2	3.8	3.8	0.0	0.0	9.4	0.0	1.9	3.8	
	通っていない(無職)	501	58.3	5.0	12.6	3.0	1.2	0.8	0.2	4.4	0.0	0.2	1.4	13.0
	その他	32	56.3	6.3	18.8	0.0	0.0	0.0	0.0	9.4	3.1	0.0	0.0	6.3

*網がけは全体結果より5ポイント以上多いもの

休日のショッピングについて居住地区別に見ると、元狭山地区では「町内」が25.2%と他地区より多く、殿ヶ谷地区では「武蔵村山市」が21.7%、長岡地区では「青梅市」が23.5%ととやや多くなっている。

職場・通学先別では、多摩地区市町村、都内23区に通っている人で「立川市」が30%前後と多くなっている。休日でも、日頃の通勤・通学先方面に出やすいということが背景に考えられる。

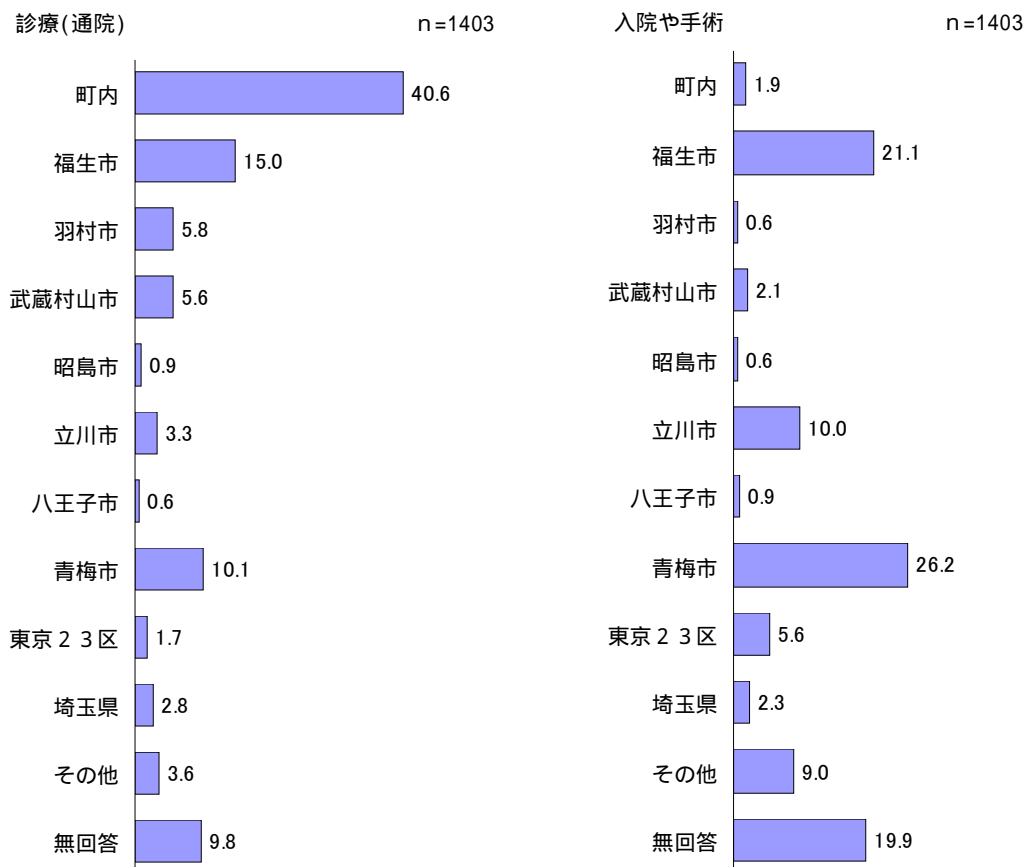
休日のショッピング(居住地区・職場・通学先別)

単位：%

区分	回答者数	町内	福生市	羽村市	武蔵村山市	昭島市	立川市	八王子市	青梅市	東京23区	埼玉県	その他	無回答	
全体	1403	20.0	6.3	3.1	4.4	7.7	19.9	0.9	16.0	3.9	2.6	3.0	12.1	
居住地区別	殿ヶ谷地区	115	17.4	2.6	0.9	21.7	13.9	13.0	0.9	7.8	1.7	2.6	5.2	12.2
	石畑地区	169	18.9	2.4	1.2	10.1	11.8	18.3	1.8	11.2	5.9	3.6	4.1	10.7
	箱根ヶ崎地区	409	23.2	5.6	3.2	2.0	7.6	21.5	1.2	16.6	2.9	1.7	1.5	13.0
	長岡地区	187	15.5	3.7	8.0	2.1	7.0	22.5	0.0	23.5	3.7	1.1	1.1	11.8
	元狭山地区	262	25.2	3.4	1.1	1.5	3.8	17.6	0.4	20.2	6.9	5.3	4.2	10.3
	武蔵野地区	240	15.8	17.5	3.3	1.3	6.3	22.1	1.3	12.1	2.5	1.7	3.8	12.5
職場・通学先別	自宅	120	18.3	5.8	6.7	4.2	7.5	11.7	0.8	22.5	5.0	0.8	3.3	13.3
	町内	233	21.5	5.6	3.4	2.6	9.4	19.7	0.9	16.3	3.0	3.9	3.4	10.3
	多摩地区市町村	361	17.7	5.0	2.5	5.3	7.5	26.6	1.4	16.1	4.7	3.3	3.6	6.4
	都内23区	72	18.1	2.8	1.4	4.2	5.6	31.9	0.0	6.9	16.7	1.4	1.4	9.7
	埼玉県	53	17.0	3.8	5.7	5.7	3.8	24.5	0.0	18.9	1.9	5.7	5.7	7.5
	通っていない(無職)	501	22.4	8.0	3.0	4.6	8.0	15.8	1.0	15.2	1.4	1.8	2.2	16.8
	その他	32	9.4	12.5	0.0	3.1	6.3	18.8	0.0	25.0	12.5	3.1	3.1	6.3

*網がけは全体結果より5ポイント以上多いもの

[医療]



全体結果

診療(通院)については、「町内」が40.6%を占め、差が開いて「福生市」15.0%となっている。

入院や手術については、「青梅市」26.2%、「福生市」21.1%が多くなっている。

属性別

診療(通院)について居住地区別に見ると、箱根ヶ崎、長岡地区では「町内」が半数近くを占めるが、武蔵野地区では「福生市」、殿ヶ谷地区では「武蔵村山市」がともに30%前後と比較的多くなっている。特に、武蔵野地区のみ「町内」より「福生市」の方が多い。

職場・通学先別に見ると、23区に通っている人では10人に1人程度が、23区内に通院している。

診療(通院)(居住地区・職場・通学先別)

単位：%

区分	回答者数	町内	福生市	羽村市	武蔵村山市	昭島市	立川市	八王子市	青梅市	東京23区	埼玉県	その他	無回答	
全体	1403	40.6	15.0	5.8	5.6	0.9	3.3	0.6	10.1	1.7	2.8	3.6	9.8	
居住地区別	殿ヶ谷地区	115	37.4	6.1	2.6	27.0	1.7	3.5	2.6	4.3	1.7	0.9	3.5	8.7
	石畑地区	169	43.2	11.2	1.8	12.4	1.2	4.7	1.2	6.5	1.8	0.6	4.1	11.2
	箱根ヶ崎地区	409	47.7	13.9	6.8	2.2	1.0	2.9	0.7	8.8	2.2	1.2	2.7	9.8
	長岡地区	187	47.6	8.6	7.5	1.6	0.0	2.7	0.0	18.2	0.5	1.1	2.1	10.2
	元狭山地区	262	35.1	9.9	3.8	3.8	1.1	3.4	0.0	16.4	1.5	10.3	5.0	9.5
	武蔵野地区	240	30.0	34.6	9.2	1.3	0.0	3.3	0.4	5.0	2.1	0.8	5.0	8.3
職場・通学先別	自宅	120	49.2	10.8	3.3	8.3	0.0	0.8	0.0	12.5	0.0	2.5	2.5	10.0
	町内	233	49.4	15.0	4.7	4.7	0.4	1.3	0.0	10.3	1.3	3.0	2.1	7.7
	多摩地区市町村	361	37.1	14.1	9.7	6.4	1.9	5.3	1.4	10.0	1.1	3.0	4.4	5.5
	都内23区	72	40.3	15.3	4.2	1.4	0.0	5.6	1.4	8.3	9.7	2.8	4.2	6.9
	埼玉県	53	37.7	15.1	7.5	3.8	0.0	3.8	1.9	9.4	1.9	7.5	5.7	5.7
	通っていない(無職)	501	38.3	17.8	4.4	5.8	0.8	3.0	0.4	9.2	1.6	1.8	3.0	14.0
	その他	32	34.4	6.3	6.3	6.3	0.0	3.1	0.0	15.6	0.0	9.4	15.6	3.1

*網がけは全体結果より5ポイント以上多いもの

入院や手術について居住地区別に見ると、長岡、元狭山地区では「青梅市」、武蔵野地区では「福生市」が、それぞれ30%台と多く見られる。ここでも、武蔵野地区のみ、「青梅市」より「福生市」の方が多い。

職場・通学先別に見ると、23区に通っている人は、「福生市」「青梅市」とともに「東京23区」も16.7%と多くなっている。

入院や手術(居住地区・職場・通学先別)

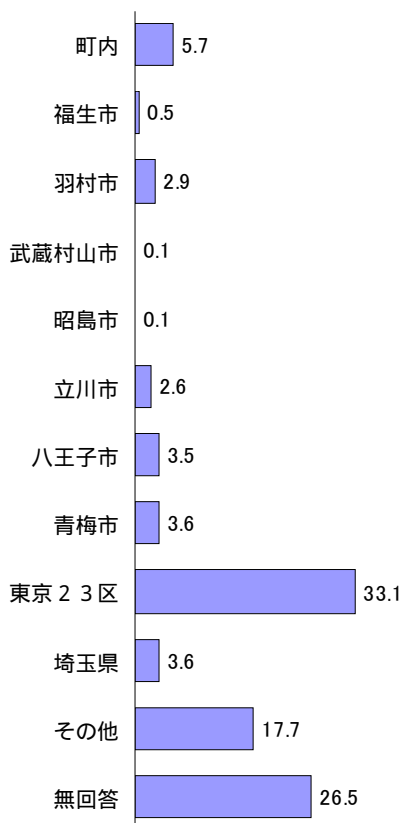
単位：%

区分	回答者数	町内	福生市	羽村市	武蔵村山市	昭島市	立川市	八王子市	青梅市	東京23区	埼玉県	その他	無回答	
全体	1403	1.9	21.1	0.6	2.1	0.6	10.0	0.9	26.2	5.6	2.3	9.0	19.9	
居住地区別	殿ヶ谷地区	115	1.7	13.9	0.9	6.1	1.7	14.8	0.0	14.8	4.3	0.9	13.0	27.8
	石畑地区	169	2.4	17.2	0.6	5.3	0.6	13.6	1.2	18.3	5.3	2.4	11.8	21.3
	箱根ヶ崎地区	409	1.2	24.2	0.0	1.2	0.5	11.2	1.5	26.7	5.1	2.4	8.1	17.8
	長岡地区	187	1.6	15.0	1.6	1.6	0.5	6.4	0.5	39.0	4.8	1.6	5.3	21.9
	元狭山地区	262	3.1	16.8	0.4	1.5	0.4	8.8	0.8	31.7	6.5	5.0	9.9	15.3
	武蔵野地区	240	1.7	32.1	0.8	0.4	0.4	7.1	0.4	20.8	6.7	0.4	9.2	20.0
職場・通学先別	自宅	120	3.3	19.2	0.8	0.8	0.0	10.0	1.7	28.3	5.0	2.5	10.0	18.3
	町内	233	0.9	23.6	1.3	0.9	0.0	10.3	0.9	30.5	4.3	1.3	8.6	17.6
	多摩地区市町村	361	0.6	23.3	1.1	3.0	1.4	11.6	0.6	27.7	6.1	1.4	10.0	13.3
	都内23区	72	4.2	16.7	0.0	0.0	0.0	11.1	1.4	16.7	16.7	1.4	11.1	20.8
	埼玉県	53	1.9	18.9	0.0	0.0	0.0	9.4	1.9	18.9	7.5	11.3	17.0	13.2
	通っていない(無職)	501	2.2	19.6	0.0	2.6	0.6	9.4	0.6	26.1	4.0	2.6	7.4	25.0
	その他	32	9.4	31.3	0.0	6.3	0.0	0.0	3.1	18.8	9.4	3.1	9.4	9.4

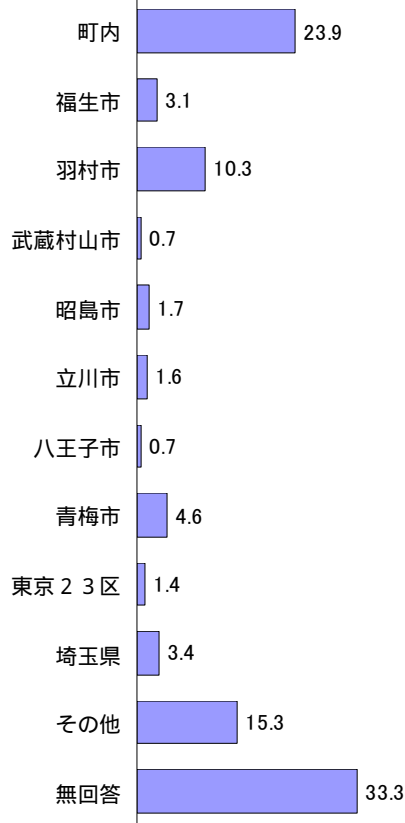
*網がけは全体結果より5ポイント以上多いもの

[文化・スポーツ活動]

美術館や博物館等の文化施設の利用 n=1403



野球やテニス等のスポーツ活動 n=1403



全体結果

美術館や博物館等の文化施設の利用については、「東京23区」が33.1%と3人に1人と多くなっている。

野球やテニス等のスポーツ活動については、「町内」が23.9%、次いで「羽村市」10.3%となっている。

属性別

美術館や博物館等の文化施設の利用について居住地区別に見ると、殿ヶ谷地区を除きいずれも「東京23区」が3人に1人程度となっている。元狹山地区では「埼玉県」が11.1%見られる。

職場・通学先別に見ると、23区に通っている人の約60%が、また、多摩地区市町村に通っている人でも40%近くが「東京23区」と多くなっている。

美術館や博物館等の文化施設の利用(居住地区・職場・通学先別)

単位：%

区分	回答者数	町内	福生市	羽村市	武蔵村山市	昭島市	立川市	八王子市	青梅市	東京23区	埼玉県	その他	無回答	
全体	1403	5.7	0.5	2.9	0.1	0.1	2.6	3.5	3.6	33.1	3.6	17.7	26.5	
居住地区別	殿ヶ谷地区	115	3.5	0.0	1.7	0.0	0.0	2.6	6.1	4.3	24.3	0.9	18.3	38.3
	石畑地区	169	7.7	0.0	2.4	0.0	0.0	1.8	3.0	3.0	34.9	1.8	20.7	24.9
	箱根ヶ崎地区	409	5.4	0.2	3.9	0.0	0.2	2.7	2.7	3.7	31.8	2.7	19.1	27.6
	長岡地区	187	7.0	0.0	3.7	0.0	0.0	2.7	4.8	5.3	31.6	0.0	19.8	25.1
	元狭山地区	262	5.3	0.0	1.9	0.0	0.4	3.1	2.3	3.4	34.7	11.1	14.9	22.9
	武蔵野地区	240	5.8	2.1	2.9	0.0	0.0	2.5	3.8	2.5	38.3	2.5	15.8	23.8
職場・通学先別	自宅	120	7.5	0.8	2.5	0.0	0.0	4.2	10.0	25.8	5.0	15.8	28.3	
	町内	233	6.9	0.0	2.1	0.0	0.0	3.0	3.9	2.6	37.8	2.6	22.3	18.9
	多摩地区市町村	361	3.9	0.6	3.3	0.0	0.3	4.2	3.6	3.6	38.8	3.9	21.9	16.1
	都内23区	72	6.9	0.0	1.4	0.0	0.0	1.4	6.9	0.0	59.7	1.4	8.3	13.9
	埼玉県	53	3.8	0.0	1.9	0.0	0.0	9.4	3.8	1.9	22.6	15.1	22.6	18.9
	通っていない(無職)	501	6.4	0.8	3.2	0.2	0.2	1.4	2.4	3.2	27.1	2.6	14.2	38.3
	その他	32	6.3	0.0	9.4	0.0	0.0	3.1	9.4	6.3	21.9	6.3	25.0	12.5

*網がけは全体結果より5ポイント以上多いもの

野球やテニス等のスポーツ活動については、居住地区別による大きな差は見られず、「町内」がいずれも20%台となっている。

職場・通学先別に見ると、町内に通っている人は「町内」が36.5%と多く、多摩地区市町村に通っている人は「羽村市」が15.8%、埼玉県に通っている人は「埼玉県」が17.0%とやや多く見られる。

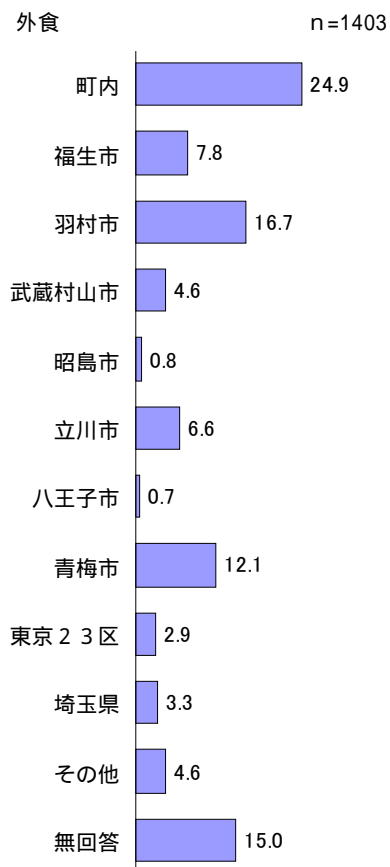
野球やテニス等のスポーツ活動(居住地区・職場・通学先別)

単位：%

区分	回答者数	町内	福生市	羽村市	武蔵村山市	昭島市	立川市	八王子市	青梅市	東京23区	埼玉県	その他	無回答	
全体	1403	23.9	3.1	10.3	0.7	1.7	1.6	0.7	4.6	1.4	3.4	15.3	33.3	
居住地区別	殿ヶ谷地区	115	20.9	1.7	5.2	2.6	1.7	0.9	0.9	5.2	0.9	14.8	45.2	
	石畑地区	169	25.4	1.2	7.1	1.8	2.4	1.8	1.8	3.6	0.6	4.1	17.2	33.1
	箱根ヶ崎地区	409	25.2	2.4	11.5	0.2	1.7	1.2	0.5	4.4	1.2	3.9	14.9	32.8
	長岡地区	187	26.7	2.7	15.0	0.5	1.1	1.6	0.0	8.6	0.5	1.1	12.3	29.9
	元狭山地区	262	22.9	2.3	6.1	0.8	1.9	1.9	1.1	4.6	1.5	6.9	19.1	30.9
	武蔵野地区	240	22.1	6.7	13.3	0.0	1.7	2.5	0.4	2.9	2.9	2.1	14.2	31.3
職場・通学先別	自宅	120	28.3	1.7	4.2	1.7	0.8	0.8	6.7	0.8	4.2	17.5	33.3	
	町内	233	36.5	3.4	12.0	0.0	0.9	1.3	3.9	0.9	1.3	15.5	24.0	
	多摩地区市町村	361	19.9	6.4	15.8	0.3	3.9	2.2	1.4	6.4	1.7	3.3	19.7	19.1
	都内23区	72	23.6	4.2	6.9	0.0	1.4	5.6	0.0	8.3	9.7	5.6	15.3	19.4
	埼玉県	53	18.9	1.9	5.7	1.9	1.9	1.9	0.0	3.8	0.0	17.0	20.8	26.4
	通っていない(無職)	501	21.6	0.8	8.0	1.0	0.6	1.0	0.6	3.0	0.4	2.8	11.6	48.7
	その他	32	15.6	3.1	18.8	3.1	6.3	6.3	0.0	6.3	3.1	0.0	15.6	21.9

*網がけは全体結果より5ポイント以上多いもの

[外食]



全体結果

外食については、「町内」が24.9%で最も多く、「羽村市」16.7%、「青梅市」12.1%などとなっている。

属性別

居住地区別では、殿ヶ谷、石畑地区は3人に1人程度が「町内」となっていると同時に、「武蔵村山市」も15%前後と比較的多い。長岡地区では「町内」「羽村市」「青梅市」がいずれも20%台で分散している。武蔵野地区では「羽村市」26.3%と「福生市」17.9%が多くなっている。

職場・通学先別では、23区に通っている人は「東京23区」、埼玉県に通っている人は「埼玉県」がともに20%台と多くなっている。

外食(居住地区・職場・通学先別)

単位：%

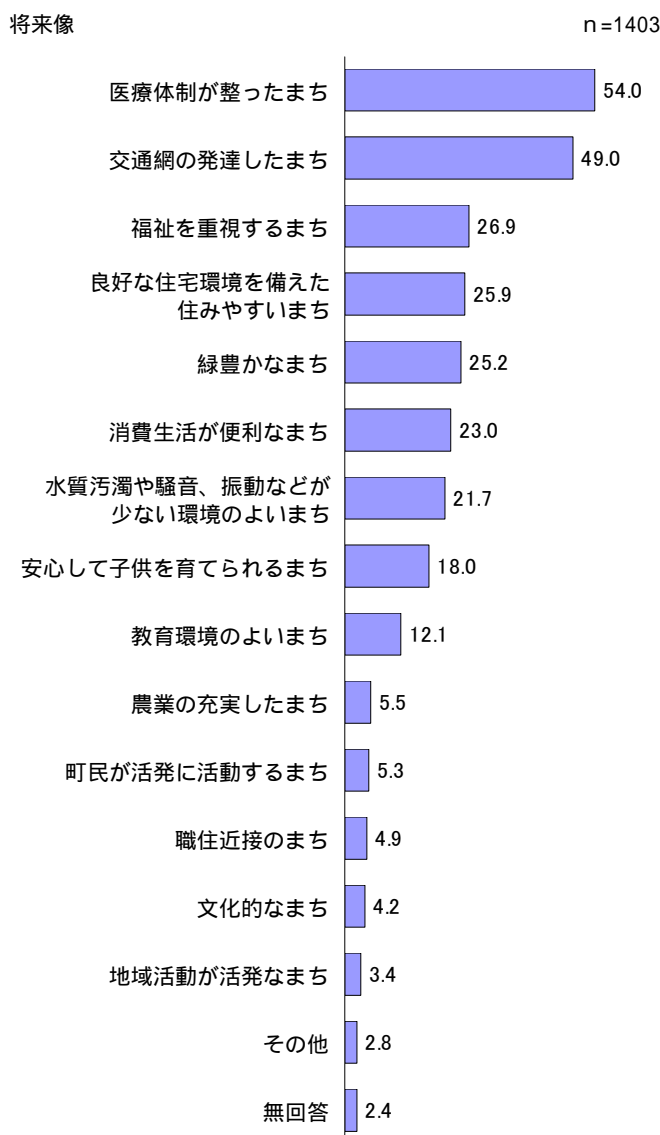
区分	回答者数	町内	福生市	羽村市	武蔵村山市	昭島市	立川市	八王子市	青梅市	東京23区	埼玉県	その他	無回答	
全体	1403	24.9	7.8	16.7	4.6	0.8	6.6	0.7	12.1	2.9	3.3	4.6	15.0	
居住地区別	殿ヶ谷地区	115	33.0	3.5	6.1	17.4	0.9	7.8	0.9	4.3	1.7	0.9	6.1	17.4
	石畑地区	169	32.5	6.5	7.1	12.4	1.8	5.9	0.6	7.1	3.0	2.4	5.9	14.8
	箱根ヶ崎地区	409	27.4	6.8	19.3	2.4	0.5	8.1	1.2	12.2	1.7	2.0	4.2	14.2
	長岡地区	187	21.4	3.2	26.7	1.6	0.5	3.7	0.5	20.3	1.6	1.6	2.7	16.0
	元狭山地区	262	27.9	6.5	7.3	3.1	0.8	5.3	0.4	17.2	4.2	8.8	5.7	13.0
	武蔵野地区	240	12.9	17.9	26.3	1.3	0.8	6.3	0.4	7.5	5.4	2.9	2.9	15.4
職場・通学先別	自宅	120	28.3	5.8	16.7	3.3	0.8	5.8	0.0	13.3	0.0	1.7	7.5	16.7
	町内	233	24.5	9.9	21.0	6.4	0.4	4.7	0.0	12.9	1.7	3.4	3.9	11.2
	多摩地区市町村	361	22.2	10.0	16.3	5.5	1.7	9.4	1.7	14.1	2.5	3.3	5.8	7.5
	都内23区	72	15.3	8.3	20.8	2.8	1.4	8.3	0.0	6.9	23.6	1.4	2.8	8.3
	埼玉県	53	18.9	11.3	13.2	0.0	0.0	7.5	1.9	11.3	0.0	20.8	3.8	11.3
	通っていない(無職)	501	29.9	5.6	15.0	3.2	0.4	5.2	0.6	11.4	1.6	2.2	3.2	21.8
	その他	32	9.4	9.4	21.9	15.6	0.0	12.5	0.0	3.1	9.4	0.0	12.5	6.3

*網がけは全体結果より5ポイント以上多いもの

2 瑞穂町の将来像や現状の評価について

(1) 将来像

問4 あなたは瑞穂町がどのようなまちになってほしいと思いますか。
次の中から適当と思われるものを3つ以内で選び、その番号を で囲んでください。



全体結果

瑞穂町がどのような町になってほしいかたずねた。「病院や診療所など医療体制が整ったまち」と「道路や鉄道などの交通網の発達したまち」がともに50%前後で特に多くあげられている。やや差が開いて、「高齢者や障害のある人のための施設や生活環境の整った福祉を重視するまち」「良好な住宅環境を備えた住みやすいまち」「公園や緑地、街路樹などが整備された緑豊かなまち」「商業や流通機能が整備され、消費生活が便利なまち」「水質汚濁や騒音、振動などが少ない環境のよいまち」が20%台となっている。

属性別

特に回答の多かった医療、交通網について年齢別に見ると、「病院や診療所など医療体制が整ったまち」は40～49歳及び60歳代、「道路や鉄道などの交通網の発達したまち」は20～29歳、40～49歳、65～69歳で特に多くあげられており、“若い世代に多い”“高齢世代に多い”といった特定の年代に多いという傾向ではなく、比較的各年代とも多くあげている。このほかの回答では、特定の年代に多い傾向が見られ、それらを次に列挙する。

「高齢者や障害のある人のための施設や生活環境の整った福祉を重視するまち」…60歳以上で40%前後

「良好な住宅環境を備えた住みやすいまち」…50歳代で30%台

「公園や緑地、街路樹などが整備された緑豊かなまち」…20～30歳代で30%強

「遊び場や施設が整備され、安心して子供を育てられるまち」…20歳代26.4%、30歳代43.6%

「学校施設や生涯学習施設などが整備された教育環境のよいまち」…30～40歳代で20%弱

将来像(性・年齢別) 単位：%

区分	回答者数	まち医療体制が整った	まち交通網の発達した	まち福祉を重視する	まち備えた住みやすい	緑豊かなまち	まち消費生活が便利	環境のよいまち	水質汚濁や騒音、振動などが少ない	安心して子供を育てられるまち	まち教育環境のよい	まち農業の充実した
全体	1403	54.0	49.0	26.9	25.9	25.2	23.0	21.7	18.0	12.1	5.5	
性別												
男	589	50.3	47.2	25.8	28.9	29.0	24.3	23.6	14.6	10.0	5.6	
女	731	58.1	50.2	26.7	23.7	22.4	22.8	21.3	22.0	14.5	5.1	
年齢別												
20～29歳	163	43.6	54.0	19.0	29.4	31.9	23.9	20.9	26.4	10.4	2.5	
30～39歳	211	45.5	47.9	12.8	21.3	30.3	22.3	24.2	43.6	18.5	5.2	
40～49歳	188	59.0	54.8	14.4	27.1	25.0	27.1	26.1	16.5	19.1	1.1	
50～54歳	160	50.6	50.0	29.4	36.3	27.5	23.1	24.4	14.4	10.6	6.3	
55～59歳	156	57.1	48.7	25.0	31.4	23.1	28.2	23.1	13.5	9.6	5.1	
60～64歳	177	61.0	45.8	36.2	23.2	18.6	18.6	22.6	6.8	11.3	9.6	
65～69歳	131	62.6	56.5	38.9	22.1	17.6	21.4	13.7	11.5	7.6	3.8	
70～79歳	158	56.3	40.5	43.0	17.7	25.9	23.4	18.4	7.0	7.0	7.6	
80歳以上	48	54.2	31.3	37.5	27.1	20.8	12.5	14.6	4.2	8.3	10.4	

区分	回答者数	す町る民が活発に活動	職住近接のまち	文化的なまち	まち地域活動が活発な	その他	無回答
全体	1403	5.3	4.9	4.2	3.4	2.8	2.4
性別							
男	589	7.1	8.1	4.9	3.4	3.1	2.2
女	731	4.2	2.2	3.7	3.4	2.7	1.8
年齢別							
20～29歳	163	6.1	6.1	4.9	0.6	0.6	1.8
30～39歳	211	4.7	1.9	1.9	1.9	3.8	1.4
40～49歳	188	4.3	5.3	6.9	2.7	5.3	1.1
50～54歳	160	5.0	1.9	4.4	2.5	4.4	0.6
55～59歳	156	4.5	9.0	3.8	5.1	1.3	1.3
60～64歳	177	9.0	3.4	2.3	4.5	1.7	2.8
65～69歳	131	3.1	7.6	7.6	3.8	2.3	1.5
70～79歳	158	5.7	5.1	3.8	5.7	1.9	5.7
80歳以上	48	4.2	6.3	0.0	8.3	4.2	12.5

*網がけは全体結果より5ポイント以上多いもの

居住年数別では、30年以上で「病院や診療所など医療体制が整ったまち」、5～9年で「道路や鉄道などの交通網の発達したまち」が55%前後と多い。また、10年未満では「遊び場や施設が整備され、

安心して子供を育てられるまち」「学校施設や生涯学習施設などが整備された教育環境のよいまち」といった子育て、子供の教育に関する将来像が多くなっている。

将来像(居住年数別) 単位：%

区分	回答者数	まち医療体制が整った	まち交通網の発達した	ち福祉を重視するま	ま備えた住みやすい	良好な住宅環境を	緑豊かなまち	まち消費生活が便利な	環境のよいまち	水質汚濁や騒音、振動などが少ない	て安心して子供を育	ち教育環境のよいま	ち農業の充実したま
全体	1403	54.0	49.0	26.9	25.9	25.2	23.0	21.7	18.0	12.1	5.5		
居住年数別	2年未満	51	35.3	37.3	15.7	33.3	27.5	19.6	29.4	43.1	13.7	0.0	
	2～4年	81	45.7	34.6	24.7	22.2	32.1	22.2	30.9	32.1	19.8	4.9	
	5～9年	110	51.8	54.5	14.5	21.8	22.7	22.7	25.5	25.5	17.3	5.5	
	10～19年	246	49.6	50.8	24.4	25.2	23.6	24.0	23.6	17.5	16.7	3.7	
	20～29年	341	52.5	51.3	28.7	28.4	27.6	25.2	20.5	15.8	11.4	3.8	
	30年以上	561	59.9	48.8	30.8	25.7	23.5	21.9	19.1	13.5	8.4	7.8	

区分	回答者数	す町民が活発に活動	職住近接のまち	文化的なまち	まち地域活動が活発な	その他	無回答
全体	1403	5.3	4.9	4.2	3.4	2.8	2.4
居住年数別	2年未満	51	3.9	3.9	2.0	3.9	5.9
	2～4年	81	6.2	7.4	2.5	2.5	0.0
	5～9年	110	2.7	4.5	1.8	2.7	5.5
	10～19年	246	4.9	2.8	7.3	2.8	3.3
	20～29年	341	7.6	4.4	2.6	2.9	1.8
	30年以上	561	4.8	6.1	4.6	4.3	2.7

*網がけは全体結果より5ポイント以上多いもの

問1の住みよさとの関連を見ると、まちが住みにくいと感じている人では「道路や鉄道などの交通網の発達したまち」を約60%の人があげており、先の引っ越したい理由として交通の不便さが特に

多かったことと符合している。「病院や診療所など医療体制が整ったまち」については、住みよい、普通、住みにくい、いずれも50%台と差がなく、まちの住みよさ感にかかわらず重視されている。

将来像(住みよさ別) 単位：%

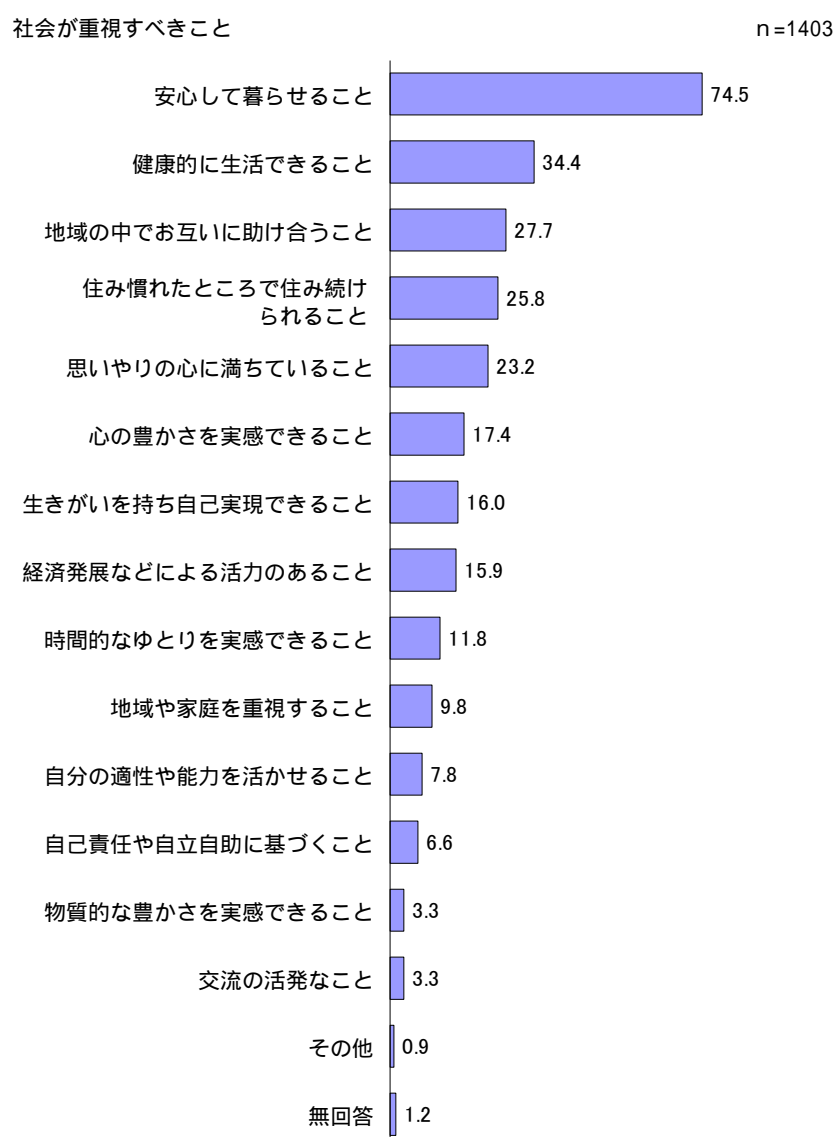
区分	回答者数	まち医療体制が整った	まち交通網の発達した	ち福祉を重視するま	ま備えた住みやすい	良好な住宅環境を	緑豊かなまち	まち消費生活が便利な	環境のよいまち	水質汚濁や騒音、振動などが少ない	て安心して子供を育	ち教育環境のよいま	ち農業の充実したま
全体	1403	54.0	49.0	26.9	25.9	25.2	23.0	21.7	18.0	12.1	5.5		
住みよさ別	住みよい	405	52.6	41.2	24.4	29.9	29.1	21.5	24.7	20.2	11.6	6.9	
	普通	605	57.2	47.9	31.9	25.8	26.6	21.7	16.9	17.0	12.1	4.6	
	住みにくい	381	51.2	59.3	21.3	22.3	18.9	27.3	25.7	17.6	12.9	5.2	

区分	回答者数	す町民が活発に活動	職住近接のまち	文化的なまち	まち地域活動が活発な	その他	無回答
全体	1403	5.3	4.9	4.2	3.4	2.8	2.4
住みよさ別	住みよい	405	7.2	4.4	3.2	3.5	2.2
	普通	605	4.6	6.3	4.5	4.1	2.3
	住みにくい	381	4.2	3.4	5.0	2.4	3.9

*網がけは全体結果より5ポイント以上多いもの

(2) 社会が重視すべきこと

問5 これからの社会は何を重視するべきと考えますか。次の中から適当と思われるものを3つ以内で選び、その番号を で囲んでください。



全体結果

これからの社会は何を重視するべきと考えるかをたずねた。「安心して暮らせること」が74.5%と、4人に3人があげており、次いで「健康的に生活できること」34.4%となっている。まちの住みよさにかかわらず医療体制が整ったまちが多く望まれていたことと併せ、健康で安心して暮らせることが特に重視される結果となった。また、この「安心して暮らせること」については、健康面の安心の他、防災、防犯などの安全さ、公害のない環境面の安全さなども含まれているものと考えられる。

これらに次いで、「地域の中でお互いに助け合うこと」「住み慣れたところで住み続けられること」「思いやりの心に満ちていること」が25%前後となっており、地域の中での人とのつながりも重視されている。

属性別

「安心して暮らせること」は、性別、年齢、居住年数にかかわらず、概ね70～80%台の人があげており、共通の認識となっている。

「健康的に生活できること」は、65～69歳、居住年数2年未満で40%台とやや多い。60歳代以上、特に70歳代以上になると、「住み慣れたところで住み続けられること」が重視されるようになる。

40～50歳代では、「経済発展などによる活力のあること」が20%強とやや多くなる。

20～29歳では、「自分の適性や能力を活かせること」が14.1%とやや多く見られる。

社会が重視すべきこと(性・年齢別)

単位：%

区分	回答者数	安心して暮らせること	健康的に生活できること	地域の中でお互いに助け合うこと	住み慣れたところで住み続けられること	思いやりをこころに満ちた生活を送ること	心の豊かさを実感できること	生きがいを持て、自己実現ができること	経済力の発展などによる活力のあること	時間的余裕を確保すること	地域や家庭を重視すること
全体	1403	74.5	34.4	27.7	25.8	23.2	17.4	16.0	15.9	11.8	9.8
性別											
男	589	72.3	32.9	25.6	27.8	22.4	18.8	13.4	17.0	14.9	10.0
女	731	76.2	35.4	29.7	23.8	24.6	16.7	18.3	14.8	9.7	10.1
年齢別											
20～29歳	163	74.2	31.3	25.8	11.0	26.4	21.5	16.6	15.3	17.8	13.5
30～39歳	211	78.7	31.8	18.0	13.7	28.9	16.6	12.3	14.2	15.2	12.3
40～49歳	188	80.3	33.0	18.6	16.5	26.6	18.6	17.6	22.3	19.7	9.0
50～54歳	160	75.6	34.4	25.6	23.8	20.0	18.8	21.3	21.9	11.9	9.4
55～59歳	156	73.1	34.0	28.8	28.8	23.1	21.8	17.3	20.5	11.5	6.4
60～64歳	177	73.4	36.7	37.9	33.3	18.1	16.4	20.9	13.6	6.8	5.6
65～69歳	131	71.0	40.5	26.7	38.2	18.3	13.7	15.3	16.8	4.6	9.2
70～79歳	158	65.2	36.7	43.0	41.8	23.4	15.2	11.4	5.7	7.0	10.8
80歳以上	48	77.1	29.2	29.2	50.0	16.7	4.2	4.2	8.3	2.1	16.7

区分	回答者数	自分の適性や能力を活かせること	自己責任や自立を助けること	物質的な豊かさを実感できること	交流の活発なことを求めること	その他	無回答
全体	1403	7.8	6.6	3.3	3.3	0.9	1.2
性別							
男	589	8.7	7.6	3.9	3.4	1.4	1.2
女	731	7.3	5.9	2.5	3.6	0.7	1.0
年齢別							
20～29歳	163	14.1	6.1	1.8	3.7	0.0	0.6
30～39歳	211	10.4	6.2	6.2	6.2	0.9	1.4
40～49歳	188	7.4	5.3	4.3	2.1	1.6	0.5
50～54歳	160	5.6	6.3	4.4	1.9	0.6	1.3
55～59歳	156	7.7	6.4	1.9	0.6	1.3	0.6
60～64歳	177	7.3	7.3	2.3	6.2	1.1	0.0
65～69歳	131	5.3	6.9	1.5	5.3	0.8	0.8
70～79歳	158	3.8	10.1	2.5	0.6	1.3	1.9
80歳以上	48	2.1	4.2	6.3	2.1	0.0	8.3

* 網がけは全体結果より5ポイント以上多いもの

社会が重視すべきこと(居住年数別)

単位：%

区分	回答者数	安心して暮らせること	健康的に生活できること	地域の中でお互いに助け合うこと	住み慣れた所で住み続けられること	思いやりの心に満ちていること	心の豊かさを実感できること	己の実現できること	生きがいを持ち自己実現できること	経済発展などによる活力のあること	時間的余裕を有すること	地域や家庭を重視すること
全体	1403	74.5	34.4	27.7	25.8	23.2	17.4	16.0	15.9	11.8	9.8	
居住年数別	2年未満	51	72.5	43.1	17.6	11.8	39.2	15.7	17.6	13.7	11.8	9.8
	2～4年	81	84.0	27.2	14.8	9.9	27.2	21.0	12.3	21.0	19.8	13.6
	5～9年	110	76.4	34.5	23.6	23.6	20.9	16.4	13.6	14.5	12.7	13.6
	10～19年	246	78.5	30.5	24.4	17.5	23.6	16.3	20.3	22.0	11.0	9.8
	20～29年	341	73.6	36.4	30.5	19.1	24.6	19.4	16.7	15.0	13.5	9.4
	30年以上	561	71.3	35.1	31.2	36.7	20.7	16.6	14.8	13.7	9.8	8.9

区分	回答者数	自分の適性や能力を活かせること	自己責任や自立を助けること	実感的な豊かさを実感できること	交流の活発なこと	その他	無回答	
全体	1403	7.8	6.6	3.3	3.3	0.9	1.2	
居住年数別	2年未満	51	5.9	9.8	5.9	3.9	0.0	0.0
	2～4年	81	9.9	1.2	2.5	8.6	2.5	0.0
	5～9年	110	10.0	7.3	4.5	3.6	1.8	1.8
	10～19年	246	9.3	6.1	2.0	4.5	1.6	1.2
	20～29年	341	10.3	7.9	3.8	2.9	0.3	0.6
	30年以上	561	5.2	6.6	3.4	2.3	0.7	1.6

* 網がけは全体結果より5ポイント以上多いもの

問1のまちの住みよさとの関連を見ると、住みよさにかかわらず4人に3人が「安心して暮らせること」をあげている。

社会が重視すべきこと(住みよさ別)

単位：%

区分	回答者数	安心して暮らせること	健康的に生活できること	地域の中でお互いに助け合うこと	住み慣れた所で住み続けられたこと	思いやりで心に満ちていること	心の豊かさを実感できること	生きがいを持ち自己実現できること	経済発展などによる活力のあること	時間的なゆとりを感ずること	地域や家庭を重視すること
全体	1403	74.5	34.4	27.7	25.8	23.2	17.4	16.0	15.9	11.8	9.8
住みよさ別	住みよい	405	73.3	32.8	31.9	29.9	26.9	19.5	14.6	11.4	8.6
	普通	605	75.9	32.2	29.4	30.1	21.2	15.9	15.2	12.1	9.9
	住みにくい	381	73.5	39.4	21.3	14.4	22.8	17.3	18.9	21.8	10.8

区分	回答者数	自分の適性や能力を活かせること	自己責任や自立を助けること	物質的な豊かさを実感できること	交流の活発なこと	その他	無回答	
全体	1403	7.8	6.6	3.3	3.3	0.9	1.2	
住みよさ別	住みよい	405	6.4	7.7	3.2	1.7	0.5	1.5
	普通	605	6.9	5.8	3.0	3.8	1.3	0.8
	住みにくい	381	10.5	6.8	4.2	4.5	0.8	1.3

*網がけは全体結果より5ポイント以上多いもの

(3) 町政の各分野に対する評価

問6 あなたは現在、次に掲げる町政分野について、どの程度満足していますか。また、どの程度重視していますか。それぞれの項目ごとにあなたのお気持ちに最も近いものをそれぞれ1つずつ選びその番号を で囲んでください。(カッコ内は施策の例示)

町政の各分野について、満足度と重要度をたずねた。

満足度、重要度とも5段階の選択肢で質問しているが、全体の傾向をより鮮明にするため、それぞれ3段階に区分し直して分析する。3段階の区分は次のとおりである。

満足度

「満足している」 _____ → 満足
「どちらかといえば満足している」 _____
「どちらともいえない」 _____ → 「どちらともいえない」
「どちらかといえば不満である」 _____ → 不満
「不満である」 _____

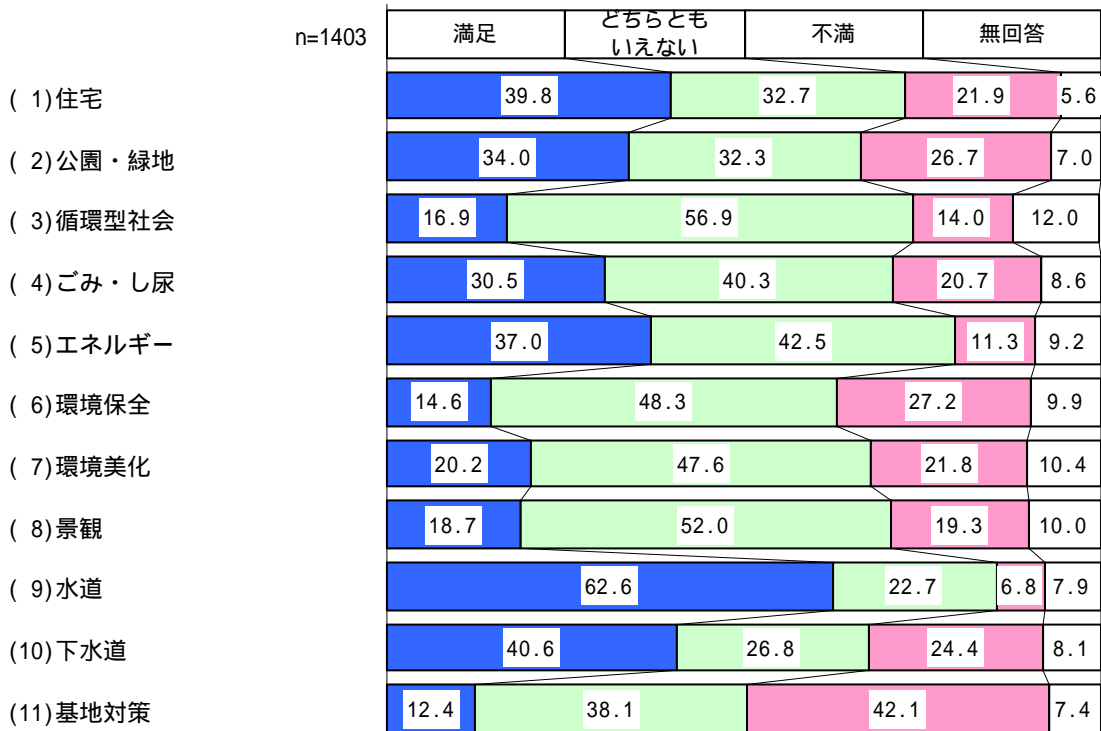
重要度

「非常に重要である」 _____ → 重要
「どちらかといえば重要である」 _____
「どちらともいえない」 _____ → 「どちらともいえない」
「どちらかといえば重要ではない」 _____ → 重要でない
「重要ではない」 _____

分野ごとの満足度と重要度

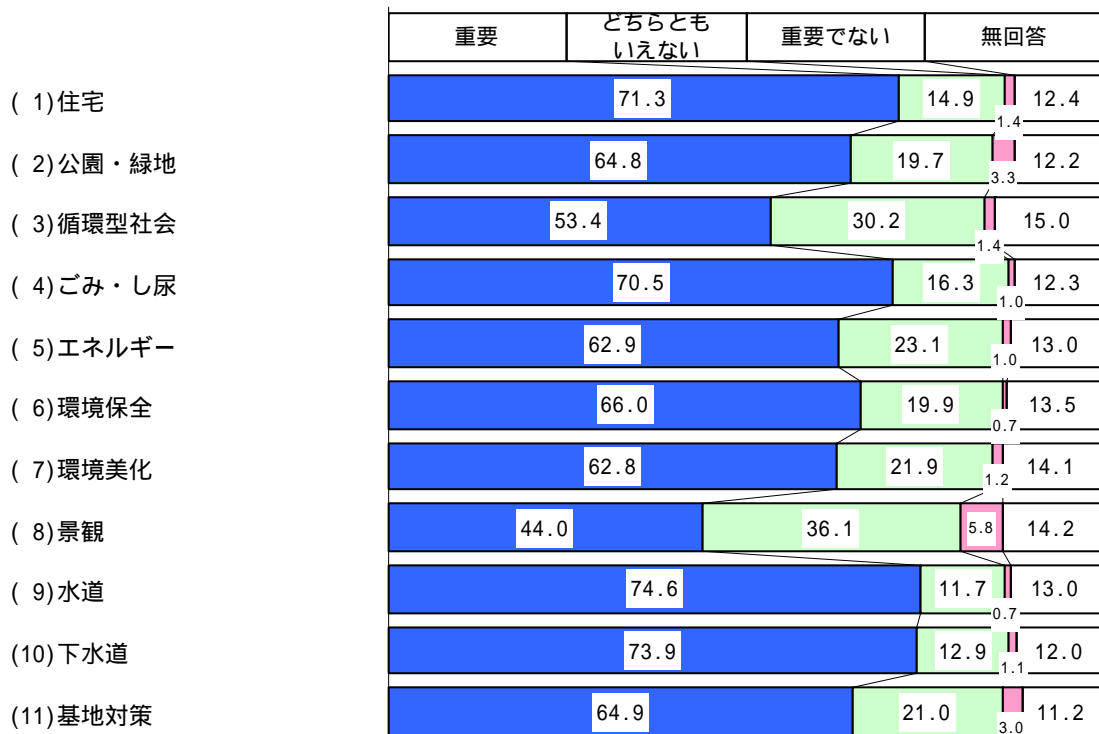
[良好な居住空間づくり]

[満足度]



満足度の高い分野は、「水道」62.6%、「下水道」40.6%などであり、逆に「基地対策」は不満が42.1%と不満感が高い。

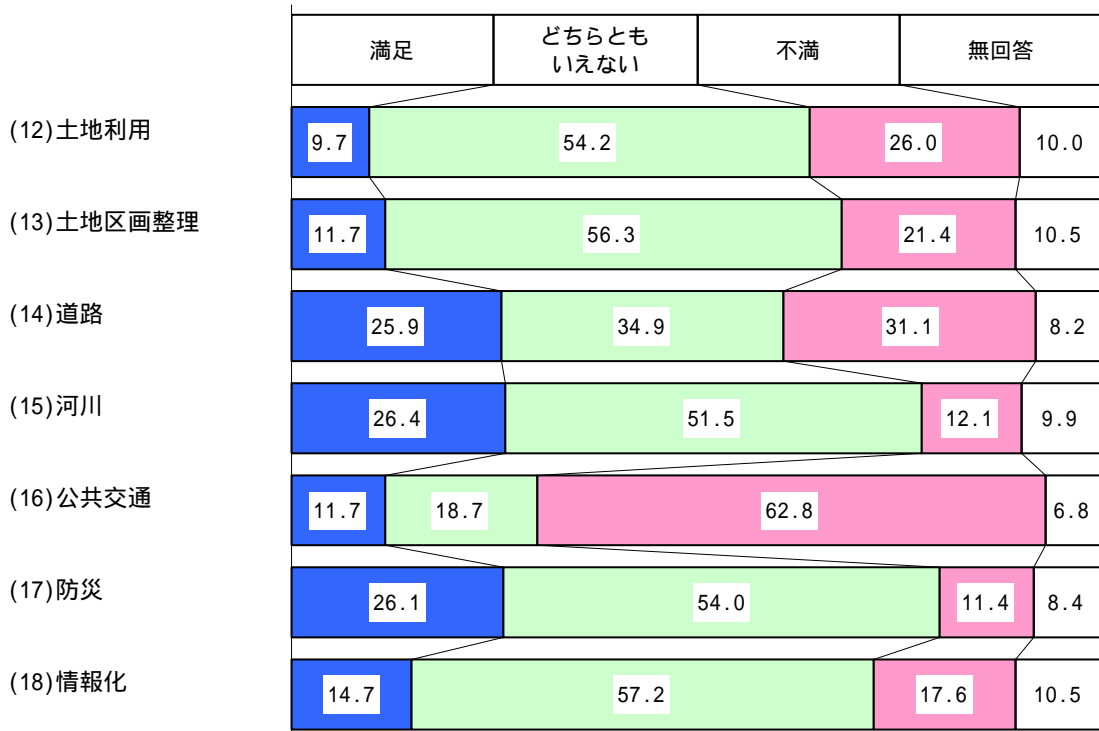
[重要度]



重要度は、概ね60～70%台と高いが、中で、「景観」「循環型社会」は50%前後とやや低くなっている。

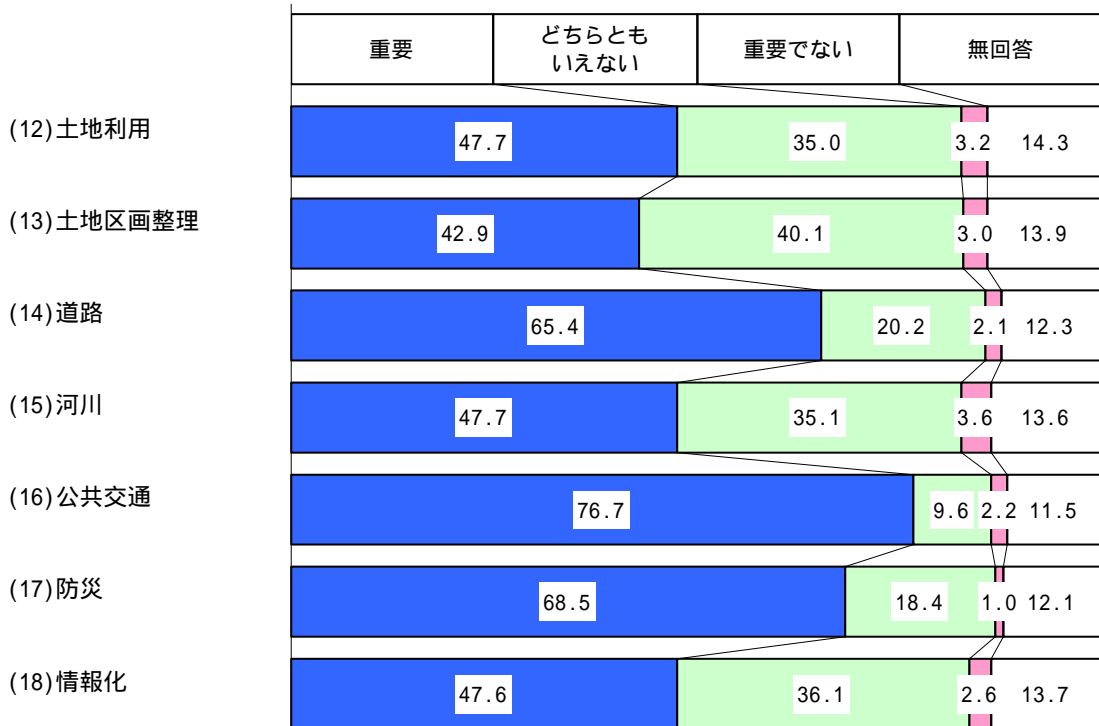
[快適で便利な都市基盤づくり]

[満足度]



多くの分野で「どちらともいえない」が50%台を占めるものが多くなっている中で、「公共交通」は「不満」が62.8%と特に高く、先に見た引越したい理由等によらされているのと同様の結果である。

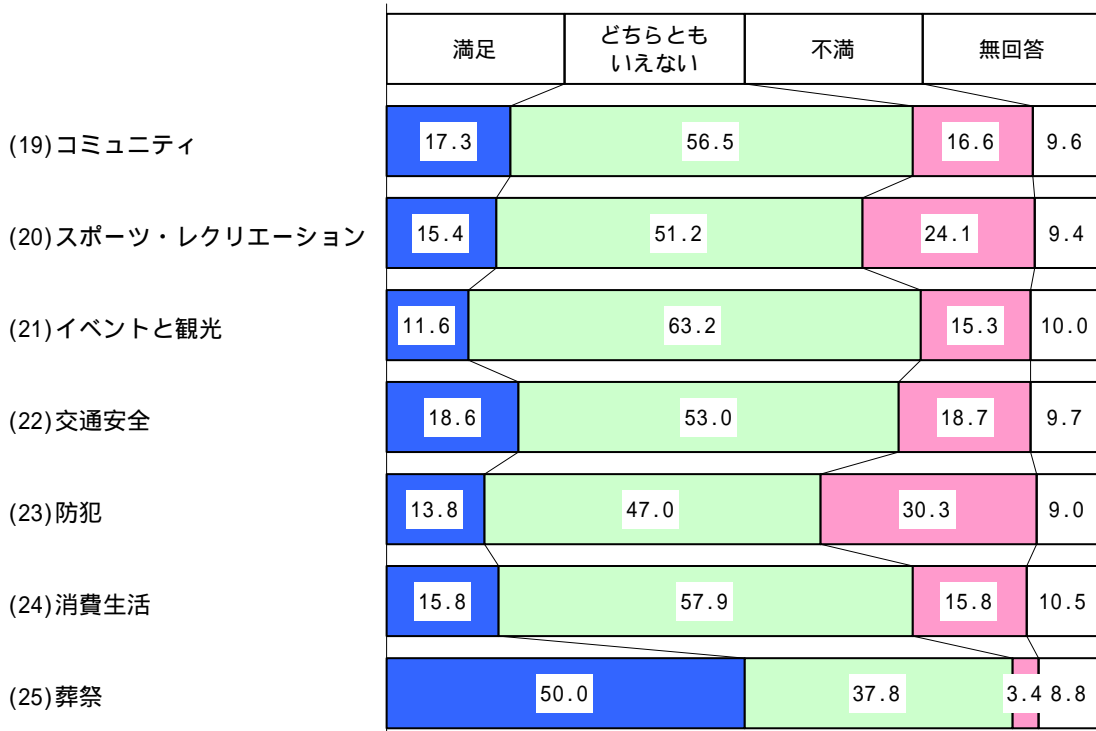
[重要度]



重要度は、「公共交通」「防災」「道路」で70%前後と特に高い。その他は40%台とやや低い。

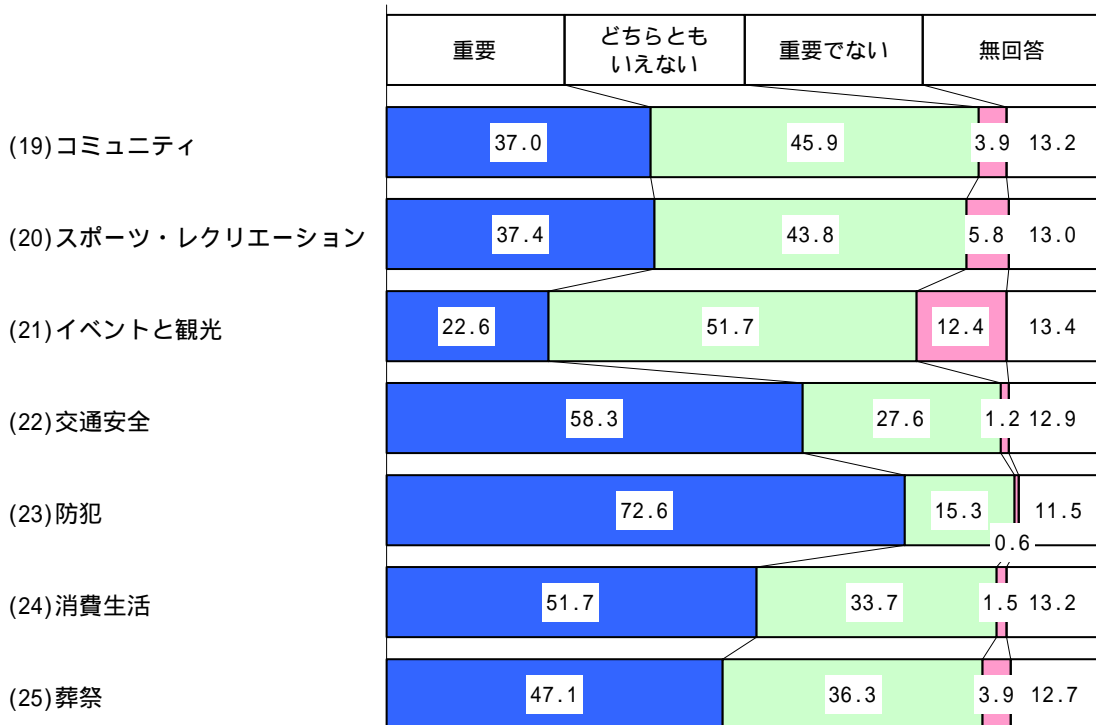
[安全でいきいきとした生活環境づくり]

[満足度]



満足度は「どちらともいえない」が、多くの分野で半数前後と高い中で、「葬祭」は半数の人が「満足」としている。一方、不満が比較的高いのは「防犯」の30.3%である。

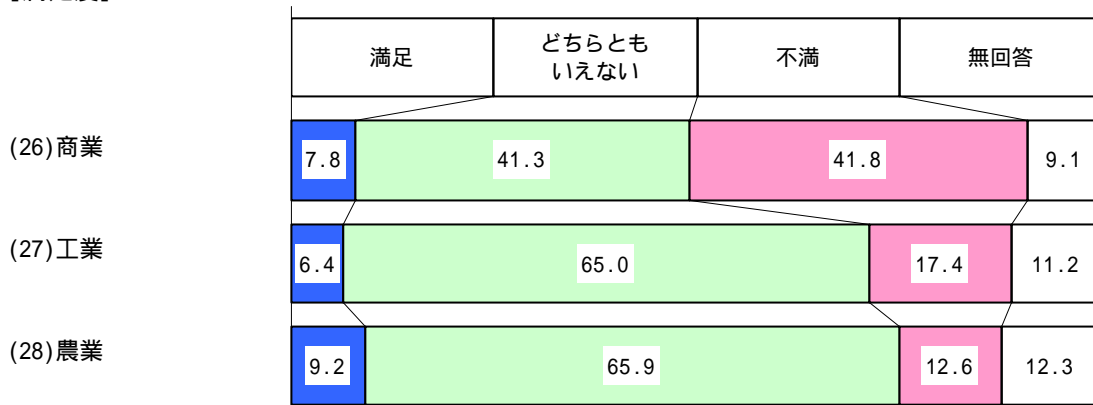
[重要度]



重要度については、不満のやや高かった「防犯」で72.6%と特に高い。次いで、「交通安全」「消費生活」となっている。一方、「イベントと観光」は「どちらともいえない」が半数強を占めている。

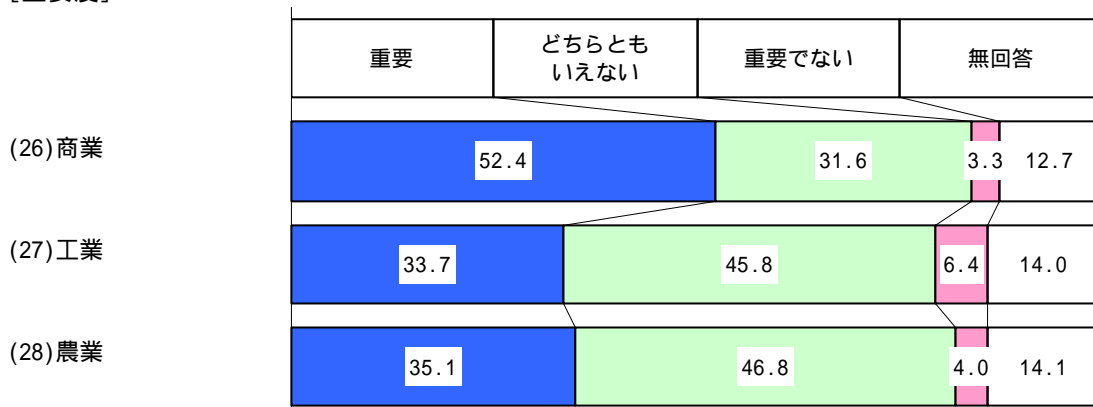
[特色のある産業づくり]

[満足度]



「工業」「農業」は、「どちらともいえない」がともに約65%と多い。「商業」は、「どちらともいえない」と「不満」がともに40%強となっている。

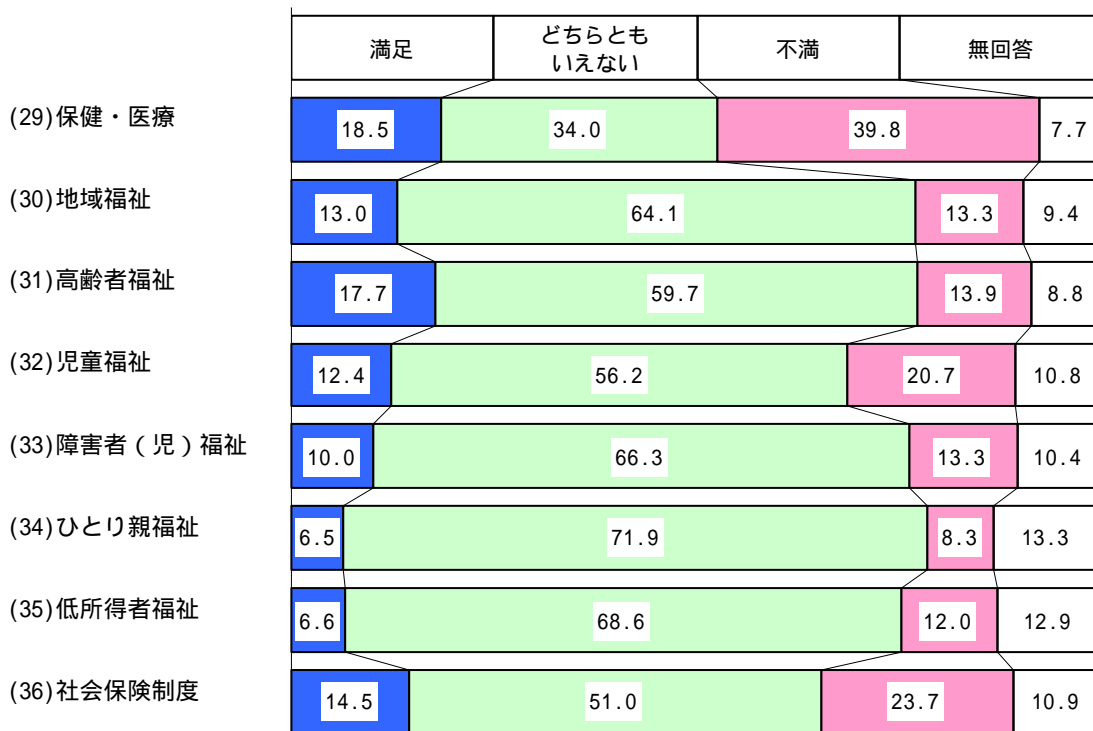
[重要度]



重要度は、「商業」で半数強と高いが、「工業」「農業」は「どちらともいえない」が45%強と高くなっている。

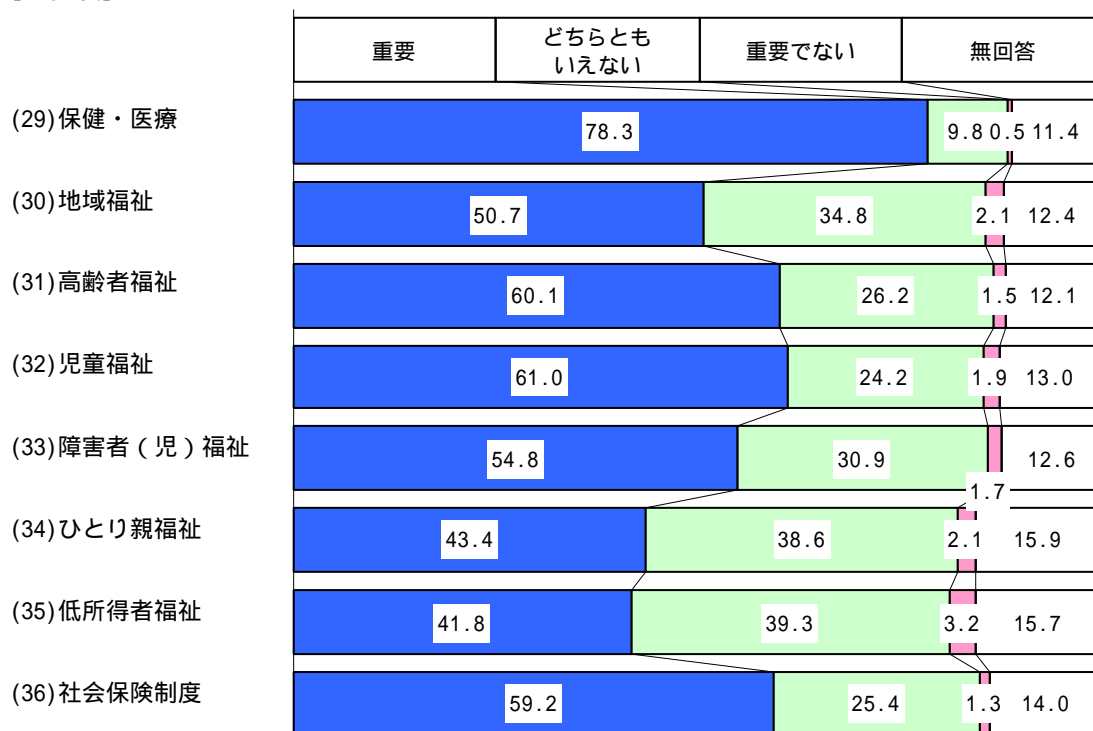
[安心感のある保健・医療・福祉づくり]

[満足度]



「どちらともいえない」が概ね60%代前後を占めている中で、「保健・医療」は34.0%と低くなり、「不満」が39.8%と高くなっている。

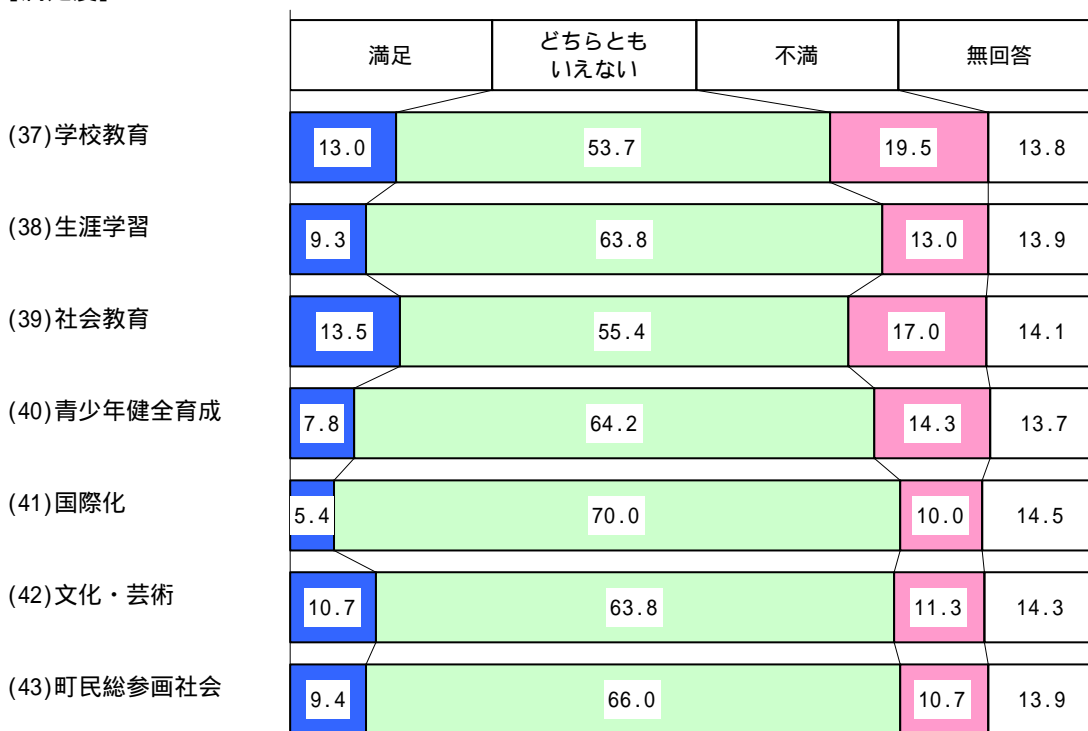
[重要度]



重要度は、「保健・医療」で78.3%と特に高く、先にも見たように、保健・医療面の充実が重視されている。福祉関係の分野でも、いずれも「重要」の割合が最も高くなっている。

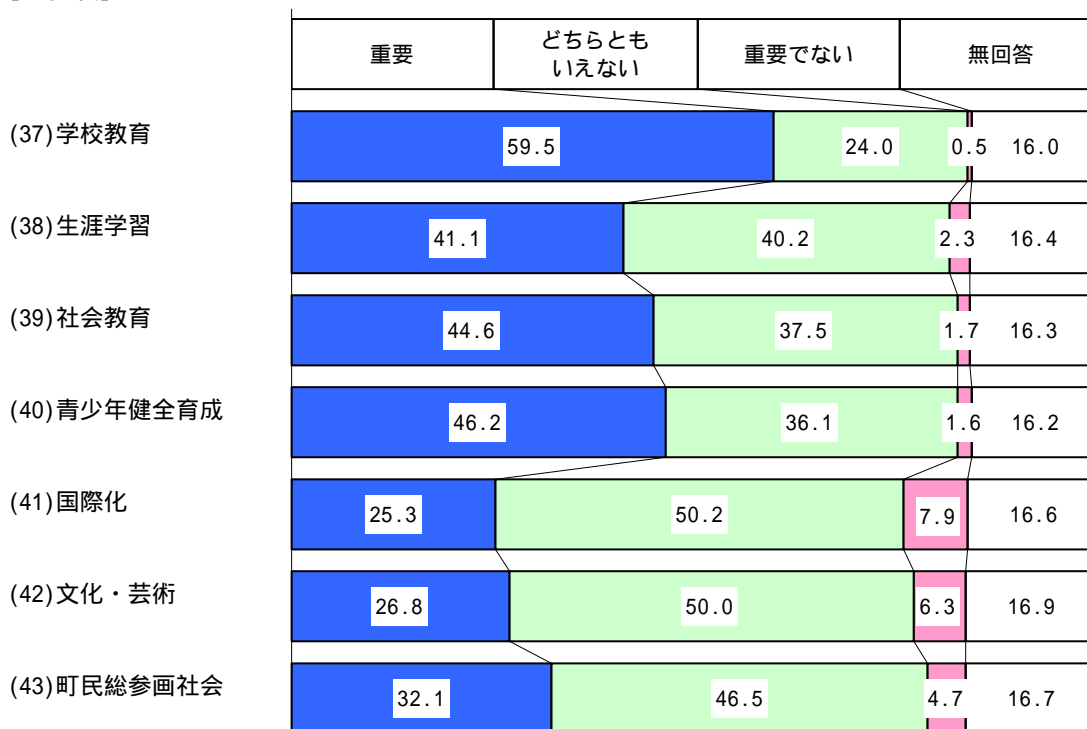
[個性とやさしさを生む教育・文化づくり]

[満足度]



いずれも「どちらともいえない」が半数以上を占め多くなっている。また、「不満」と「満足」は同程度か、わずかながら「不満」の方が多くなっている。

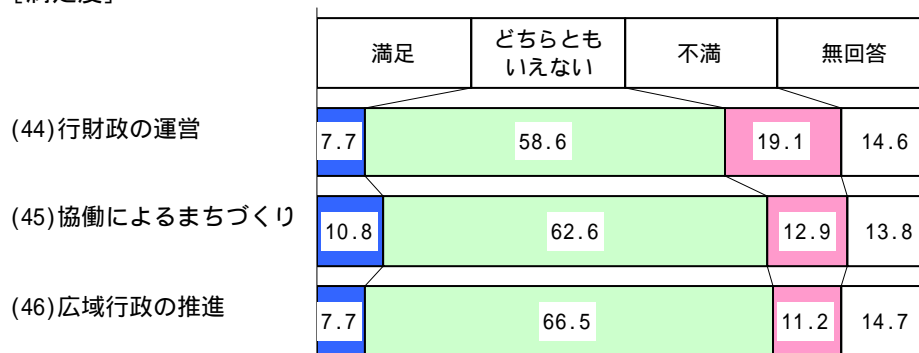
[重要度]



重要度は、「学校教育」が59.5%が特に高く、「生涯学習」「社会教育」「青少年健全育成」も40%台と高い。

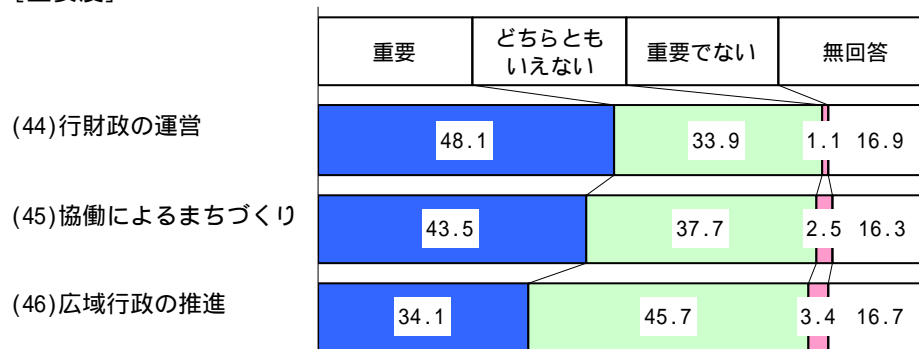
[計画の推進]

[満足度]



いずれも「どちらともいえない」が60%前後を占めている中で、「行財政の運営」の「不満」が19.1%とやや多くなっている。

[重要度]



「行財政の運営」「協働によるまちづくり」は、「重要」が45%前後と多いが、「広域行政の推進」は「どちらともいえない」が45.7%と多くなっている。

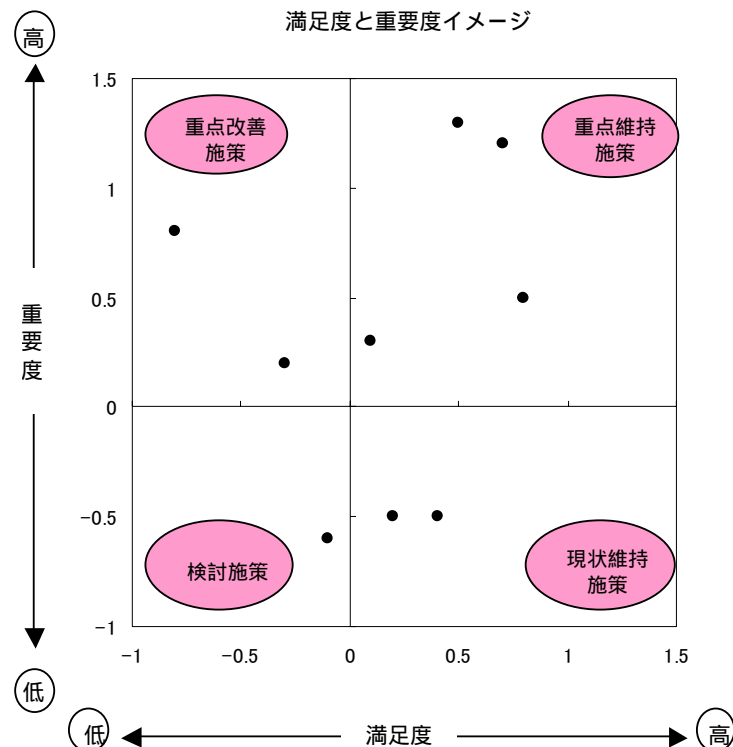
満足度と重要度から見た施策の位置づけ

次に、各分野ごとの満足度と重要度を組み合わせ、施策の位置づけを分析する。分析にあたっては、満足度と重要度を「評価点」によって点数化して行う。評価点とは、各選択肢への回答者数を加味した加重平均値である。ここでは、各選択肢に次のように得点をつけ、それぞれの点数に回答者数を掛け合わせた総得点数を、無回答を除いた回答者数で除して算出している。したがって、評価点は - 2 点 ~ + 2 点の範囲となり、数値が大きいくほど評価が高くなる。また、0 点が普通という評価となる。各選択肢の得点は次のように配点した。

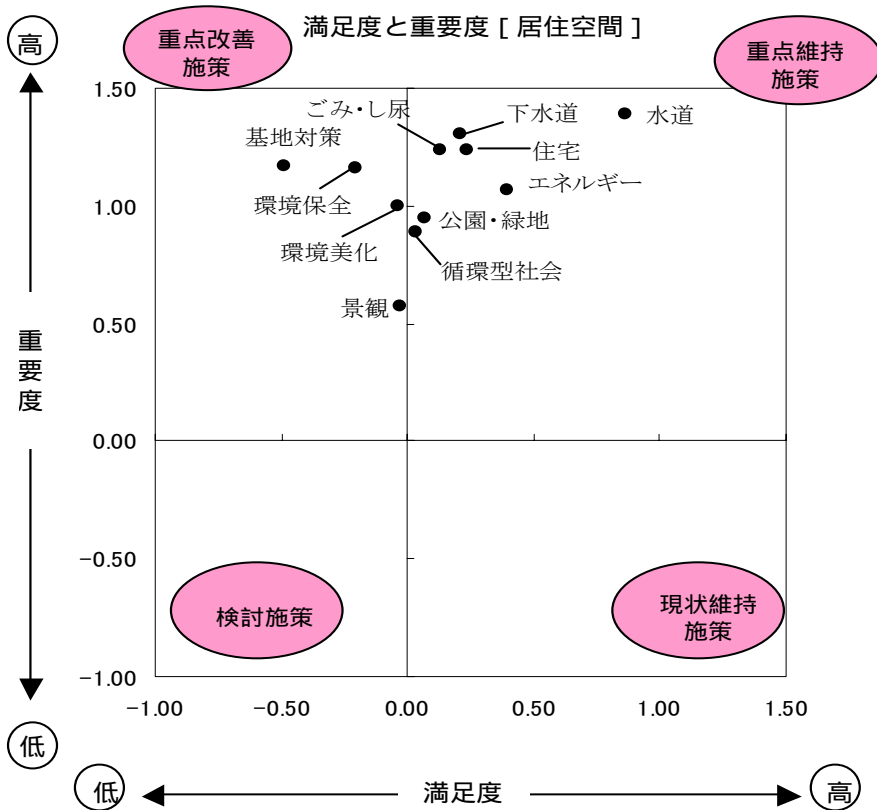
* 満足度		* 重要度	
「満足している」	2 点	「非常に重要である」	2 点
「どちらかといえば満足している」	1	「どちらかといえば重要である」	1
「どちらともいえない」	0	「どちらともいえない」	0
「どちらかといえば不満である」	- 1	「どちらかといえば重要ではない」	- 1
「不満である」	- 2	「重要ではない」	- 2

算出された評価点をもとに、各分野別施策を、満足度、重要度ともに ± 0 点を基準に、次の4つのタイプに分類する。

- ・ 重点維持施策...満足度も重要度も高く、今後も現状の高い水準を重点的に維持していくべきもの。
- ・ 現状維持施策...満足度は高いが重要度は低く、現状の満足度を維持していくべきもの。
- ・ 重点改善施策...重要度は高いが満足度が低く、今後、重点的に改善していくべきもの。
- ・ 検討施策...満足度も重要度も低く、今後、施策のあり方を検討していくべきもの。

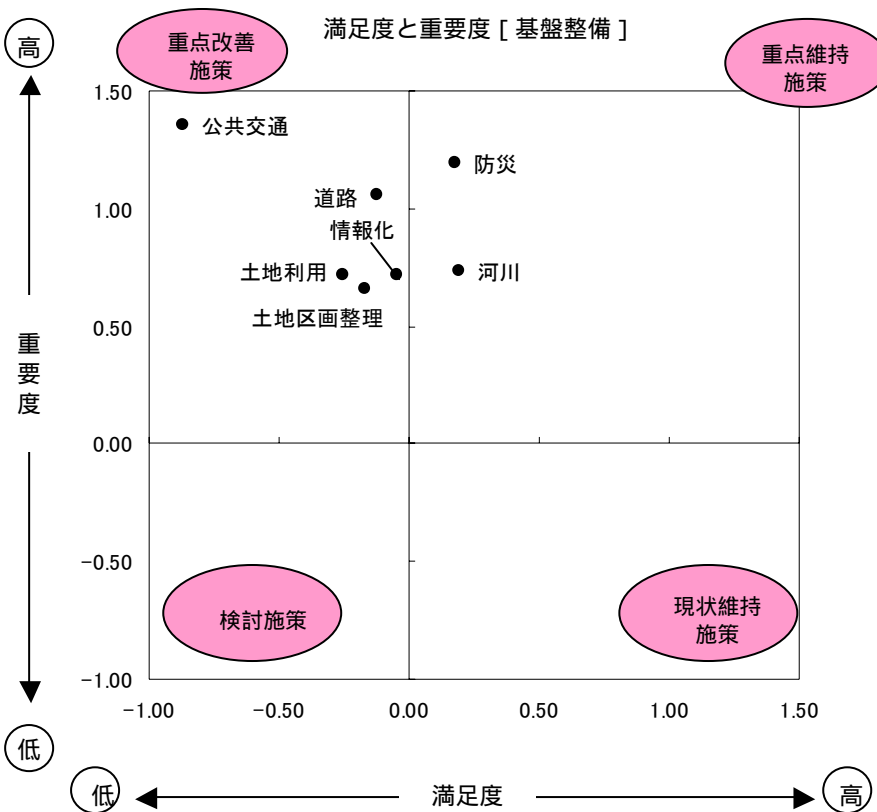


以下、各分野ごとに見ていく。

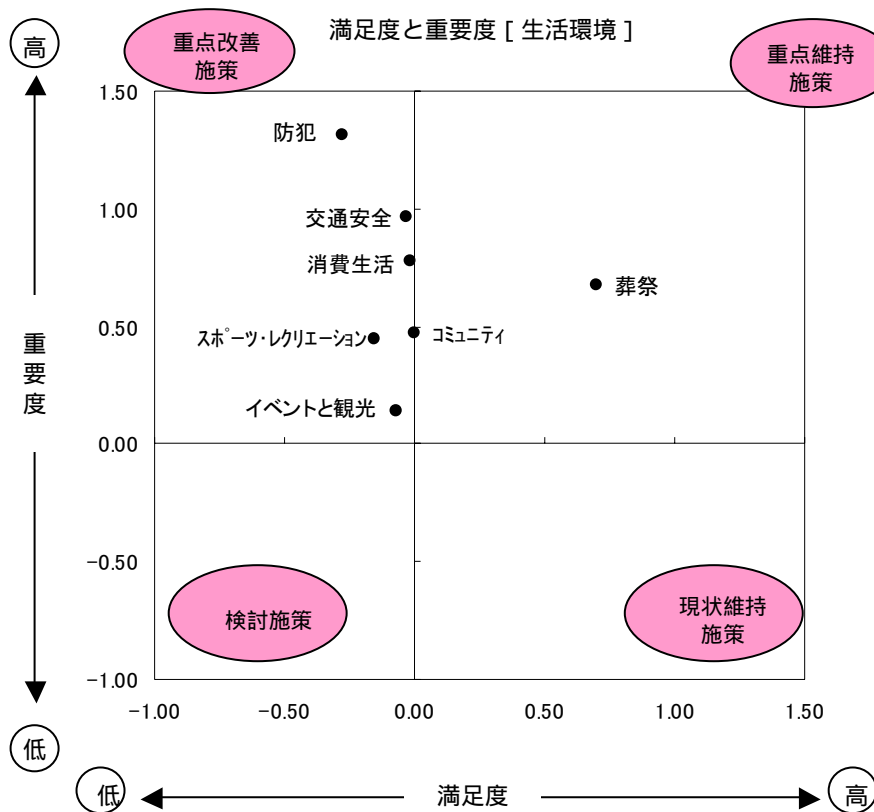


「水道」は、満足度、重要度ともに高い。下水道は重要度は高いが、水道に比べ満足度はやや低い。

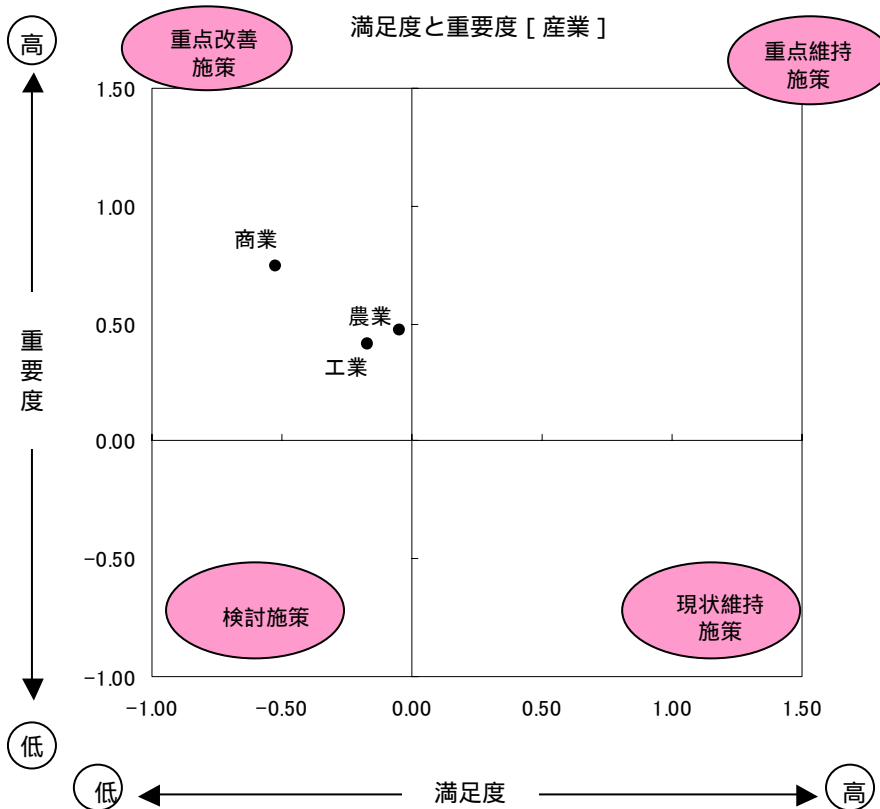
「基地対策」などは、重点改善施策となっている。



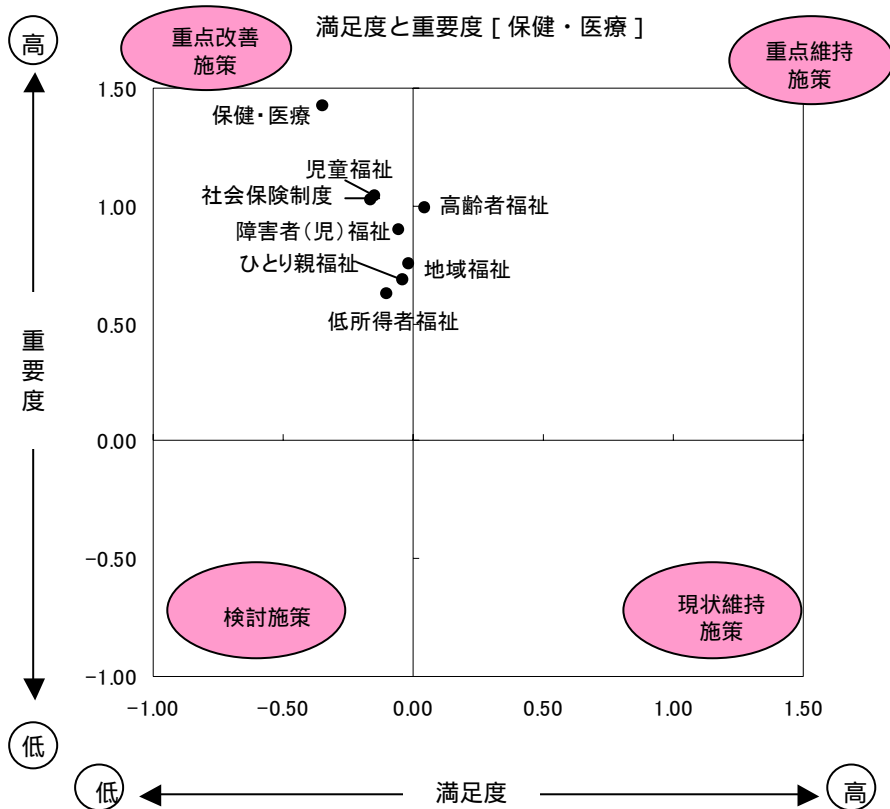
重点改善施策が多い中、「公共交通」で不満感が特に高くなっている。



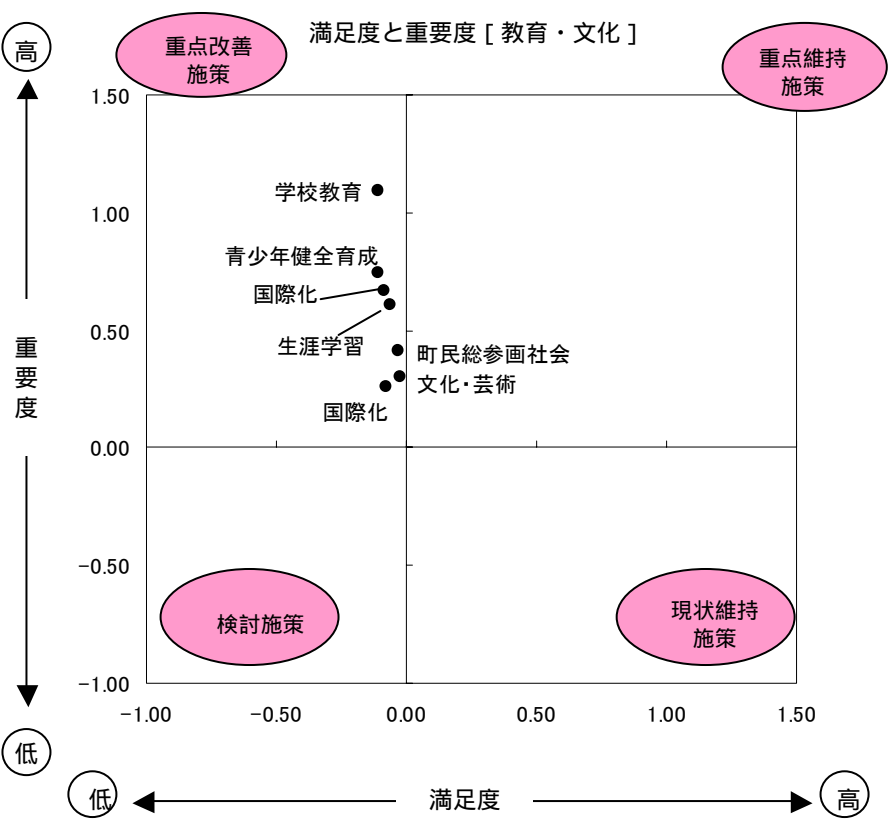
満足度は比較的±0近くの分野が多い。「葬祭」は重点維持施策に入っている。「防犯」は重要度が高いものの満足度はやや低くなっている。



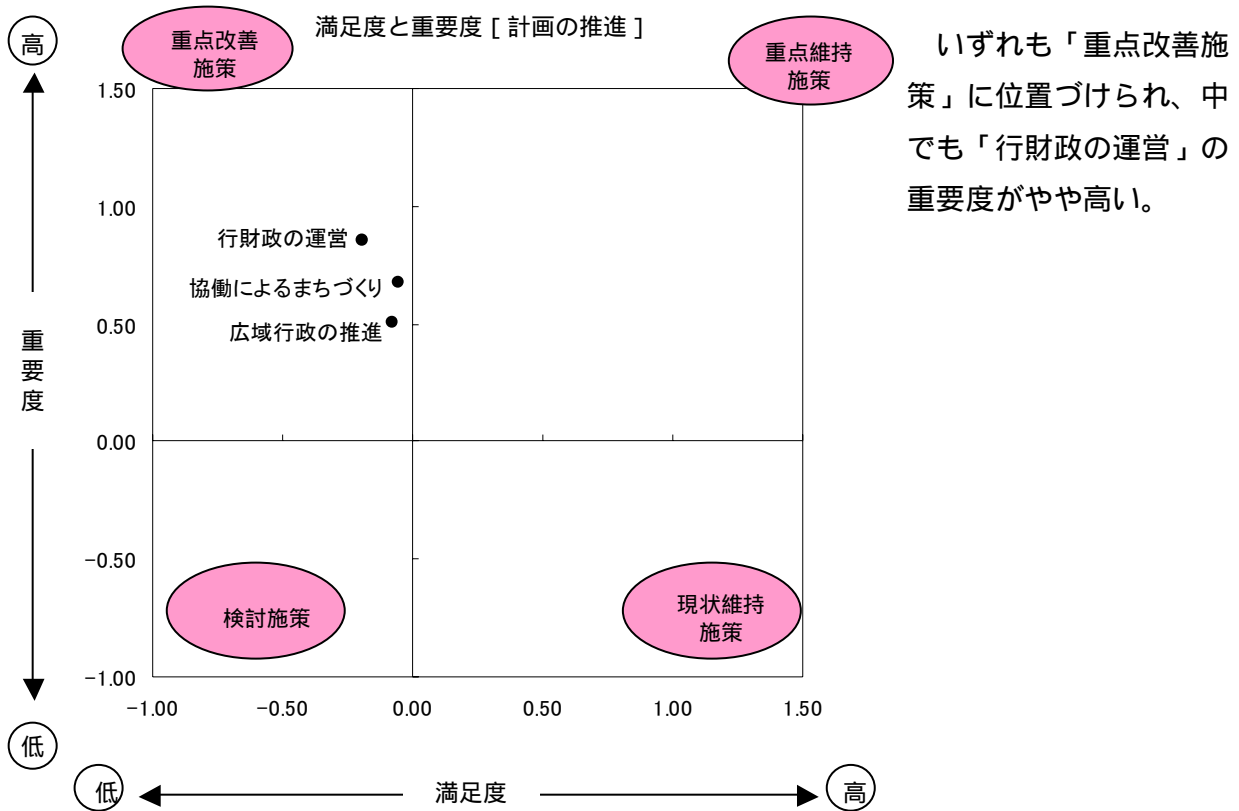
「商業」「工業」「農業」いずれも重点改善施策に入っている。「商業」は重要度は高いが、満足度が低くなっている。



ほぼいずれも「重点改善施策」に位置づけられる。中でも「保健・医療」の重要度が高く、満足度がやや低くなっている。



いずれも「重点改善施策」に位置づけられるが、不満感はさほど高くない。「学校教育」の重要度が特に高くなっている。



年齢別に見る満足度

ここでは、年代により特に関心や満足感が異なると思われる、主に保健・福祉、教育関係の分野を中心に満足度を見てみる。

概ね70歳代、80歳以上で満足度は高く、40歳代、50歳代前半で低い傾向となっている。また、「スポーツ・レクリエーション」「児童福祉」については30～39歳で最も評価が低くなっている。

年齢別に見た満足度(評価点)

分野	全体	年齢別								
		20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70～79歳	80歳以上
(18)情報化	-0.05	-0.08	-0.15	-0.13	-0.21	0.05	0.04	0.05	0.18	0.07
(19)コミュニティ	0.00	-0.07	-0.08	-0.12	-0.19	0.08	0.06	0.23	0.21	0.13
(20)スポーツ・レクリエーション	-0.15	-0.33	-0.43	-0.33	-0.37	0.05	-0.01	0.11	0.39	0.20
(21)イベントと観光	-0.07	-0.13	-0.07	-0.16	-0.21	-0.01	-0.05	-0.02	0.16	0.16
(29)保健・医療	-0.35	-0.62	-0.47	-0.63	-0.53	-0.24	-0.33	-0.01	0.28	0.21
(30)地域福祉	-0.02	-0.11	-0.08	-0.08	-0.10	-0.01	-0.02	0.04	0.29	0.33
(31)高齢者福祉	0.05	0.06	0.00	0.01	-0.11	-0.01	-0.02	0.11	0.45	0.30
(32)児童福祉	-0.14	-0.28	-0.40	-0.22	-0.14	-0.03	-0.02	-0.02	0.15	0.20
(36)社会保険制度	-0.16	-0.34	-0.32	-0.21	-0.37	0.00	-0.21	0.04	0.23	0.25
(37)学校教育	-0.11	-0.17	-0.22	-0.36	-0.20	0.04	-0.03	0.03	0.24	0.19
(38)生涯学習	-0.06	-0.13	-0.14	-0.16	-0.13	0.03	-0.01	0.07	0.08	0.26
(39)社会教育	-0.08	-0.16	-0.21	-0.22	-0.25	0.00	0.05	0.11	0.23	0.26
(40)青少年健全育成	-0.11	-0.16	-0.17	-0.18	-0.21	-0.01	-0.07	-0.09	0.05	0.19
(41)国際化	-0.08	-0.13	-0.13	-0.20	-0.10	0.00	0.01	-0.01	0.02	0.15
(42)文化・芸術	-0.02	-0.10	-0.07	-0.12	-0.08	0.07	0.01	0.00	0.12	0.33
(43)町民総参画社会	-0.03	-0.07	-0.12	-0.07	-0.15	0.06	-0.02	0.05	0.16	0.21

* 網がけは評価点の最も高い年齢、太枠は評価点の最も低い年齢。

居住地区別に見る満足度

ここでは、地区により状況が異なると思われる環境、基盤整備関係の分野を中心に満足度を見てみる。

殿ヶ谷地区で評価の高い分野が多く、元狭山地区で評価の低い分野が多い傾向が見られる。

「水道」は、いずれの地区でも1近くと、評価が高くなっている。一方、「公共交通」は、最下点の元狭山地区のみならず、他の地区でも評価は低くなっている。

「土地利用」「土地区画整理」とも、元狭山地区の評価が最も低くなっている。

居住地区別に見た満足度(評価点)

分野	全体	居住地区別					
		殿ヶ谷	石畑	箱根ヶ崎	長岡	元狭山	武蔵野
(1)住宅	0.24	0.50	0.33	0.23	0.26	0.00	0.32
(2)公園・緑地	0.07	-0.06	-0.14	0.09	0.31	-0.09	0.22
(4)ごみ・し尿	0.13	0.22	0.07	0.15	0.15	0.05	0.17
(6)環境保全	-0.21	0.04	-0.09	-0.21	-0.23	-0.40	-0.18
(7)環境美化	-0.04	0.10	0.04	-0.04	-0.04	-0.14	-0.06
(8)景観	-0.03	0.10	0.09	-0.07	0.10	-0.13	-0.10
(9)水道	0.87	1.03	0.92	0.84	0.84	0.94	0.75
(10)下水道	0.21	0.69	0.37	0.24	0.04	-0.22	0.45
(11)基地対策	-0.49	-0.31	-0.42	0.00	-0.36	-0.38	-0.66
(12)土地利用	-0.25	-0.17	-0.25	-0.25	-0.16	-0.44	-0.13
(13)土地区画整理	0.17	-0.07	-0.17	-0.19	-0.01	-0.28	-0.14
(14)道路	-0.12	-0.16	-0.17	-0.10	0.07	-0.38	0.00
(15)河川	0.19	0.28	0.33	0.21	0.20	0.01	0.19
(16)公共交通	-0.87	-0.70	-0.87	-0.91	-0.60	-1.32	-0.64
(17)防災	0.18	0.25	0.22	0.14	0.37	0.10	0.12

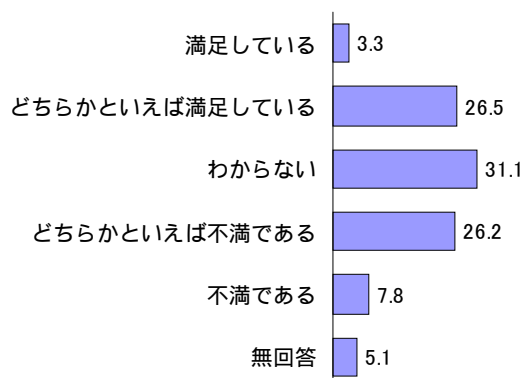
*網がけは評価点の最も高い地区、太枠は評価点の最も低い地区。

(4) 町政全体の満足感

問6 - 1 あなたは現在、町政にどの程度満足していますか。あなたのお気持ちに最も近いものを1つ選び、その番号を で囲んでください。

町政全体の満足感

n=1403



全体結果

町政全体の満足感については、「わからない」31.1%、「どちらかといえば満足している」26.5%、「どちらかといえば不満である」26.2%に回答が分散している。「満足している」と「どちらかといえば満足している」を合わせたものを“満足”、「どちらかといえば不満である」と「不満である」を合わせたものを“不満”とすると、“不満”34.0%が“満足”29.8%を若干上回っている。

属性別

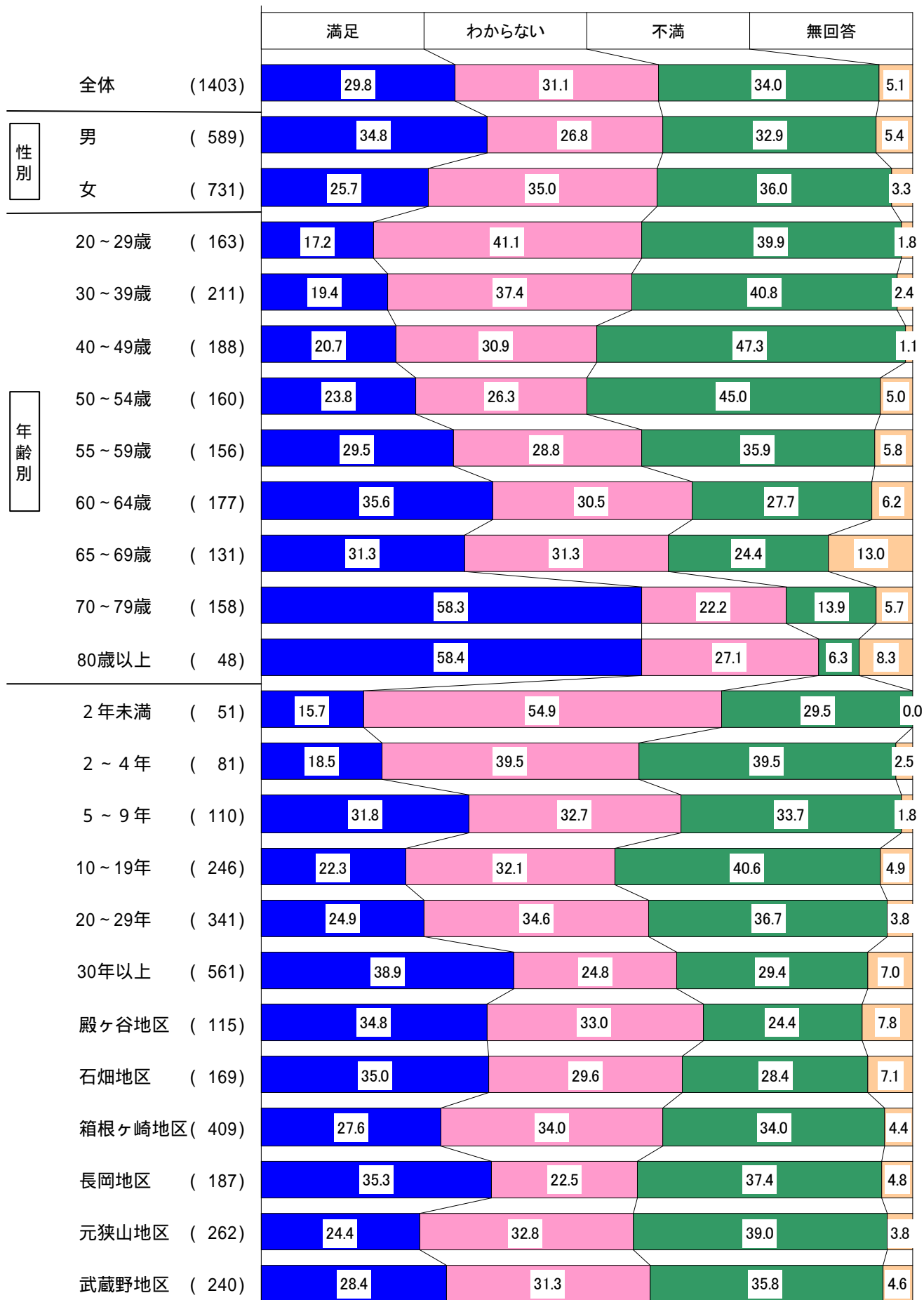
「満足」「わからない」「不満」の3段階で属性別に見てみる。

年齢別では、50歳代前半以下の世代では「不満」が概ね40%台と多くなっている。一方、70歳代以上では「満足」が60%近くを占めている。

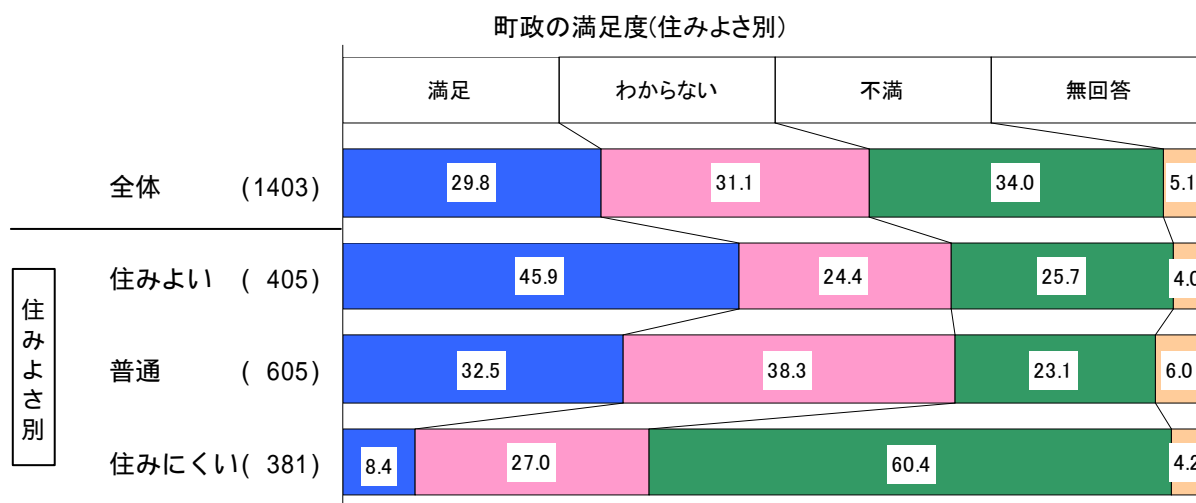
居住年数別では、2～4年、10～19年、20～29年で「不満」が概ね35～40%とやや多くなっている。

居住地区別では、殿ヶ谷、石畑、長岡地区で「満足」が約35%と比較的多く、長岡、元狭山、武蔵野地区で「不満」が35～40%とやや多くなっている。

町政の満足度(性・年齢・居住年数・居住地区別)

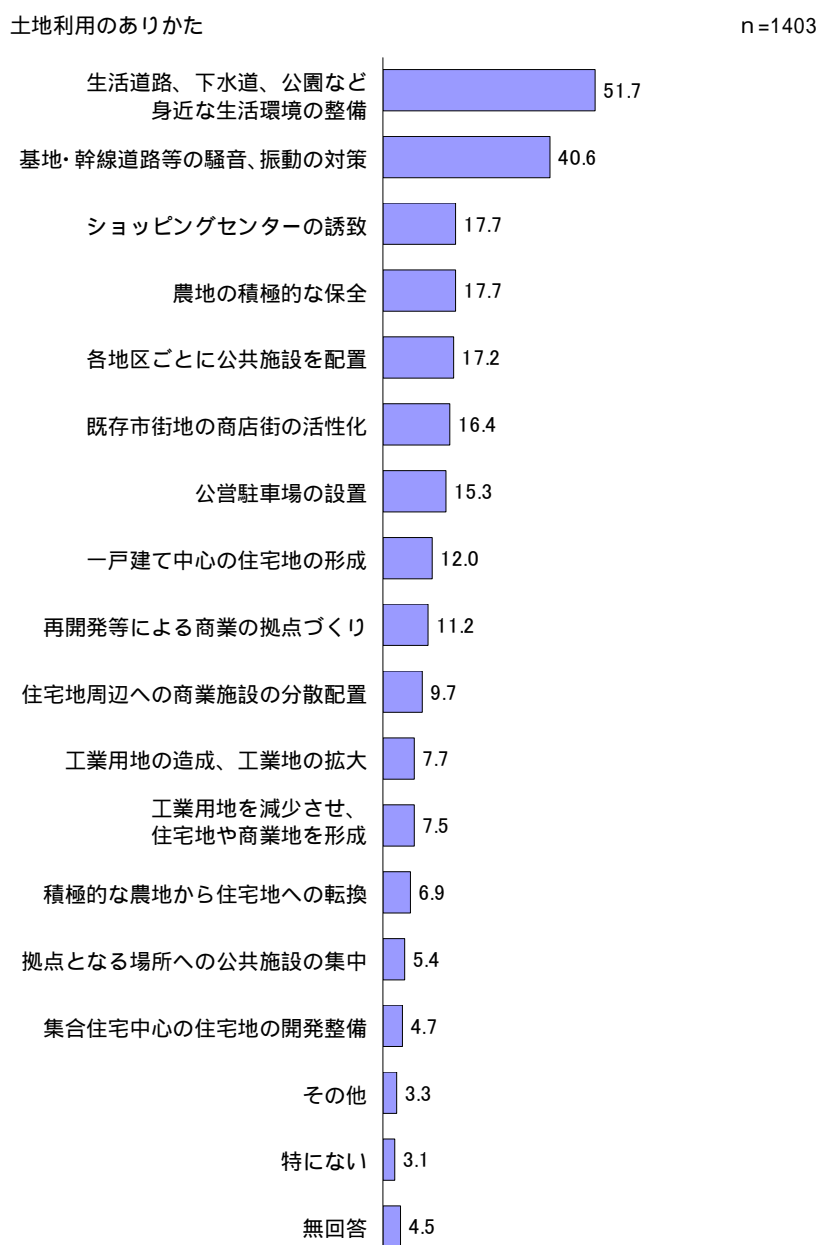


問1の住みよさ感による違いを見てみると、住みよいと感じている人の45.9%は町政について「満足」としているが、住みにくいと感じている人は「不満」が60.4%を占める結果となっている。



(5) 土地利用のあり方

問7 住宅地、商業地、工業地、公共施設、農地などのありかたについて、重要と思われるものを3つ以内で選び、その番号を で囲んでください。



全体結果

住宅地、商業地、工業地、公共施設、農地などのあり方について重要と思われるものをたずねたところ、「生活道路、下水道、公園などの身近な生活環境を整備する」が51.7%、「基地や幹線道路などの騒音、振動などの対策を講じる」40.6%が特に多く、生活環境の向上が多く求められている。

属性別

居住年数別では、2年未満では「生活道路、下水道、公園などの身近な生活環境を整備す

る」、「基地や幹線道路などの騒音、振動などの対策を講じる」が半数以上と多いとともに、「幹線道路沿いにショッピングセンターを誘致する」も29.4%と多くなっている。

居住地区別では、石畑、元狭山地区で「生活道路、下水道、公園などの身近な生活環境を整備する」が60%近くと多く、箱根ヶ崎、武蔵野地区では、50%前後が「基地や幹線道路などの騒音、振動などの対策を講じる」をあげている。このほか、元狭山、武蔵野、長岡地区で「各地区ごとに公共施設を配置する」、箱根ヶ崎地区で「既存市街地の商店街の活性化を図る」、殿ヶ谷地区で「公営駐車場をつくり買物がしやすいようにする」がいずれも20~25%とやや多くなっている。

土地利用のあり方(居住年数・居住地区別)

単位：%

区 分	回答者数	環境の整備	生活道路、下水道、公園などの身近な生活	騒音・振動の対策等の	基地・幹線道路の誘致	ショッピングセンター	農地の積極的な保全	各地区ごとに公共施設を配置	既存市街地の商店街の活性化	公営駐車場の設置	一戸建て中心の住宅の形成	再開発等による商業	住宅地の周辺への商業施設への配置
全体	1403	51.7	40.6	17.7	17.7	17.2	16.4	15.3	12.0	11.2	9.7		
居住年数別	2年未満	51	54.9	52.9	29.4	15.7	19.6	3.9	9.8	9.8	15.7	11.8	
	2~4年	81	50.6	33.3	16.0	18.5	19.8	18.5	14.8	22.2	4.9	18.5	
	5~9年	110	51.8	38.2	17.3	13.6	21.8	18.2	10.0	11.8	10.9	8.2	
	10~19年	246	48.0	42.7	23.6	20.3	17.5	12.6	11.0	12.2	13.4	11.0	
	20~29年	341	55.7	45.5	18.2	17.6	15.2	16.1	15.5	11.4	14.1	10.0	
	30年以上	561	50.6	37.6	14.6	17.8	16.9	18.7	18.2	11.1	9.1	7.8	
居住地区別	殿ヶ谷地区	115	51.3	33.9	13.9	18.3	15.7	16.5	23.5	13.0	7.8	8.7	
	石畑地区	169	58.6	37.3	18.3	18.9	10.7	18.3	18.3	14.2	10.1	7.1	
	箱根ヶ崎地区	409	49.9	46.2	20.0	17.6	12.5	23.0	13.2	10.8	11.5	10.5	
	長岡地区	187	51.9	40.1	16.6	17.1	21.9	12.8	10.7	16.6	10.2	10.2	
	元狭山地区	262	57.6	28.6	17.2	14.5	22.5	10.3	15.3	9.9	11.5	9.2	
	武蔵野地区	240	44.6	51.3	16.3	20.0	22.1	13.3	17.9	11.7	13.8	10.4	

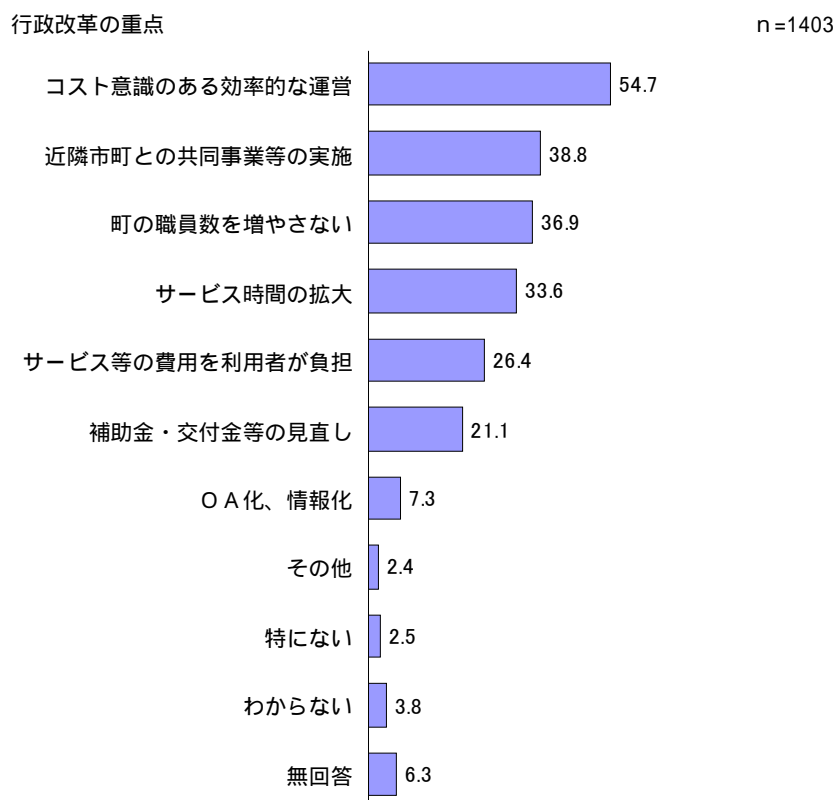
区 分	回答者数	工業用地の造成、工業地の拡大	工業用地を減少させ、住宅地や商業地を形成	宅積地への転換	公共施設となる場所への拠点整備	集合住宅中心の住宅地の開発整備	その他	特にない	無回答	
全体	1403	7.7	7.5	6.9	5.4	4.7	3.3	3.1	4.5	
居住年数別	2年未満	51	2.0	9.8	11.8	5.9	7.8	7.8	2.0	0.0
	2~4年	81	6.2	11.1	0.0	1.2	1.2	3.7	3.7	1.2
	5~9年	110	3.6	10.0	6.4	7.3	9.1	8.2	4.5	3.6
	10~19年	246	4.5	10.2	8.9	4.9	6.5	2.8	1.6	4.5
	20~29年	341	8.2	7.9	4.4	7.3	5.3	2.1	2.1	2.3
	30年以上	561	10.5	5.0	8.0	4.8	3.0	3.0	4.1	6.4
居住地区別	殿ヶ谷地区	115	2.6	7.0	4.3	8.7	2.6	0.0	5.2	4.3
	石畑地区	169	10.7	6.5	4.1	4.1	5.3	2.4	1.2	3.6
	箱根ヶ崎地区	409	8.3	7.1	6.1	2.9	4.9	2.4	3.9	4.2
	長岡地区	187	5.9	10.2	12.3	5.9	3.2	6.4	3.2	4.3
	元狭山地区	262	10.7	10.3	10.3	9.2	6.1	3.8	2.3	5.0
	武蔵野地区	240	5.8	4.6	3.3	5.0	5.0	3.8	2.5	4.2

*網がけは全体結果より5ポイント以上多いもの

3 行政と町民の役割などについて

(1) 行政改革の重点

問8 町では第2次行政改革大綱に沿って行政改革を進めています。あなたは特に何が重要であると考えますか。次の中から3つ以内で選び、その番号を で囲んでください。



全体結果

行政改革で特に重要なことは、「町の職員は、民間企業同様のコスト意識をもって事務事業を実施し、効率的な運営に努めるべきである」が54.7%で最も多く、次いで「近隣の市や町と連携して共同で事業を実施したり、スポーツ施設や文化施設の共同利用をもっと進めるべきである」「町役場、その他町の施設の職員数はなるべく増やさないようにし、事務の委託や臨時職員の採用など、工夫して事務事業を行うべきである」「夜間や休日窓口等、サービス時間の拡大を図るべきである」がいずれも35%前後となっている。

属性別

年齢別では、40～49歳、55～59歳で「町の職員は、民間企業同様のコスト意識をもって事務事業を実施し、効率的な運営に努めるべきである」が60%台と多く、40歳代以下では「近隣の市や町と連携して共同で事業を実施したり、スポーツ施設や文化施設の共同利用をもっと進めるべきである」、55～59歳、60歳代では「町役場、その他町の施設の職員数はなるべく

増やさないようにし、事務の委託や臨時職員の採用など、工夫して事務事業を行うべきである」が比較的多くなっている。20～29歳、40～49歳では「夜間や休日窓口等、サービス時間の拡大を図るべきである」も40～50%台と多く見られる。「町の施設を利用したり、サービスを受ける場合、利用者がある程度の費用を負担するのは当然である」という受益者負担については、55歳～70歳代で30～40%と多くなっている。

居住年数別にみると、「近隣の市や町と連携して共同で事業を実施したり、スポーツ施設や文化施設の共同利用をもっと進めるべきである」は2～4年、20～29年と、年数の短い層、長い層両方で多くなっている。2年未満、2～4年では「夜間や休日窓口等、サービス時間の拡大を図るべきである」が50%近くと多くなっている。

居住地区別では、長岡地区で「近隣の市や町と連携して共同で事業を実施したり、スポーツ施設や文化施設の共同利用をもっと進めるべきである」が46.0%と他地区に比べ多く見られる。

行政改革の重点(性・年齢・居住年数・居住地区別)

単位：%

区分	回答者数	運営コスト意識のある効率的な	近隣市町との共同事業等の実施	町の職員数を増やさない	サービスの時間の拡大	サービス等の費用を利用者が負担	補助金・交付金等の見直し	OA化、情報化	その他	特にない	わからない	無回答
全体	1403	54.7	38.8	36.9	33.6	26.4	21.1	7.3	2.4	2.5	3.8	6.3
性別												
男	589	58.2	37.9	38.5	34.0	30.1	23.8	9.3	3.4	1.9	1.9	6.6
女	731	52.8	41.7	35.6	34.5	23.4	19.6	5.9	1.8	2.7	4.7	5.3
年齢別												
20～29歳	163	51.5	52.8	27.0	56.4	13.5	16.0	11.0	1.2	1.2	2.5	1.2
30～39歳	211	51.2	46.9	35.1	35.5	14.7	16.1	9.5	3.8	2.8	2.8	3.3
40～49歳	188	61.7	44.7	34.0	43.1	22.3	20.7	9.6	1.6	2.1	1.6	4.8
50～54歳	160	58.8	41.3	38.1	38.1	26.3	25.6	7.5	2.5	1.3	5.6	4.4
55～59歳	156	67.3	32.1	42.3	29.5	32.7	30.1	5.8	2.6	1.3	2.6	4.5
60～64歳	177	56.5	40.1	45.2	22.0	32.2	20.3	4.0	3.4	4.5	1.1	7.3
65～69歳	131	55.7	27.5	42.7	25.2	35.1	22.9	6.9	3.1	3.1	5.3	4.6
70～79歳	158	43.0	27.2	38.0	20.9	41.8	22.2	4.4	1.3	3.2	6.3	14.6
80歳以上	48	29.2	12.5	16.7	16.7	20.8	12.5	2.1	0.0	4.2	16.7	25.0
居住年数別												
2年未満	51	56.9	35.3	35.3	47.1	11.8	13.7	7.8	3.9	0.0	0.0	5.9
2～4年	81	44.4	48.1	17.3	49.4	16.0	12.3	9.9	0.0	3.7	6.2	4.9
5～9年	110	56.4	37.3	38.2	38.2	17.3	20.0	6.4	1.8	5.5	2.7	7.3
10～19年	246	60.6	43.1	36.2	36.2	29.3	19.5	8.9	1.6	1.6	3.7	4.1
20～29年	341	50.4	44.6	34.0	37.0	26.4	21.7	7.0	3.2	2.6	3.2	4.7
30年以上	561	55.8	33.0	41.9	25.5	29.8	23.9	6.6	2.5	2.3	4.6	8.0
居住地区別												
殿ヶ谷地区	115	50.4	33.0	33.9	29.6	33.9	28.7	5.2	1.7	2.6	5.2	7.0
石畑地区	169	55.6	38.5	38.5	33.1	27.2	16.0	8.9	3.0	2.4	5.9	6.5
箱根ヶ崎地区	409	57.2	37.4	39.6	31.1	22.2	23.7	6.4	1.7	2.4	4.4	6.8
長岡地区	187	56.1	46.0	30.5	32.6	27.3	22.5	7.0	5.3	1.6	3.2	5.9
元狭山地区	262	51.9	35.9	38.2	38.5	28.6	20.2	9.2	1.5	3.1	3.1	5.3
武蔵野地区	240	54.6	42.5	35.8	36.3	25.0	17.1	7.1	2.1	2.5	2.5	6.3

* 網がけは全体結果より5ポイント以上多いもの 55

問6の「(44)効率的かつ効果的な行財政の運営」に対する満足度、重要度別に見ると、満足度の高い人は、「町の施設を利用したり、サービスを受ける場合、利用者がある程度の費用を負担するのは当然である」や「町が新しい事業や施策に取り組んでいくためには、現在の事務事業の見直しや補助金・交付金などの見直しもやむをえない」が比較的多く、住民自身の負担増や役割分担も必要という意識が比較的強くなっている。

一方、不満な人では、「町の職員は、民間企業同様のコスト意識をもって事務事業を実施し、効率的な運営に努めるべきである」や「町役場、その他町の施設の職員数はなるべく増やさないようにし、事務の委託や臨時職員の採用など、工夫して事務事業を行うべきである」といった、行財政運営の一層の効率化を求める声が強くなっている。

行政運営を重要と考えている人、重要でないと考えている人ともに、「町の職員は、民間企業同様のコスト意識をもって事務事業を実施し、効率的な運営に努めるべきである」という効率的な行財政運営については60～65%と差がなく多くなっている。

行政改革の重点(「行財政運営」の満足度・重要度別)

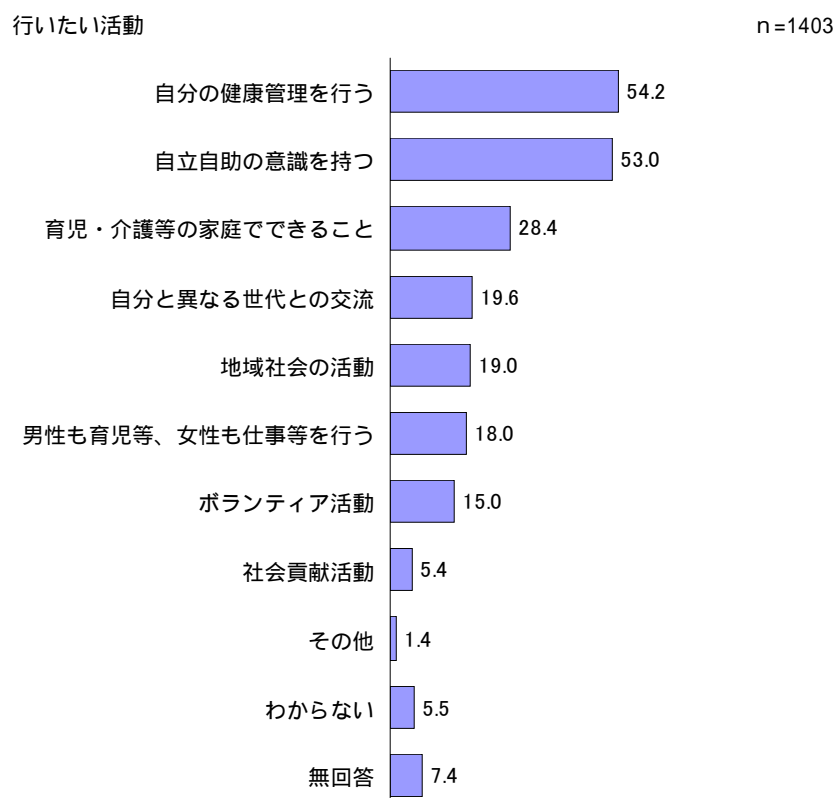
単位：%

区分	回答者数	運営コスト意識のある効率的な	近隣市町との共同事業等の	町の職員数を増やさない	サービス時間の拡大	サービス等の費用を利用者が負担	補助金・交付金等の見直し	OA化、情報化	その他	特にない	わからない	無回答	
全体	1403	54.7	38.8	36.9	33.6	26.4	21.1	7.3	2.4	2.5	3.8	6.3	
満足度	満足	109	47.7	41.3	33.0	29.4	41.3	29.4	8.3	1.8	4.6	0.9	9.2
	どちらともいえない	822	56.1	41.4	37.0	35.0	25.2	21.0	7.5	1.8	2.3	3.5	4.3
	不満	267	68.5	43.1	47.2	35.6	22.8	22.8	10.1	6.0	0.0	0.0	4.1
重要度	重要	675	64.4	41.6	41.2	33.2	29.8	24.9	8.9	3.6	1.0	1.2	4.9
	どちらともいえない	475	50.3	42.9	35.2	37.7	21.5	19.2	7.2	1.5	3.2	4.2	3.2
	重要でない	16	62.5	50.0	50.0	31.3	18.8	31.3	0.0	6.3	0.0	0.0	6.3

*網がけは全体結果より5ポイント以上多いもの

(2) 行いたい活動

問9 . 地域づくりの主役は町民一人ひとりであり、よりよいまちを創るためには、町民の方々の主体的な活動が期待されています。これからの社会において、あなた自身はどのような活動を行いたいと考えますか。次の中から重要と思われるものを3つ以内で選び、その番号を で囲んでください。



全体結果

これからの社会において、自分自身が行いたい活動をたずねた。「食生活や生活リズム、運動などに配慮し、自分の健康管理を行う」「自分のできることは自分で行うという自立自助の意識を持つ」がともに50～55%で特に多くなっている。やや離れて「育児や教育、介護など、家庭でできることをしっかりと行う」28.4%となっている。

属性別

年齢別では、50歳代～70歳代で「食生活や生活リズム、運動などに配慮し、自分の健康管理を行う」「自分のできることは自分で行うという自立自助の意識を持つ」が概ね60%台と多い。40歳代以下では「育児や教育、介護など、家庭でできることをしっかりと行う」、30歳代以下では「自分と異なる世代(幼児・子ども・お年寄りなど)と積極的に交流する」「男性も育児や介護などに協力し、女性も仕事などを積極的に行う」が比較的多くなっている。

行いたい活動(性・年齢別)

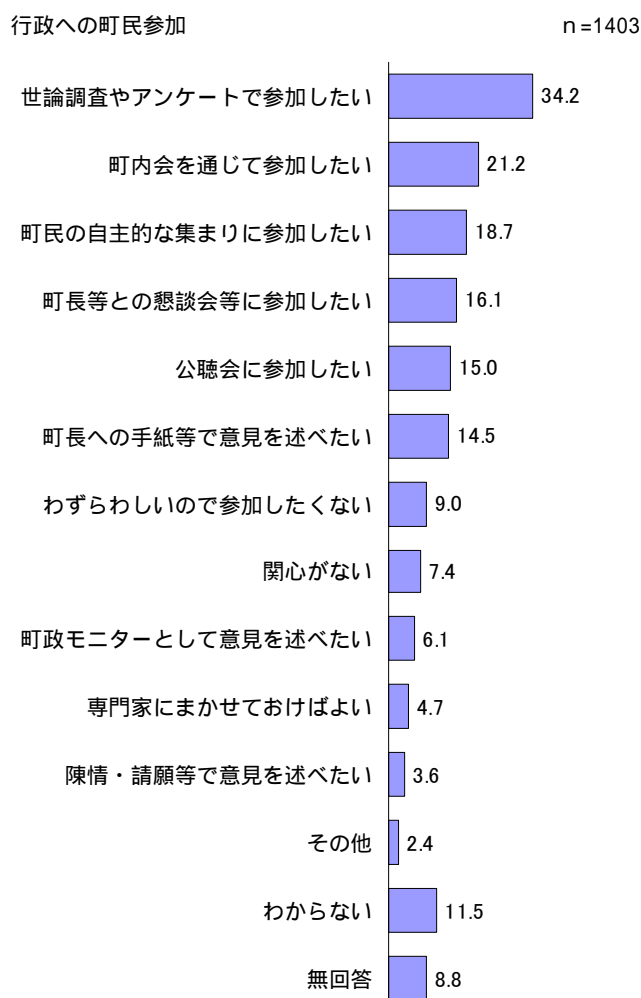
単位：%

区分		回答者数	自分の健康管理を行う	自立自助の意識を持つ	育児・介護等の家庭でできること	自分と異なる世代との交流	地域社会の活動	男性も育児等、女性も仕事等を行う	ボランティア活動	社会貢献活動	その他	わからない	無回答
全体		1403	54.2	53.0	28.4	19.6	19.0	18.0	15.0	5.4	1.4	5.5	7.4
性別	男	589	54.8	56.0	23.6	18.3	22.6	17.3	15.8	7.1	1.5	4.6	7.8
	女	731	53.9	50.6	32.7	21.5	16.8	19.8	14.9	4.5	1.2	5.5	6.4
年齢別	20～29歳	163	40.5	41.7	36.8	28.8	12.9	37.4	14.7	8.6	0.6	5.5	1.8
	30～39歳	211	41.2	37.4	37.0	24.6	18.5	28.9	10.9	3.8	1.9	7.1	4.3
	40～49歳	188	54.3	45.7	39.9	15.4	19.1	20.2	12.2	5.3	2.1	3.7	6.4
	50～54歳	160	60.0	54.4	27.5	20.0	16.9	14.4	18.8	9.4	0.0	5.0	6.9
	55～59歳	156	62.8	64.1	23.7	13.5	22.4	16.7	19.9	3.8	0.6	2.6	6.4
	60～64歳	177	64.4	63.3	21.5	17.5	21.5	10.2	22.6	6.8	1.7	2.8	7.3
	65～69歳	131	61.1	63.4	19.8	17.6	23.7	9.2	13.0	3.8	0.8	9.2	6.1
	70～79歳	158	59.5	63.9	20.9	20.3	22.8	7.0	11.4	3.2	2.5	4.4	15.2
80歳以上	48	39.6	50.0	10.4	8.3	4.2	2.1	6.3	2.1	0.0	20.8	25.0	

* 網がけは全体結果より5ポイント以上多いもの

(3) 行政への町民参加

問10 行政への町民参加についてどのようにお考えですか。次の中から重要と思われるものを3つ以内で選び、その番号を で囲んでください。



全体結果

行政への町民参加についてどのように考えるかたずねたところ、「世論調査やアンケートで参加したい」34.2%が最も多く、次いで「町内会(自治会)を通じて参加したい」21.2%、「町民の自主的な集まり(まちづくりのグループ等)があれば参加したい」18.7%などとなっている。

属性別

年齢別では、40～49歳で「世論調査やアンケートで参加したい」が40%強と多く、60歳代前後では「町内会(自治会)を通じて参加したい」「町民の自主的な集まり(まちづくりのグループ等)があれば参加したい」といった、地域の人たちとのつながりが多くなっている。30～39歳では「町長への手紙やホームページへの書き込みで、提案・意見を述べたい」が23.7%

で2位にあげられている。「関心がない」は、20～29歳で13.5%となっている。

職業別では、農業者は「町内会(自治会)を通じて参加したい」「町民の自主的な集まり(まちづくりのグループ等)があれば参加したい」「町長や議員との懇談会や対話集会があれば参加したい」「公聴会があれば参加したい」といった、直接顔をあわせた中で方法が多くあげられている。会社員・公務員・団体職員、学生では、「世論調査やアンケートで参加したい」が40%台と多くっており、農業者と対照的である。

居住年数別では、10年未満は「町長への手紙やホームページへの書き込みで、提案・意見を述べたい」が25%前後と多く、インターネットや手紙による方法が多くあげられている。

行政への町民参加(性・年齢・職業・居住年数別)

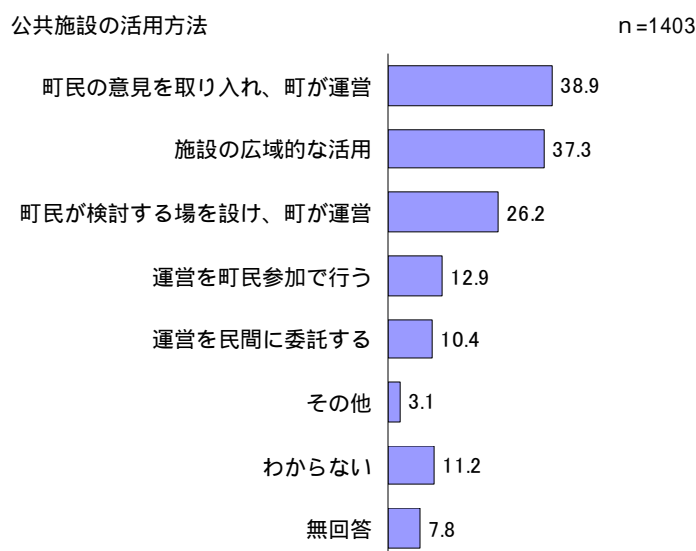
単位：%

区分	回答者数	世論調査やアンケート	町内会を通じて参加したい	町民の自主的な集まり	町長等との懇談会等	公聴会に参加したい	町長への手紙等で意見を述べたい	加わらないうので参	関心がない	町政モニターとして意見を述べたい	専門家にかかせてお	陳情・請願等で意見を述べたい	その他	わからない	無回答
全体	1403	34.2	21.2	18.7	16.1	15.0	14.5	9.0	7.4	6.1	4.7	3.6	2.4	11.5	8.8
性別															
男	589	34.3	22.8	21.6	20.9	18.2	16.8	8.3	6.6	6.8	5.4	5.1	3.4	8.8	8.8
女	731	35.3	20.1	16.6	11.9	12.9	13.3	8.5	8.1	6.0	3.7	2.6	1.6	13.5	8.6
年齢別															
20～29歳	163	38.7	11.7	15.3	9.8	8.6	17.2	10.4	13.5	6.7	1.8	3.1	0.0	15.3	2.5
30～39歳	211	36.0	13.3	9.5	10.9	8.5	23.7	7.1	8.5	8.5	3.3	2.8	2.4	14.7	5.2
40～49歳	188	41.5	19.7	13.8	13.3	20.7	19.1	7.4	6.9	7.4	4.3	6.9	3.2	8.0	6.9
50～54歳	160	38.8	25.6	23.8	17.5	12.5	15.6	9.4	5.6	6.3	3.1	3.1	3.1	10.0	6.9
55～59歳	156	35.3	26.9	23.7	19.2	24.4	12.2	9.0	5.1	3.8	2.6	3.8	3.2	7.7	7.1
60～64歳	177	32.8	27.1	23.7	16.4	18.6	14.7	7.3	5.1	5.1	5.6	4.0	2.3	10.7	10.7
65～69歳	131	29.8	23.7	28.2	26.0	16.0	4.6	6.9	7.6	9.2	6.9	2.3	2.3	13.0	9.9
70～79歳	158	25.3	26.6	19.6	20.9	15.8	6.3	15.8	7.6	2.5	10.1	3.2	1.9	8.9	16.5
80歳以上	48	12.5	14.6	8.3	8.3	4.2	6.3	8.3	6.3	2.1	8.3	0.0	2.1	25.0	29.2
職業別															
農業	42	16.7	35.7	26.2	28.6	21.4	4.8	11.9	11.9	0.0	4.8	2.4	2.4	7.1	19.0
工業(自営)	60	30.0	30.0	18.3	13.3	11.7	11.7	6.7	6.7	1.7	3.3	10.0	6.7	15.0	10.0
商業・サービス業(自営)	65	27.7	20.0	20.0	18.5	7.7	10.8	9.2	1.5	4.6	9.2	6.2	6.2	13.8	7.7
会社・団体役員	38	26.3	23.7	23.7	13.2	15.8	26.3	13.2	2.6	0.0	2.6	5.3	7.9	13.2	7.9
会社員・公務員・団体職員	363	42.1	18.7	17.4	17.9	18.2	20.4	7.7	9.4	8.8	1.9	4.1	2.5	7.2	4.4
自由業	25	36.0	8.0	32.0	28.0	24.0	12.0	20.0	4.0	12.0	8.0	4.0	0.0	12.0	4.0
学生	25	44.0	8.0	20.0	16.0	8.0	28.0	8.0	8.0	8.0	0.0	0.0	0.0	12.0	4.0
派遣社員・アルバイト・パート	229	32.8	19.7	16.6	9.6	11.8	14.0	10.0	7.0	6.6	2.6	3.1	0.4	16.6	6.1
専業主婦・主夫	261	37.5	24.9	17.6	13.8	10.7	14.6	6.5	7.7	3.8	3.8	3.4	1.1	12.3	10.0
無職	237	29.1	22.8	21.5	18.1	19.0	8.4	10.1	5.9	5.1	9.3	2.5	2.5	11.0	14.8
その他	43	27.9	11.6	11.6	23.3	20.9	4.7	11.6	9.3	16.3	16.3	0.0	0.0	9.3	14.0
居住年数別															
2年未満	51	43.1	5.9	19.6	11.8	11.8	25.5	7.8	7.8	9.8	2.0	7.8	0.0	13.7	5.9
2～4年	81	38.3	13.6	11.1	4.9	11.1	21.0	3.7	6.2	7.4	2.5	0.0	1.2	14.8	6.2
5～9年	110	35.5	18.2	19.1	11.8	11.8	25.5	4.5	7.3	8.2	0.9	2.7	3.6	12.7	10.9
10～19年	246	39.8	20.3	19.9	15.4	14.2	15.9	8.5	5.7	6.5	2.4	4.9	2.0	12.2	5.7
20～29年	341	34.9	20.8	19.6	15.2	15.5	14.4	10.0	7.3	5.0	3.8	2.1	1.5	11.4	7.9
30年以上	561	29.9	25.1	18.9	20.0	16.8	10.0	10.3	8.0	5.9	7.7	4.5	3.0	10.3	10.7

* 網がけは全体結果より5ポイント以上多いもの

(4) 公共施設の活用方法

問11 瑞穂町には、町民会館や地区会館、スカイホール、図書館、中央体育館、町営グラウンドなど、町民が利用するさまざまな公共施設があります。これらの施設をより効果的かつ効率的に活用するにあたり、重視すべき点は何ですか。次の中から重要と思われるものを2つ以内で選び、その番号を で囲んでください。



全体結果

公共施設をより効果的かつ効率的に活用するにあたり重視すべき点をたずねた。「施設の利用方法について町民の意見を取り入れ、町が運営にあたる」と「施設を町外の方にも利用しやすいようにして広域的に活用する」がともに40%弱で多くなっている。次いで、「施設の利用方法について町民が検討する場を設け、その結果を尊重し町が運営にあたる」26.2%となっている。町民の参加による運営、民間への委託は10%強と少ない結果となっている。

属性別

年齢別では、65～69歳で「施設の利用方法について町民の意見を取り入れ、町が運営にあたる」が46.6%と多い。「施設の運営を町民参加で行う」は60～64歳、70～79歳、「施設の運営を民間に委託する」は55～59歳にやや多く見られる。20～29歳では、「施設を町外の方にも利用しやすいようにして広域的に活用する」42.3%を最も多くあげている。

居住年数別では、2年未満の半数強が「施設を町外の方にも利用しやすいようにして広域的に活用する」をあげており、この裏返しの意味で、町外の施設も利用したいという意向もあるものと推察される。

公共施設の活用方法(性・年齢・居住年数・居住地区別)

単位：%

区分	回答者数	町民の意見を取り入れ、町が運営	施設の広域的な活用	町民が検討する場を設け、町が運営	運営を町民参加で行う	運営を民間に委託する	その他	わからない	無回答	
全体	1403	38.9	37.3	26.2	12.9	10.4	3.1	11.2	7.8	
性別	男	589	35.8	39.2	26.3	14.8	15.3	3.9	9.0	7.1
	女	731	41.0	37.2	26.8	11.8	6.3	2.7	12.2	7.5
年齢別	20～29歳	163	36.8	42.3	28.8	7.4	10.4	1.8	12.9	3.7
	30～39歳	211	37.0	41.2	23.2	5.7	10.4	5.2	13.7	3.3
	40～49歳	188	42.0	37.8	25.0	9.6	13.3	3.7	6.4	7.4
	50～54歳	160	40.0	41.9	26.3	11.9	8.1	3.8	9.4	7.5
	55～59歳	156	35.9	39.1	25.0	16.0	16.0	1.9	7.7	9.6
	60～64歳	177	35.6	37.3	26.6	20.3	10.7	3.4	13.6	7.3
	65～69歳	131	46.6	28.2	29.0	14.5	9.2	1.5	13.0	9.9
	70～79歳	158	41.8	32.3	29.7	22.8	6.3	1.9	7.6	12.7
80歳以上	48	35.4	22.9	14.6	8.3	4.2	0.0	25.0	20.8	
居住年数別	2年未満	51	35.3	51.0	27.5	2.0	11.8	5.9	13.7	2.0
	2～4年	81	39.5	30.9	17.3	6.2	7.4	2.5	19.8	6.2
	5～9年	110	33.6	36.4	28.2	9.1	2.7	5.5	13.6	12.7
	10～19年	246	37.0	35.4	25.2	14.2	9.8	4.5	11.4	6.5
	20～29年	341	40.5	41.1	23.5	13.8	12.3	1.8	8.5	7.9
	30年以上	561	40.5	35.3	29.1	14.8	11.6	2.7	10.3	8.2
居住地区別	殿ヶ谷地区	115	40.9	35.7	31.3	11.3	5.2	2.6	8.7	7.0
	石畑地区	169	34.9	39.1	26.6	16.6	13.0	1.8	10.1	5.9
	箱根ヶ崎地区	409	41.1	36.9	24.7	12.7	11.5	4.2	12.2	7.6
	長岡地区	187	39.6	36.4	25.1	10.2	11.2	4.3	10.7	9.1
	元狭山地区	262	37.0	35.9	26.7	14.9	9.5	2.7	12.2	7.3
	武蔵野地区	240	38.3	41.3	25.8	12.1	9.2	2.1	10.8	8.8

* 網がけは全体結果より5ポイント以上多いもの

第3章 前回調査結果との比較

本章では、瑞穂町長期総合計画策定のために、平成11年9月に実施したアンケート調査結果と比較分析を行い、前期基本計画策定後の町民の意識やニーズの変化、前期基本計画の取組に対する評価等についてまとめる。

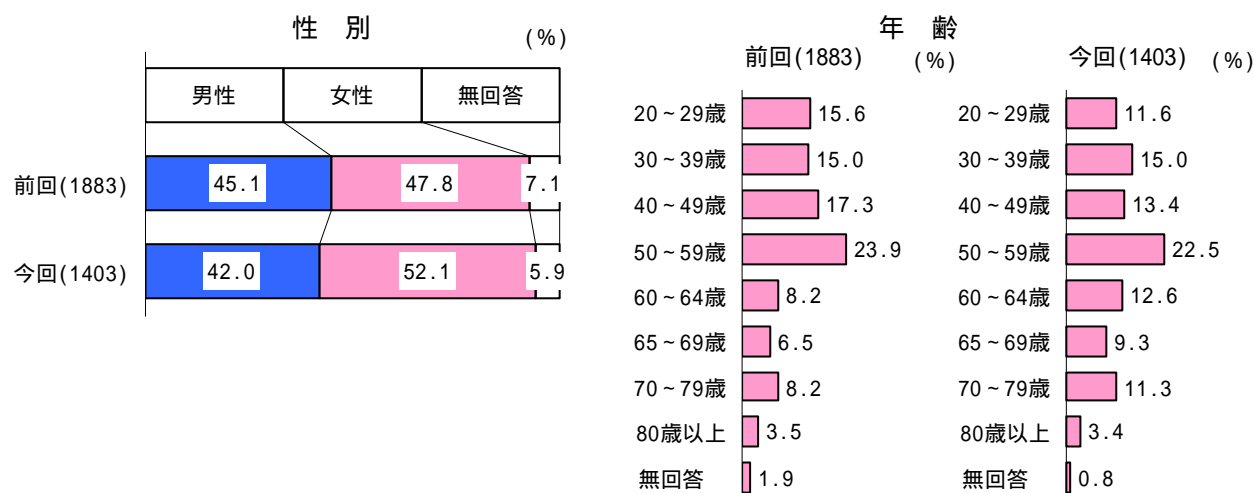
なお、以下の分析中、平成11年9月に実施した調査結果を「前回」、今回の調査結果を「今回」と表記している。

1 回答者の属性について

(1) 性・年齢

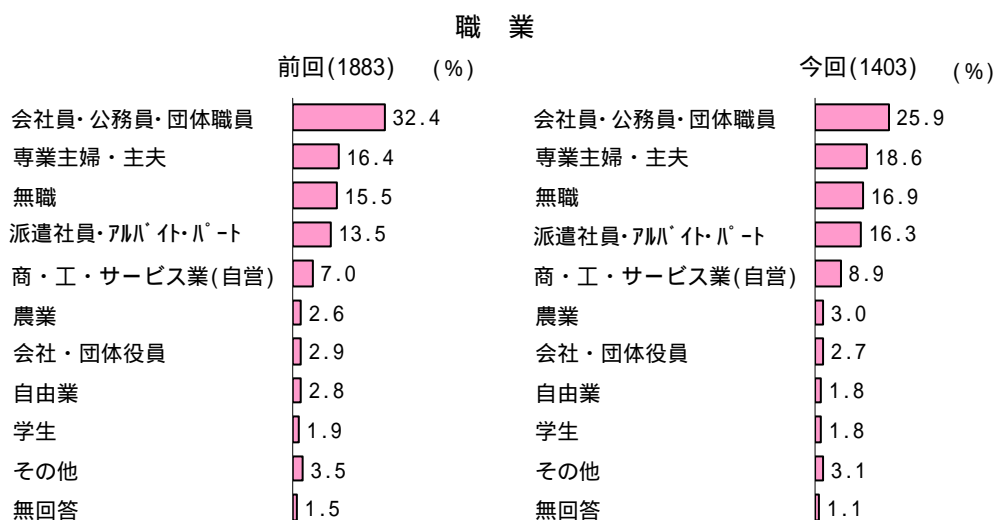
前は、女性と男性がほぼ同数であったのに対し、今回は女性が52.1%と過半数を占め、男性より約10ポイント多くなっている。

年齢は、前回、今回とも「50～59歳」が20～25%で最も多いことに変わりはないが、今回は前回に比べ60～70歳代が多く、40歳代以下が少ない傾向となっている。

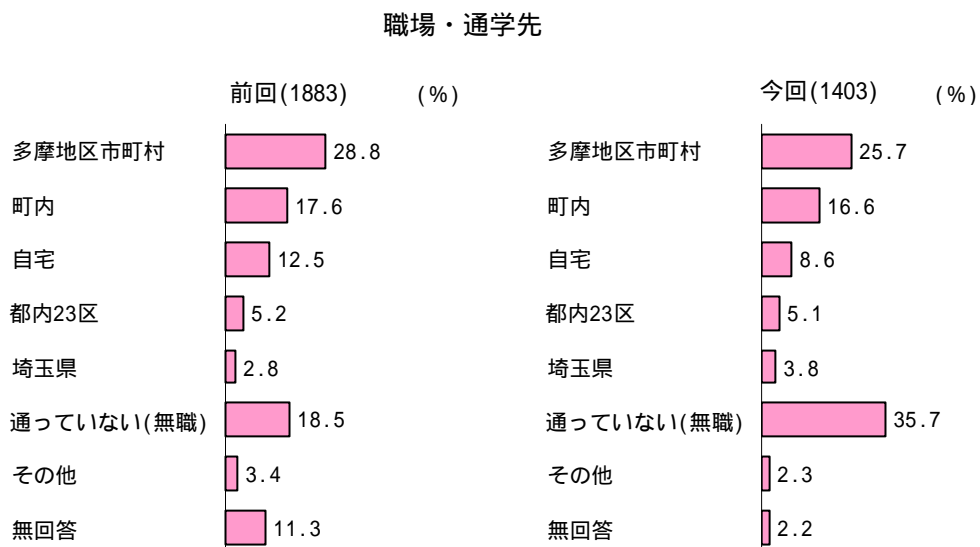


(2) 仕事

職業は、「会社員・公務員・団体職員」が前回の32.4%から今回25.9%へと低下し、代わって「商・工・サービス業(自営)」、「派遣社員・アルバイト・パート」、「専業主婦・主夫」、「無職」などが上昇している。これは今回、女性や、比較的高齢層が多いためと考えられる。

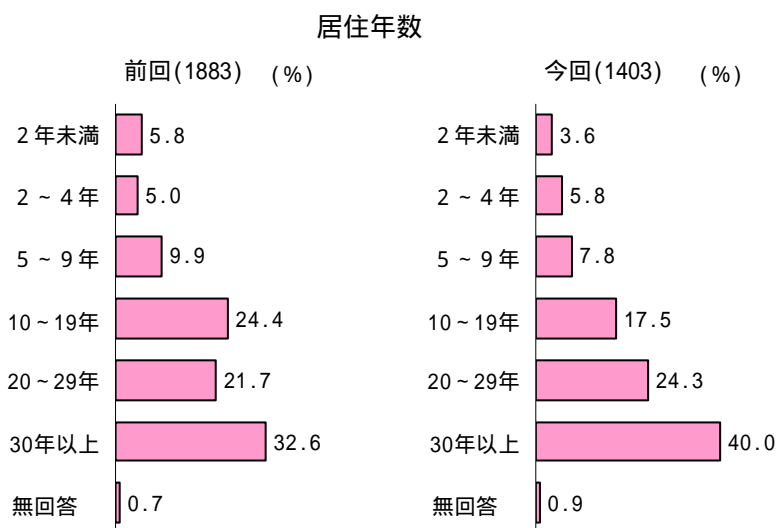


このため、職場・通学先については、「通っていない(無職)」が、前回の18.5%から今回35.7%と上昇している。

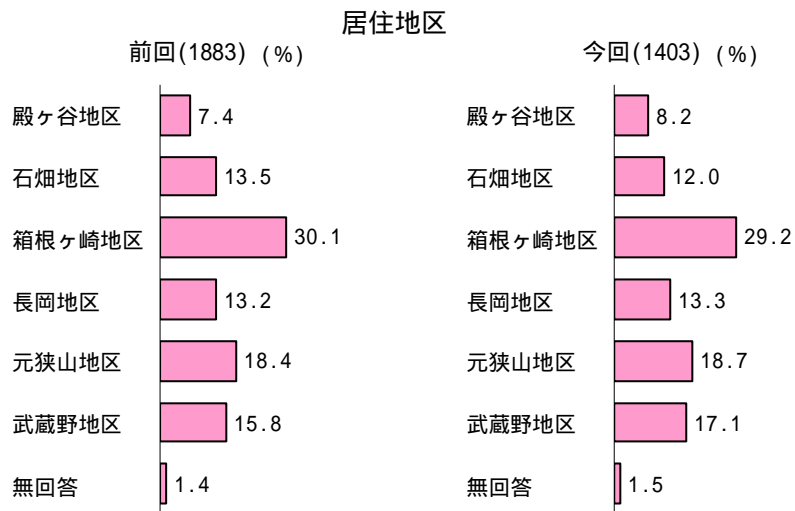


(3) 居住の状況

町内の居住年数は、20年以上と居住歴の長い層の割合が上昇している。



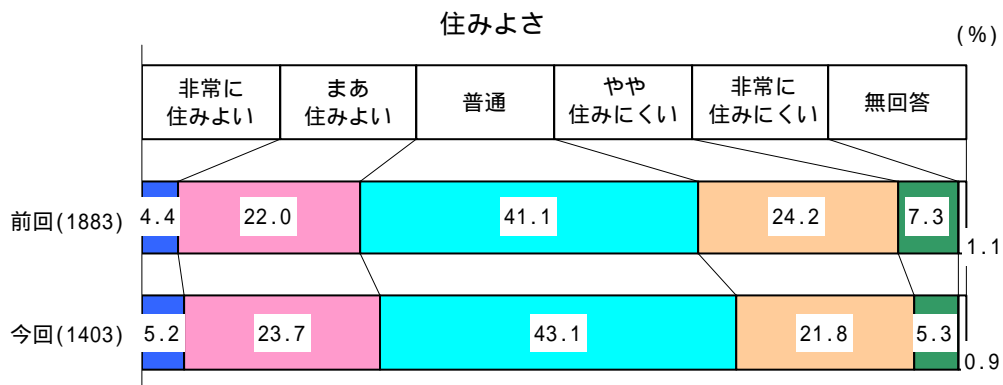
居住地区は、「箱根ヶ崎地区」が約30%で最も多く、次いで「元狭山地区」「武蔵野地区」など、前回と同様の結果となっている。



2 瑞穂町の生活について

(1) 住みよさ

まちの住みよさは、「普通」以上のプラス評価の回答がいずれも前回より多くなっており、一方、「やや住みにくい」「非常に住みにくい」というマイナス評価の回答が少なくなっている。



また、各選択肢を3つのカテゴリーに統合して比較しても、「普通」以上の評価が上昇し、マイナス評価が減少する結果となっている。

	前回	今回
“住みよい” (「非常に住みよい」+「まあ住みよい」)	26.4%	28.9%
普通	41.1%	43.1%
“住みにくい” (「やや住みにくい」+「非常に住みにくい」)	31.5%	27.1%

ただ今回は、前回に比べ比較的高年齢層、居住歴の長い人が多くなっており、これらの層

では町の住みよさなどに対する評価が比較的高くなる傾向がある。このため、この結果を町の住みよさに対する町民の評価が明らかに上昇しているのか、それともただ単に、回答者の多くが評価が高い傾向にある層であるためであるのかを見てみたい。

そこで次に、各年齢ごとの評価を見てみることにする。ここでは、評価点により分析する。各選択肢の得点は、「非常に住みよい」2点、「まあ住みよい」1点、「普通」0点、「やや住みにくい」-1点、「非常に住みにくい」-2点とした。

この結果は下表の通りとなり、全体結果は前回のマイナス評価から今回プラス評価へと転じている。年齢別では、20～29歳及び80歳以上では評価点が低下している一方、30歳代から70歳代では上昇している。特に若い層では、今回もマイナス評価ではあるものの、評価点の上昇幅が大きくなっている。

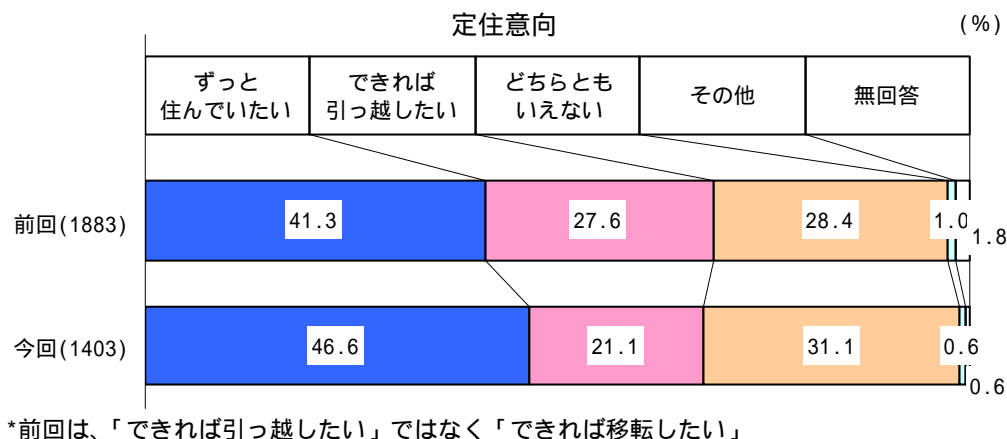
以上のことから、今回住みよさ評価が高まりつつあることについては、回答者が単に、比較的评价が高い傾向にある高齢層が多いからということではなく、比較的に若い世代の評価が上昇していることによる部分が多いと考えられ、これまでのまちづくりの取組等による成果が現れてきたものと推察される。

評価点による年代別比較

区分	前回	今回	今回 - 前回
全体	0.08	0.02	0.10
20～29歳	0.10	0.13	0.03
30～39歳	0.29	0.11	0.18
40～49歳	0.18	0.07	0.11
50～59歳	0.13	0.03	0.10
60～69歳	0.00	0.08	0.08
70～79歳	0.27	0.31	0.04
80歳以上	0.49	0.40	0.09

(2) 定住意向

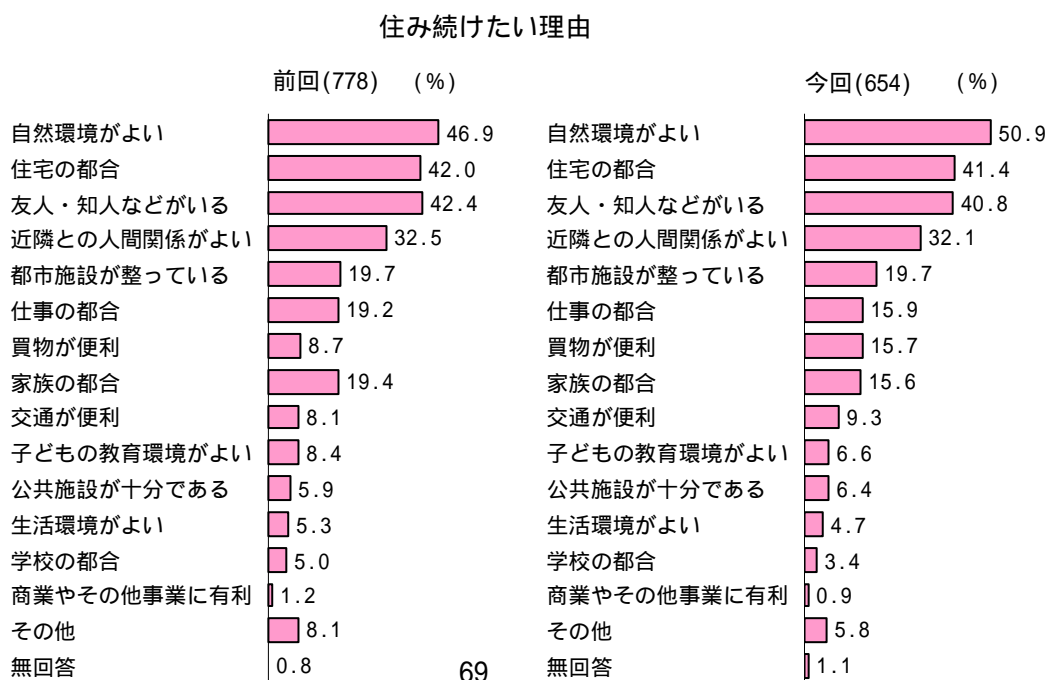
今後も町に住み続けたいかについては、「ずっと住んでいたい」が前回の41.3%から今回46.6%へと5.3ポイント上昇し、「できれば引っ越したい」が前回の27.6%から今回21.1%へと6.5ポイント低下している。先の町の住みよさが上昇していることと併せ、町に住み続けたいと思う人が増えているものと考えられる。



(3) 住み続けたい理由

ずっと住んでいたいと回答した人の理由については、前回、今回とも、「自然環境がよい」を筆頭に、「住宅の都合」「友人・知人などがいる」「近隣との人間関係がよい」などが多く、住み続けたい理由の主なところに変化はない。

しかしその中で、「自然環境がよい」が前回より4ポイント上昇しているとともに、「買物が便利」が前回の8.7%から今回15.7%へと2倍弱に上昇している。一方、「仕事の都合」は前回の19.2%から今回15.9%へと低下している。従って、「仕事の都合」といったどちらかといえば受動的な理由ではなく、自然環境と買物の便利さといった、町そのものの魅力が高く評価されたと言えるだろう。しかも、自然と利便性という、一般的には相反する要因がともに評価されていることは、注目に値する。



(4) 引っ越したい理由

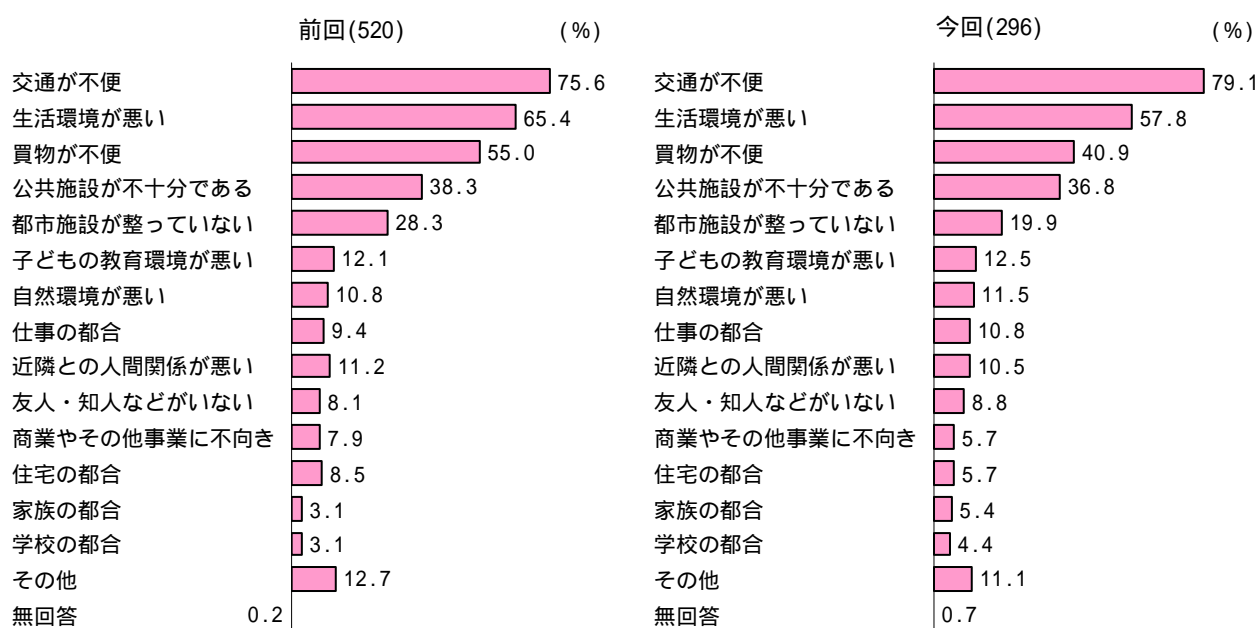
一方、引っ越したい理由については、「交通が不便」を筆頭に、「騒音、悪臭などあり生活環境が悪い」「買物が不便」「公共施設が不十分である」などが多く、引っ越したい理由の主なところに大きな変化は見られない。

しかし、その中で、「交通が不便」なことが前回75.6%から今回79.1%へとやや上昇している。一方、「生活環境」については、前回65.4%から今回57.8%へと7.6ポイント低下しており、住み続けたい理由として自然環境のよさが高く評価されていることと併せ、環境のよさが上昇していることがうかがえる。

買物の便については、前回55.0%から今回40.9%へと14.1ポイントと大きく低下し、買物の利便性は向上している。

「下水道や道路など、都市施設が整っていない」については、前回の28.3%から今回19.9%へと8.4ポイント低下しており、先の定住したい理由では、「下水道や道路など、都市施設が整っている」が、前回、今回ともに19.7%と変化がないことから、前期基本計画の中で都市基盤整備が進められたことが評価されているものと考えられる。ただ、都市基盤の施設については、ある意味、「あって当たり前」的な評価となる傾向もあることから、住み続けたいとする積極的な理由としては、さほど大きく評価されていないという“不運”な面があることも添えておきたい。

引っ越したい理由



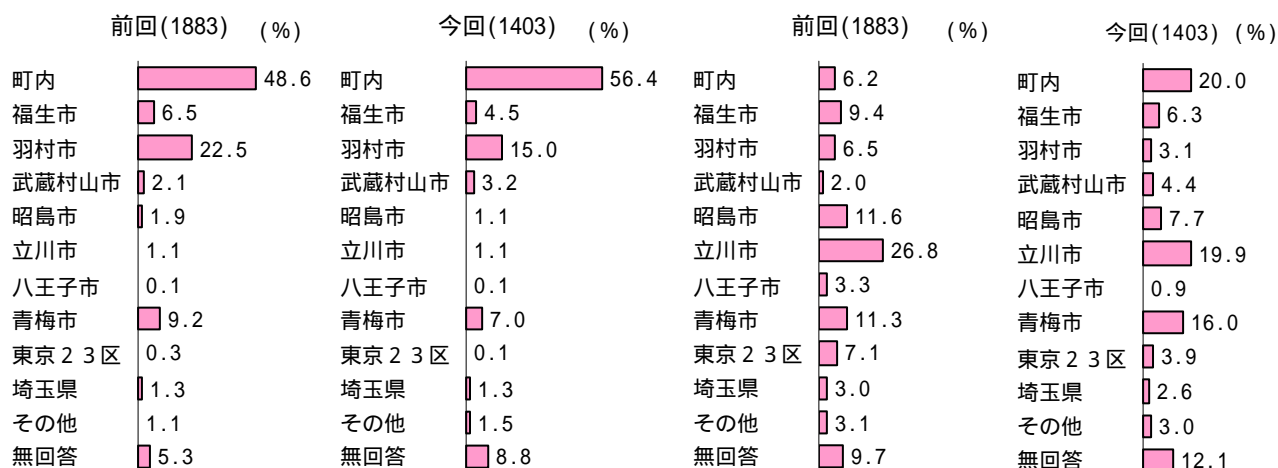
(5) 生活行動の場所

[買物]

買物のうち日常生活品については、「町内」が前回の48.6%から今回56.4%へと上昇し、休日のショッピングについては、前回は「立川市」が26.8%で最も多かったのが、今回は「立川市」とともに「町内」も約20%と多くなっている。従って、日常生活品、休日のショッピングともに、町内の買物機会が拡充され、買物の利便性に対する評価の上昇につながったものと考えられる。

日常生活品の購入

休日のショッピング

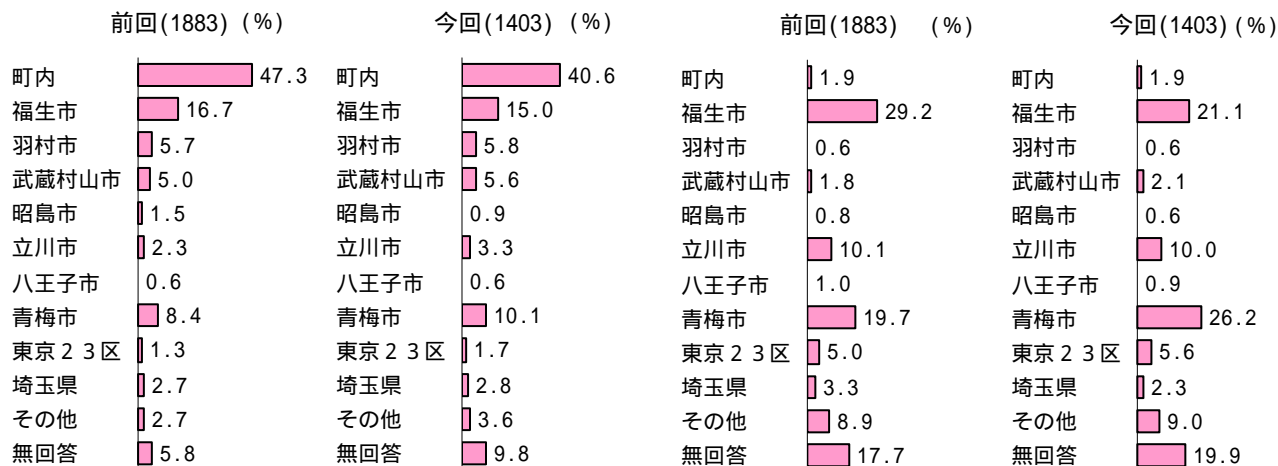


[医療]

医療のうち、診療(通院)については、「町内」が前回の47.3%から今回40.6%へと6.7ポイント低下し、「青梅市」など他市町村等がわずかずつ上昇している。入院や手術については、前回は「福生市」「青梅市」の順で多くなっていたが、今回は「青梅市」が「福生市」を上回る結果となっている。

診療(通院)

入院や手術



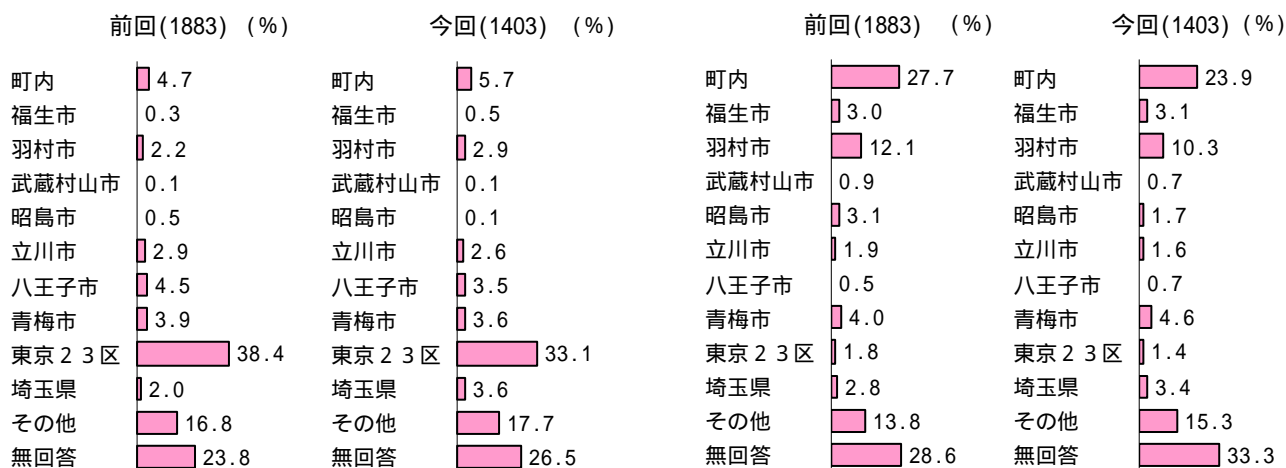
[文化・スポーツ活動]

文化・スポーツ活動のうち、美術館や博物館等の文化施設の利用については、「東京23区」が前回の38.4%から今回33.1%へと5.3ポイント低下し、「町内」などがわずかながら上昇している。

野球やテニス等のスポーツ活動については、「町内」は前回27.7%から今回23.9%へとやや低下している。

美術館や博物館等の文化施設の利用

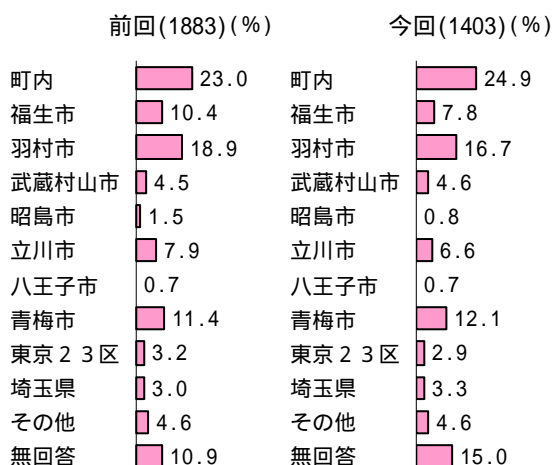
野球やテニス等のスポーツ活動



[外食]

外食については、「町内」が前回23.0%から今回24.9%とわずかの上昇となっているが、全体的に大きな変化はない。

外食



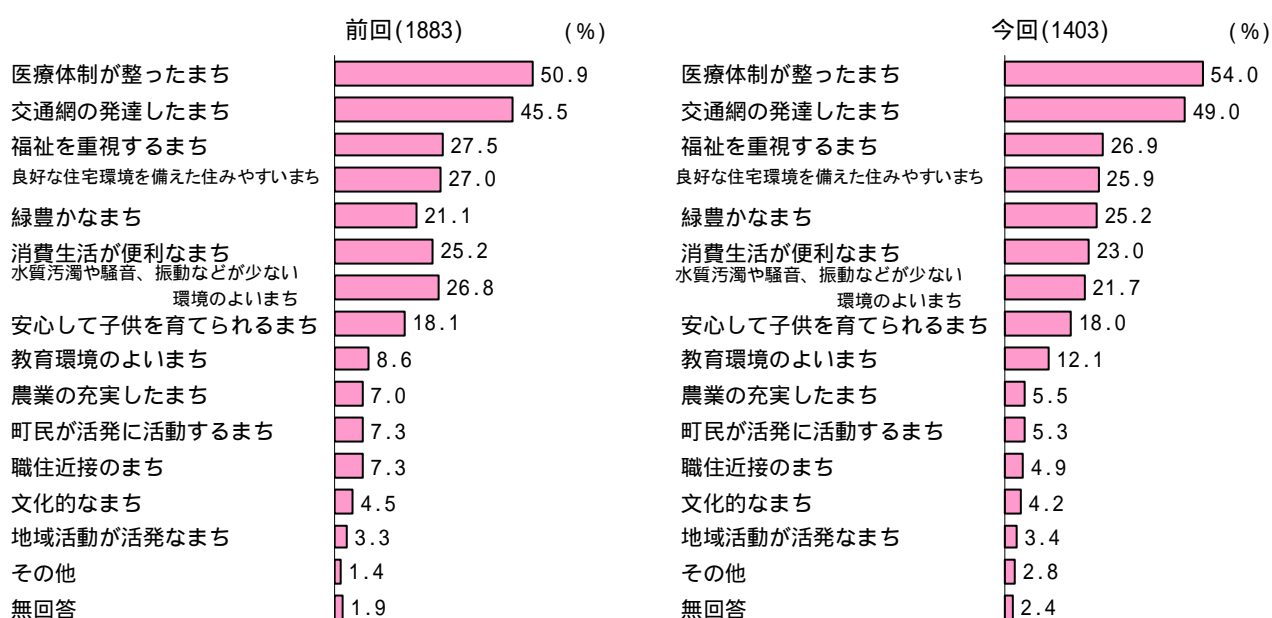
2 瑞穂町の将来像や現状の評価について

(1) 将来像

町の将来の姿については、前回、今回とも「病院や診療所など医療体制が整ったまち」「道路や鉄道などの交通網の発達したまち」がそれぞれ50%前後、次いで「高齢者や障害のある人のための施設や生活環境の整った福祉を重視するまち」「良好な住宅環境を備えた住みやすいまち」などが多くなっている。

前回、今回とも、「医療」と「交通網」が整ったまちが特に望まれており、特に今回は、前回に比べこの2つの将来像への希望が増している。また、「公園や緑地、街路樹などが整備された緑豊かなまち」も、前回の21.1%から今回25.2%へと上昇している。今回、利便性と自然環境への指向の高まりがこれまで以上に見られる結果となった。

将来像



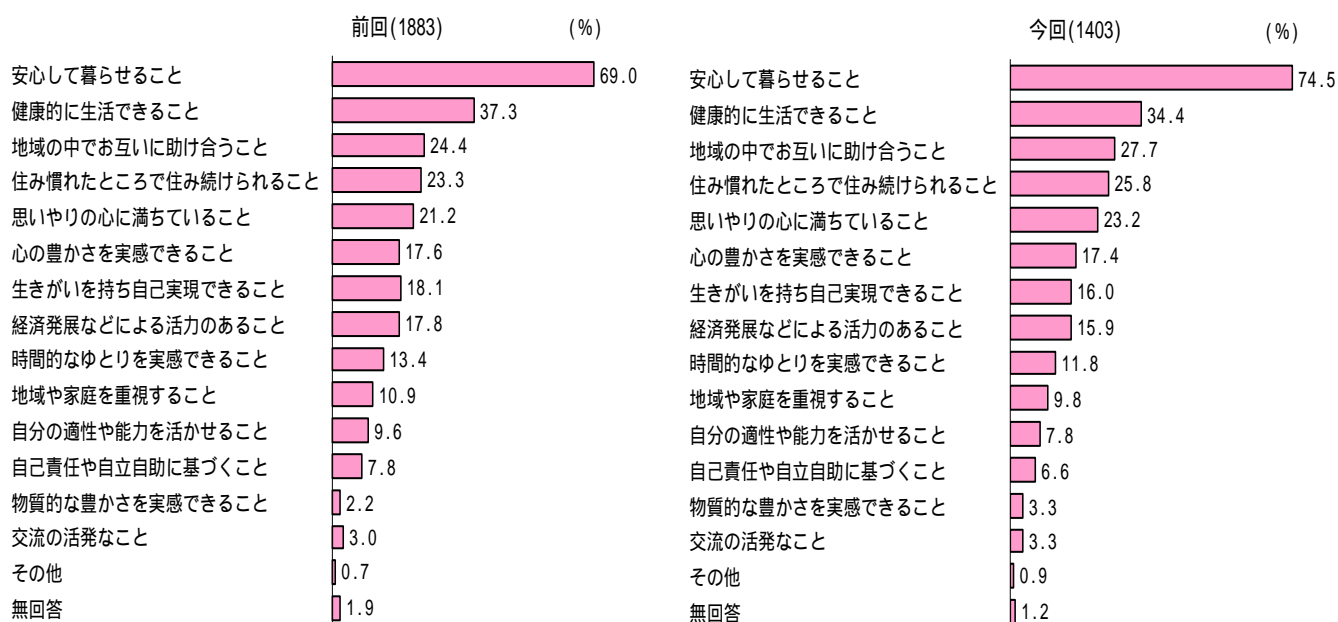
(2) 社会が重視すべきこと

これからの社会が重視すべきことは、「安心して暮らせること」が前回、今回とも3分の2以上の人があげ、他の回答を大きく引き離している。特に、今回は前回より5.5ポイント上昇している。

「健康的に生活できること」は、前回、今回とも2位にあげられているが、前回よりも若干低下している。

これらに次いであげられている「地域の中でお互いに助け合うこと」「住み慣れたところで住み続けられること」「思いやりの心に満ちていること」は、いずれもわずかずつながら上昇しており、地域社会における町民同士のつながりが深まっていくことへの期待が高まっているものと考えられる。このことは、地域で「安心して暮らせる」ことにもつながるものであろう。

社会が重視すべきこと



(3) 町政の各分野に対する評価

町政の各分野についての満足度と重要度をたずねた。

下表は、満足度、重要度それぞれについて評価点を算出し、一覧にしたものである。各選択肢の得点は次のとおりとした。

* 満足度		* 重要度	
「満足している」	2点	「非常に重要である」	2点
「どちらかといえば満足している」	1	「どちらかといえば重要である」	1
「どちらともいえない」	0	「どちらともいえない」	0
「どちらかといえば不満である」	-1	「どちらかといえば重要ではない」	-1
「不満である」	-2	「重要ではない」	-2

町政各分野の満足度と重要度の変化(評価点)

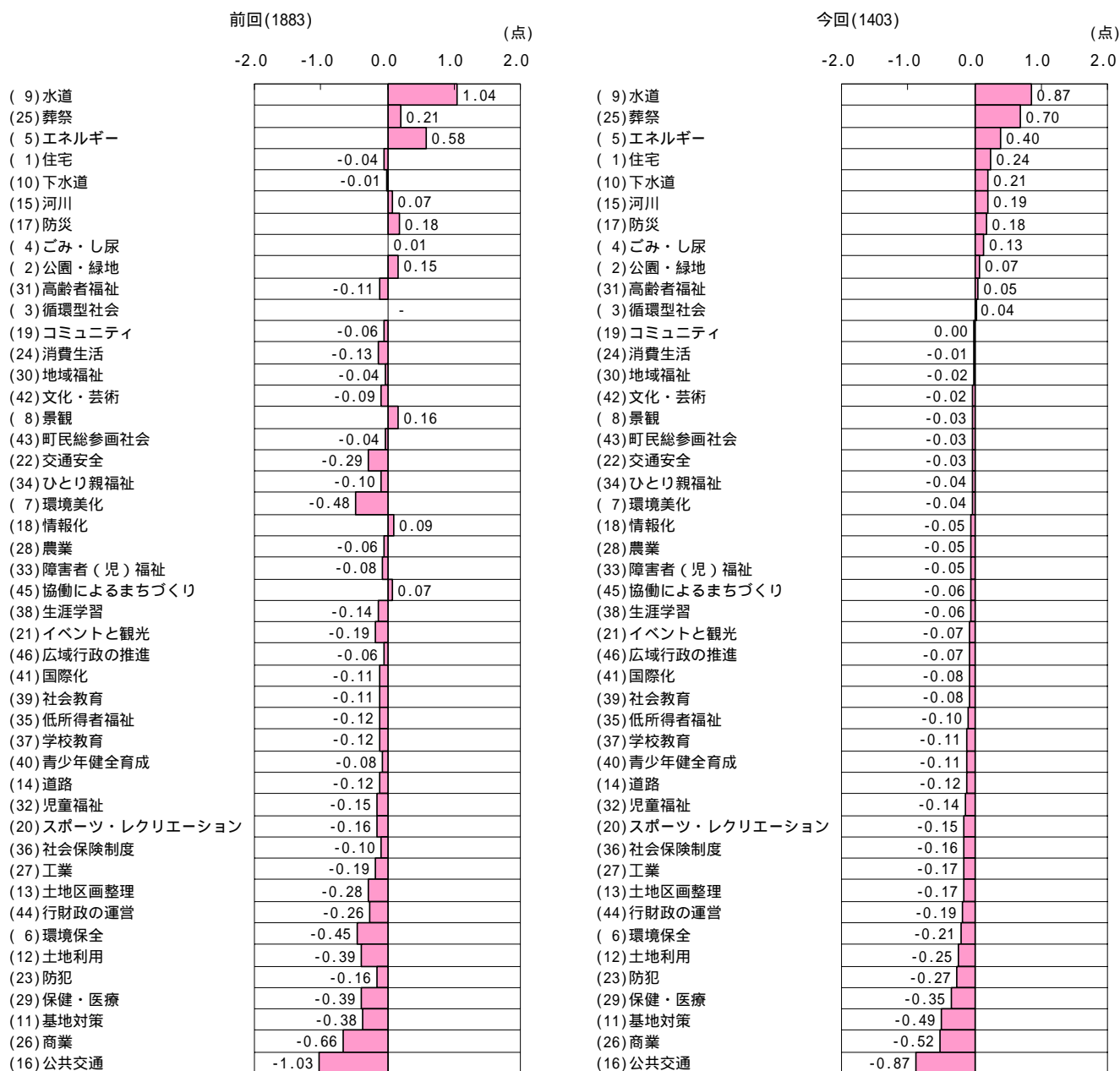
分野	項目	満足度			重要度			備考
		前回	今回	今回-前回	前回	今回	今回-前回	
居住空間	(1)住宅	-0.04	0.24	0.28	0.93	1.24	0.31	
	(2)公園・緑地	0.15	0.07	-0.08	0.78	0.95	0.17	
	(3)循環型社会	-	0.04	-	-	0.88	-	* 前回なし
	(4)ごみ・し尿	0.01	0.13	0.12	1.25	1.24	-0.01	
	(5)エネルギー	0.58	0.40	-0.18	1.12	1.07	-0.05	* 前は「電気・ガス」
	(6)環境保全	-0.45	-0.21	0.24	1.28	1.16	-0.12	* 前は「公害」
	(7)環境美化	-0.48	-0.04	0.44	1.17	1.00	-0.17	
	(8)景観	0.16	-0.03	-0.19	0.57	0.58	0.01	
	(9)水道	1.04	0.87	-0.17	1.35	1.39	0.04	
	(10)下水道	-0.01	0.21	0.22	1.36	1.31	-0.05	
	(11)基地対策	-0.38	-0.49	-0.11	1.07	1.17	0.10	
都市基盤	(12)土地利用	-0.39	-0.25	0.14	0.72	0.72	0.00	
	(13)土地区画整理	-0.28	-0.17	0.11	0.65	0.65	0.00	
	(14)道路	-0.12	-0.12	0.00	1.16	1.06	-0.10	
	(15)河川	0.07	0.19	0.12	0.78	0.74	-0.04	
	(16)公共交通	-1.03	-0.87	0.16	1.37	1.35	-0.02	
	(17)防災	0.18	0.18	0.00	1.08	1.19	0.11	
	(18)情報化	0.09	-0.05	-0.14	0.38	0.72	0.34	* 前は「通信・情報化」
	生活環境	(19)コミュニティ	-0.06	0.00	0.06	0.22	0.47	0.25
(20)スポーツ・レクリエーション		-0.16	-0.15	0.01	0.48	0.44	-0.04	
(21)イベントと観光		-0.19	-0.07	0.12	0.09	0.14	0.05	* 前は「観光」
(22)交通安全		-0.29	-0.03	0.26	1.01	0.97	-0.04	
(23)防犯		-0.16	-0.27	-0.11	1.04	1.32	0.28	
(24)消費生活		-0.13	-0.01	0.12	0.72	0.78	0.06	
(25)葬祭		0.21	0.70	0.49	0.69	0.68	-0.01	
産業	(26)商業	-0.66	-0.52	0.14	0.81	0.74	-0.07	
	(27)工業	-0.19	-0.17	0.02	0.48	0.41	-0.07	
	(28)農業	-0.06	-0.05	0.01	0.42	0.47	0.05	
保健・医療・福祉	(29)保健・医療	-0.39	-0.35	0.04	1.37	1.43	0.06	
	(30)地域福祉	-0.04	-0.02	0.02	0.65	0.75	0.10	
	(31)高齢者福祉	-0.11	0.05	0.16	1.10	0.99	-0.11	
	(32)児童福祉	-0.15	-0.14	0.01	0.96	1.04	0.08	
	(33)障害者(児)福祉	-0.08	-0.05	0.03	0.87	0.90	0.03	* 前は「心身障害者(児)福祉」
	(34)ひとり親福祉	-0.10	-0.04	0.06	0.76	0.68	-0.08	
	(35)低所得者福祉	-0.12	-0.10	0.02	0.65	0.63	-0.02	
	(36)社会保険制度	-0.10	-0.16	-0.06	1.00	1.03	0.03	
教育・文化	(37)学校教育	-0.12	-0.11	0.01	0.97	1.09	0.12	
	(38)生涯学習	-0.14	-0.06	0.08	0.63	0.61	-0.02	
	(39)社会教育	-0.11	-0.08	0.03	0.66	0.67	0.01	
	(40)青少年健全育成	-0.08	-0.11	-0.03	0.72	0.74	0.02	
	(41)国際化	-0.11	-0.08	0.03	0.19	0.26	0.07	
	(42)文化・芸術	-0.09	-0.02	0.07	0.34	0.30	-0.04	
	(43)町民総参画社会	-0.04	-0.03	0.01	0.28	0.41	0.13	* 前は「男女平等と共同参画」
計画の推進	(44)行財政の運営	-0.26	-0.19	0.07	0.86	0.85	-0.01	* 前は「行政運営」
	(45)協働によるまちづくり	0.07	-0.06	-0.13	0.45	0.67	0.22	* 前は「住民参加」
	(46)広域行政の推進	-0.06	-0.07	-0.01	0.35	0.50	0.15	* 前は「広域行政」
							* 前は以上の他に、「イベント」「財政運営」あり	

注：回答者数は、前回1,883人、今回1,403人。

[満足度の変化]

前回と今回の満足度は下のグラフのとおりである(前回、今回とも、今回の満足度の高い順に並べた)。

満足度の変化



この中から、満足度の高い上位5項目、満足度の低い上位5項目を抜き出すと次のとおりである。

満足度の高い項目については、今回も前回に引き続き「水道」が最も高く、「葬祭」「エネルギー」も、前回と順位の違いはあるが、高い評価を得ている。「水道」については、前回より評価点が0.17ポイント低下しているが、「葬祭」については0.49ポイントと大きく上昇しており、新たな葬祭施設の整備によるところが大きいものと考えられる(「エネルギー」については、前回は「電気・ガス」という項目であり、今回とは異なるためコメントは差し控える)。

これらに次いで、今回は「住宅」「下水道」が4位、5位に入っているが、これらは前回に比べ、評価点がそれぞれ0.28、0.22アップしたものである。一方、前回4位、5位だった「防災」「公園・緑地」については、前回に比した評価点の変化は、それぞれ0.00、-0.08となっており、満足度が大きく低下したわけではなく、「住宅」「下水道」が上昇したために下位に下がっただけのものである。

満足度の高い上位5項目

	[前回]		[今回]	
1位	水道	1.04	水道	0.87
2位	エネルギー	0.58	葬祭	0.70
3位	葬祭	0.21	エネルギー	0.40
4位	防災	0.18	住宅	0.24
5位	公園・緑地	0.15	下水道	0.21

注：「エネルギー」は、前回「電気・ガス」

一方、満足度の低い上位5項目については、「公共交通」「商業」が前回同様1位、2位だが、評価はともに上昇している。前回3位、4位の「環境美化」(評価点-0.48)、「環境保全」(同-0.45)については、今回それぞれ-0.04、-0.21と評価が上昇している。土地利用も、前回の-0.39から今回-0.25へと上昇している。「基地対策」「防犯」については、前回よりもともに0.11ポイント低下している。「保健・医療」については、さほど大きな変化はない。

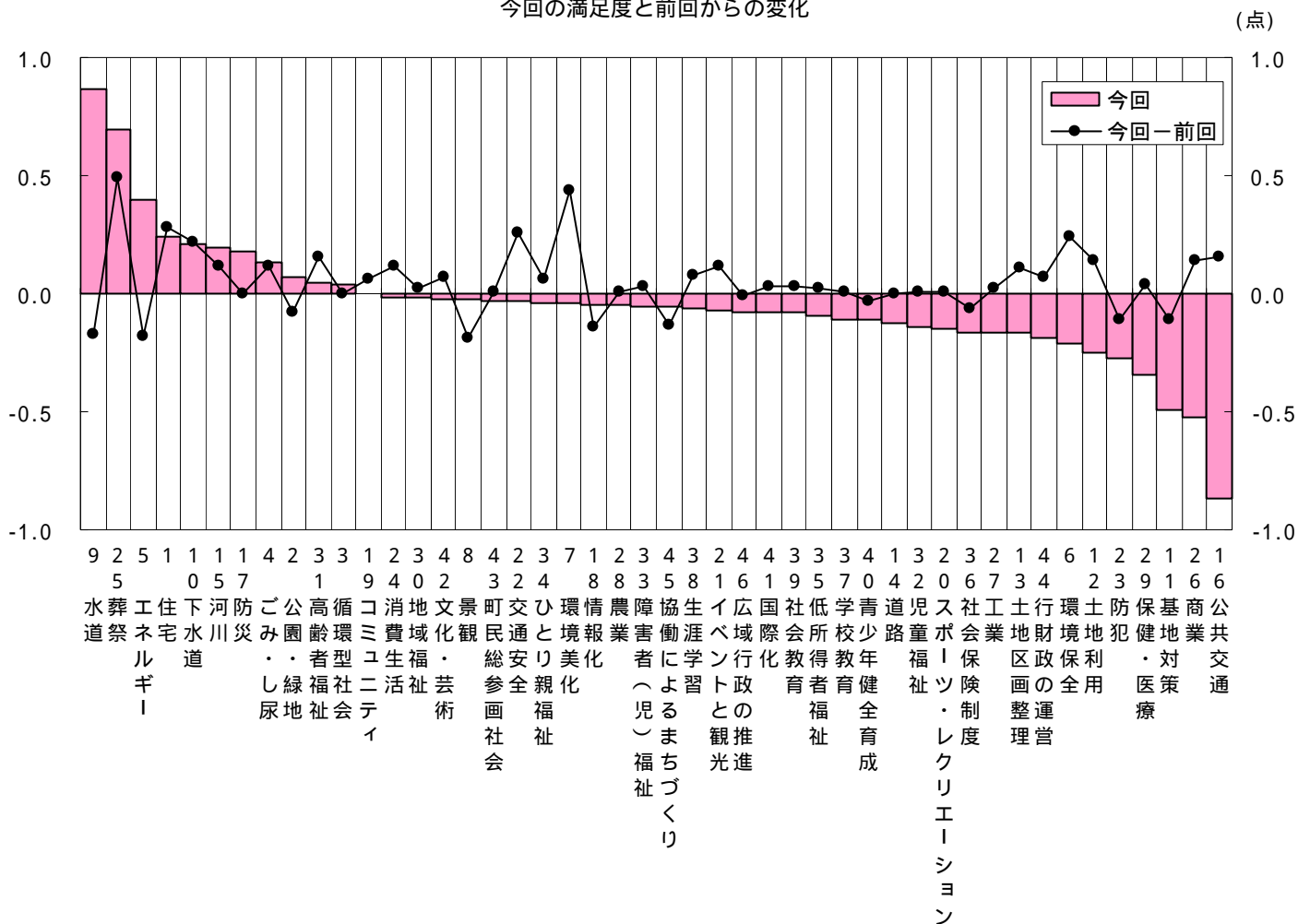
満足度の低い上位5項目

	[前回]		[今回]	
1位	公共交通	-1.03	公共交通	-0.87
2位	商業	-0.66	商業	-0.52
3位	環境美化	-0.48	基地対策	-0.49
4位	環境保全	-0.45	保健・医療	-0.35
5位	保健・医療	-0.39	防犯	-0.27
	土地利用	-0.39		

注：「環境保全」は、前回「公害」

下のグラフは、今回の評価点を棒グラフで、今回の評価点と前回の評価点との差を折れ線グラフで表したものである。これを見ると、前述したことのほかに、「景観」「情報化」「協働によるまちづくり」は、前回のプラス評価から、今回はマイナス評価へと転じている。一方、「交通安全」「土地区画整理」などはマイナス評価であるものの、評価は上昇している。

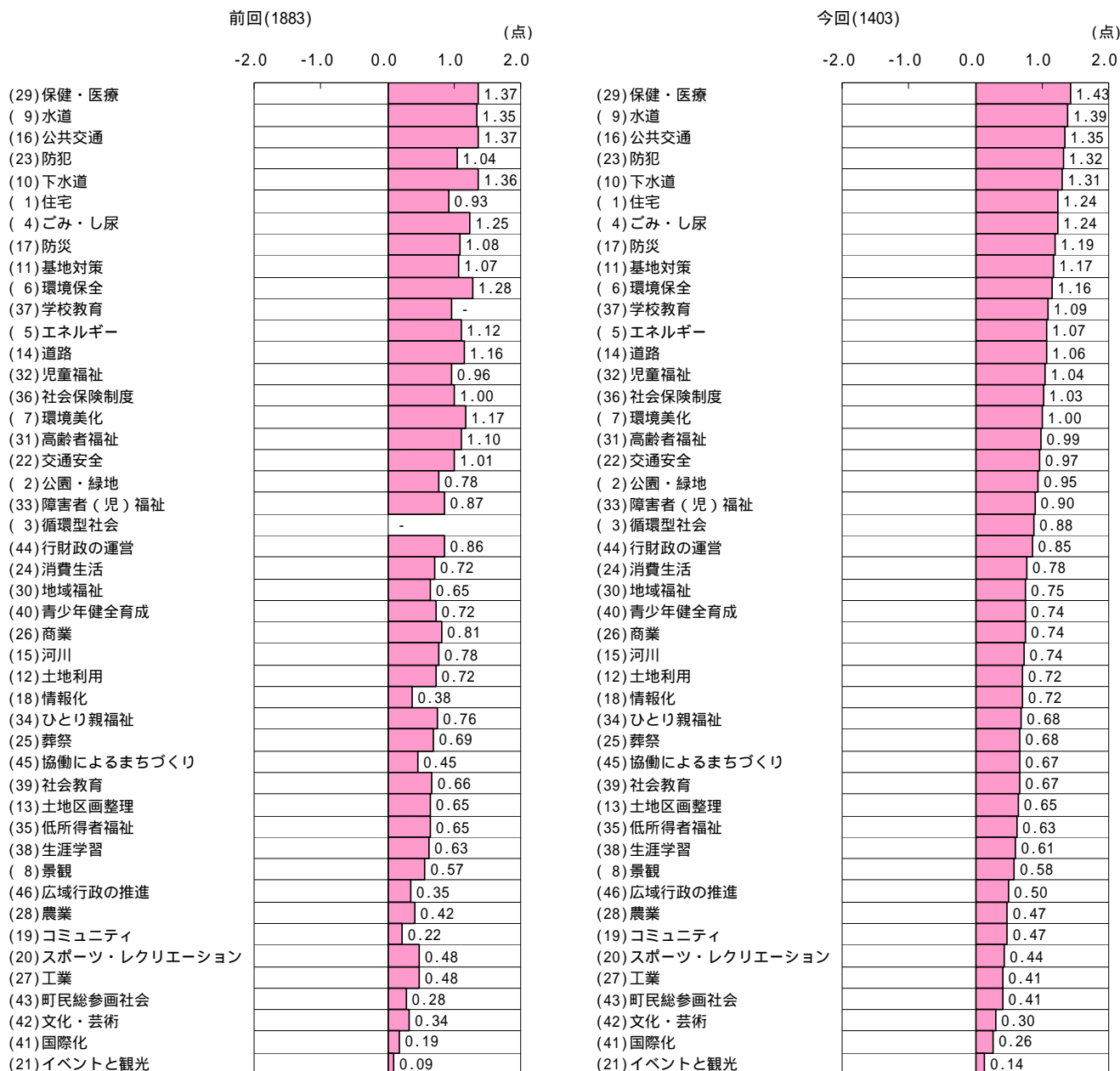
今回の満足度と前回からの変化



[重要度の変化]

前回と今回の重要度は下のグラフの通りである(前回、今回とも、今回の重要度の高い順に並べた)。

重要度の変化



この中から、重要度の高い上位5項目、重要度の低い上位5項目を抜き出すと次のとおりである。

重要度の高い項目については、今回も前回に引き続き「保健・医療」が最も高く、このほか「水道」「公共交通」「下水道」については順位に若干の変動はあるものの、今回も前回同様重要視されている。「防犯」については、前回も1.04と重要視されていたが、今回は1.32と、さらに重要度が高まっている(「環境保全」については、前は「公害」という項目であり、今回とは異なるためコメントは差し控える)。

重要度の高い上位5項目

	[前回]		[今回]	
1位	保健・医療	1.37	保健・医療	1.43
2位	公共交通	1.37	水道	1.39
3位	下水道	1.36	公共交通	1.35
4位	水道	1.35	防犯	1.32
5位	環境保全	1.28	下水道	1.31

注：「環境保全」は、前回「公害」

一方、重要度の低い上位5項目については、「イベントと観光」「国際化」「文化・芸術」「町民総参画社会」など、順位に若干の変動はあるものの、前回と同様の結果となっている。なお、「イベントと観光」「町民総参画社会」については、前は下の通り、異なる項目名となっている。

今回、「工業」が0.41で5位に入っているが、前回は0.48と大きな変化ではない。また、前回3位であった「コミュニティ」(0.22)は、評価点が0.47と前回より0.25ポイント上昇しており、重要度は高まっている。

重要度の低い上位5項目

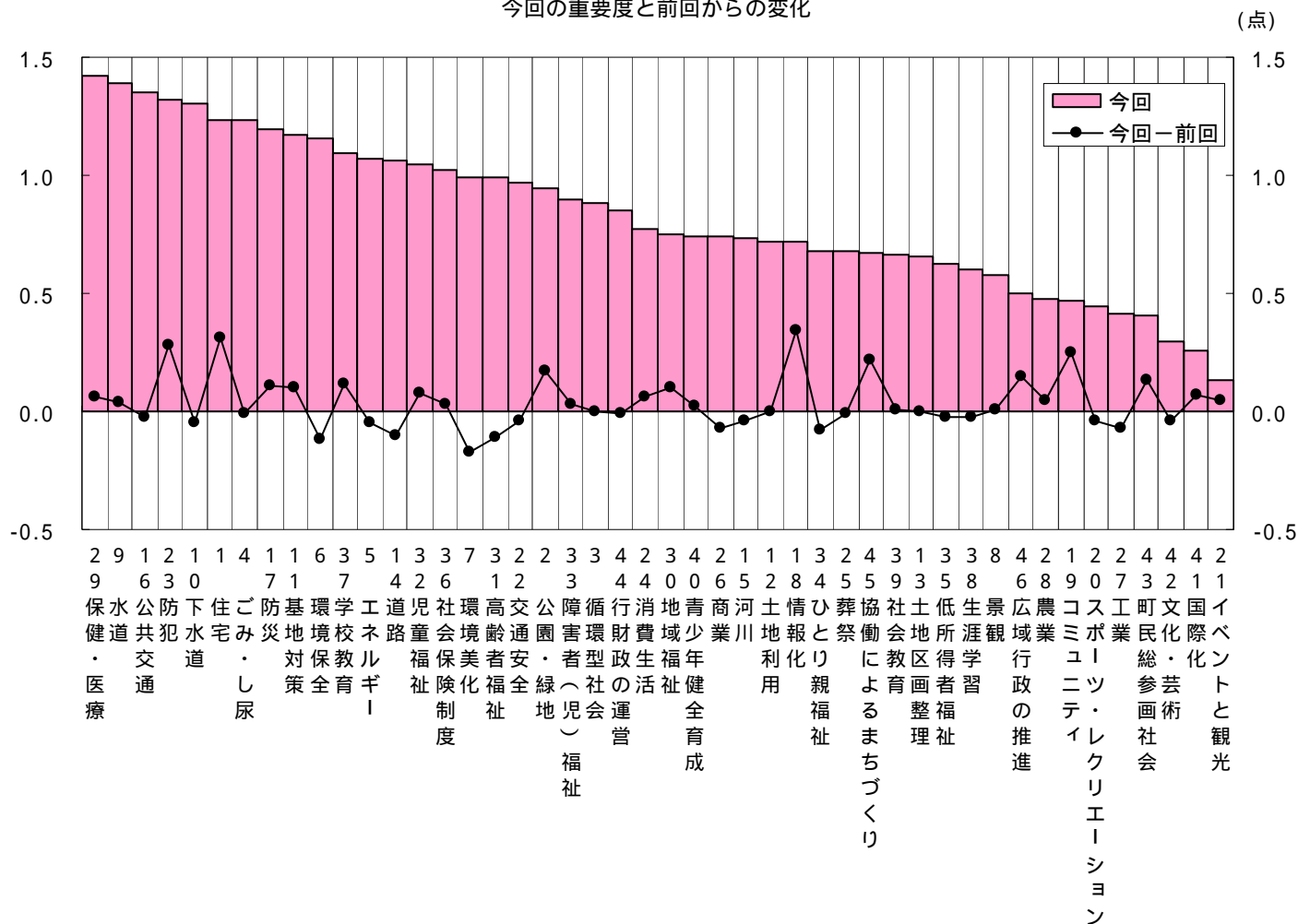
	[前回]		[今回]	
1位	イベントと観光	0.09	イベントと観光	0.14
2位	国際化	0.19	国際化	0.26
3位	コミュニティ	0.22	文化・芸術	0.30
4位	町民総参画社会	0.28	町民総参画社会	0.41
5位	文化・芸術	0.34	工業	0.41

注：「イベントと観光」は、前回「観光」と「イベント」に分かれていた中の「観光」について表示した。「町民総参画社会」は、前回「男女平等と共同参画」。

下のグラフは、今回の評価点を棒グラフで、今回の評価点と前回の評価点との差を折れ線グラフで表したものである。これを見ると、前述したことのほかに、「情報化」「住宅」なども重要度が上昇している。

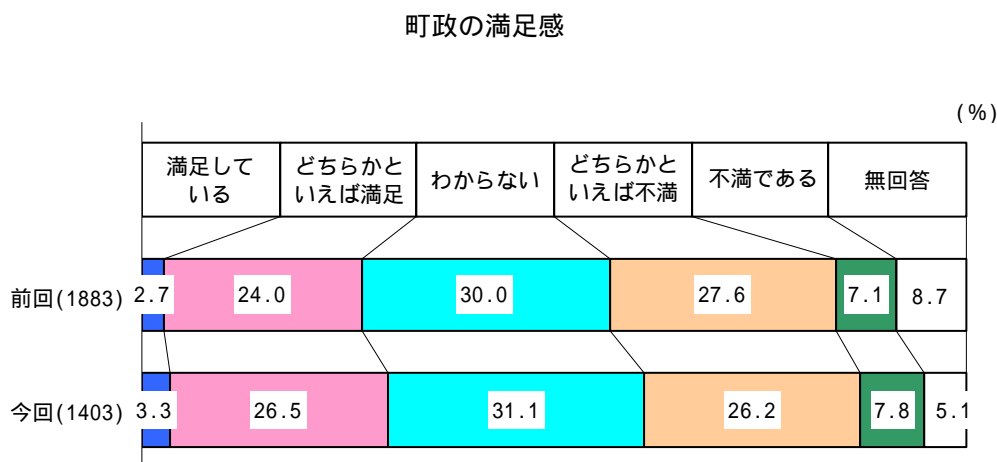
一方、「環境美化」「環境保全」といった環境面については、重要度がやや低下している。また、保健・福祉分野の中では、「高齢者福祉」の重要度がやや低下している。

今回の重要度と前回からの変化



(4) 町政全体の満足感

町政全体にどの程度満足しているかについては、いずれもわずかながら、「満足している」「どちらかといえば満足している」というプラス評価の回答が上昇し、「どちらかといえば不満」が低下、「不満である」は上昇という結果となっている。



また、各選択肢を3つのカテゴリーに統合して比較してみると、“満足”がやや上昇し、“不満”はわずかながら低下している。

	前回	今回
“満足”（「満足している」+「どちらかといえば満足している」）	26.7%	29.8%
わからない	30.0%	31.1%
“不満”（「どちらかといえば不満である」+「不満である」）	34.7%	34.0%

次に、各年齢ごとの評価について、評価点を算出して見てみる。各選択肢の得点は、「満足している」2点、「どちらかといえば満足している」1点、「わからない」0点、「どちらかといえば不満である」-1点、「不満である」-2点と得点とした。

この結果は下表のとおりとなり、全体結果は前回と同様、マイナスの評価となっているが、評価は若干上昇している。年齢別では、前回、今回とも、概ね年齢が若い人ほど厳しい評価となっており、50歳代以下ではいずれも不満感が満足感を上回っている。その中で、20歳代では評価は変わらず、30歳代では評価が上昇している。一方、40～60歳代では評価が低下している。

一方、80歳以上では前回の評価点0.43から、今回0.73へと大きく上昇している。

評価点による年代別比較

区分	前回	今回	今回 - 前回
全体	0.14	0.09	0.05
20～29歳	0.37	0.37	0.00
30～39歳	0.46	0.31	0.15
40～49歳	0.27	0.36	0.09
50～59歳	0.12	0.22	0.10
60～69歳	0.23	0.08	0.15
70～79歳	0.52	0.52	0.00
80歳以上	0.43	0.73	0.30

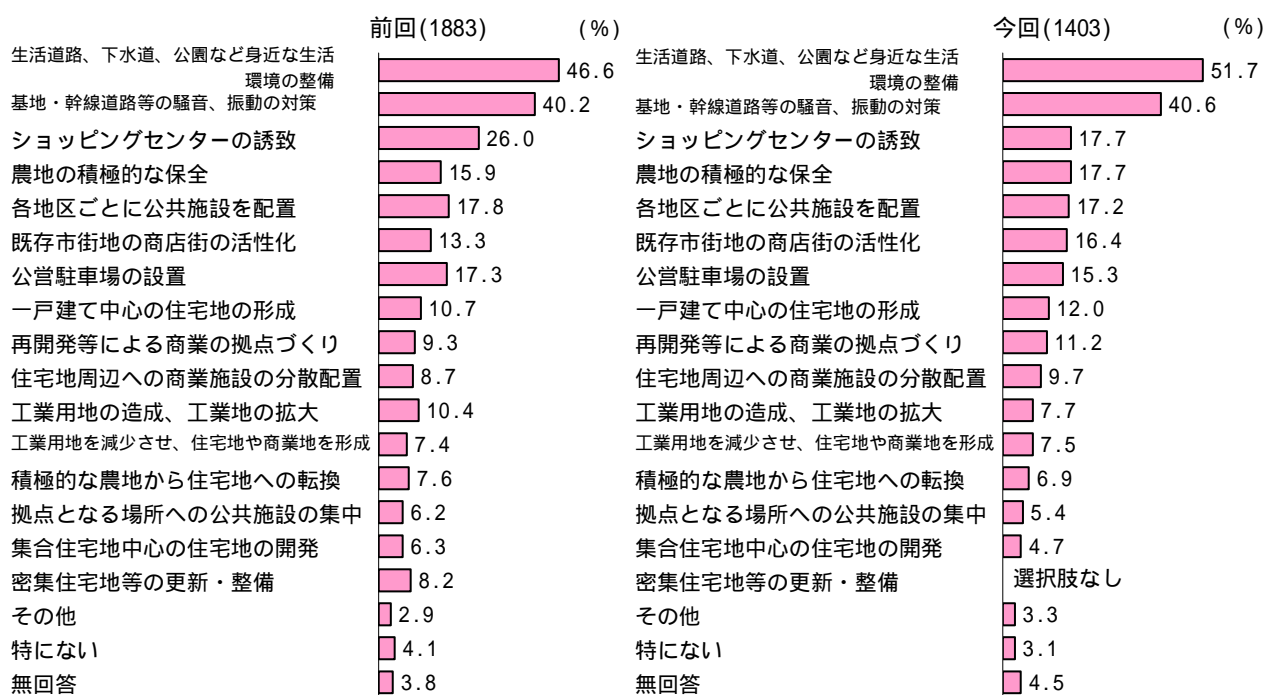
(5) 土地利用のあり方

土地利用のあり方については、前回と選択肢が異なるものがあり、各選択肢への回答比率の多寡を比較することはできないため、全体的な順位についてコメントする。

前回、今回とも、「生活道路、下水道、公園などの身近な生活環境を整備する」「基地や幹線道路などの騒音、振動などの対策を講じる」がそれぞれ1位、2位と、他の回答を引き離してあげられている。生活の基盤となる施設や公害防止など環境の向上が引き続き求められている。

これらに次いであげられている「幹線道路沿いにショッピングセンターを誘致する」については、前回に比べ今回はやや減少傾向にあり、先に見たように、買物の利便性が向上したことにより、この回答が少なくなったものと考えられる。そして、「農地は積極的に保全する」「各地区ごとに公共施設を配置する」「既存市街地の商店街の活性化を図る」「公営駐車場をつくり買物がしやすいようにする」などと、さまざまな回答が平均してあげられる結果となっている。

土地利用のあり方



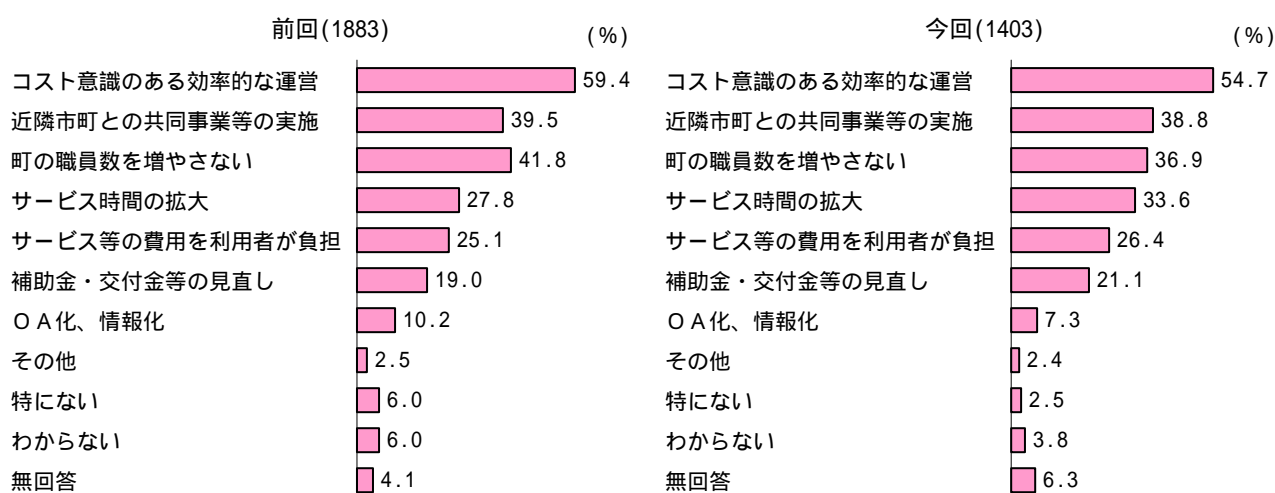
3 行政と町民の役割などについて

(1) 行政改革の重点

行政改革で特に重要と思われることについては、今回も前回と同様、「町の職員は、民間企業同様のコスト意識を持って事務事業を実施し、効率的な運営に努めるべきである」が50%台で最も多くあげられているが、その割合は、前回59.4%から今回54.7%へと4.7ポイント低下している。

「町役場、その他町の施設の職員数はなるべく増やさないようにし、事務の委託化や臨時職員の採用など、工夫して事務事業を行うべきである」は前回の41.8%から4.9ポイント低下している一方、「夜間や休日窓口等、サービス時間の拡大を図るべきである」が前回の27.8%から5.8ポイント上昇している。

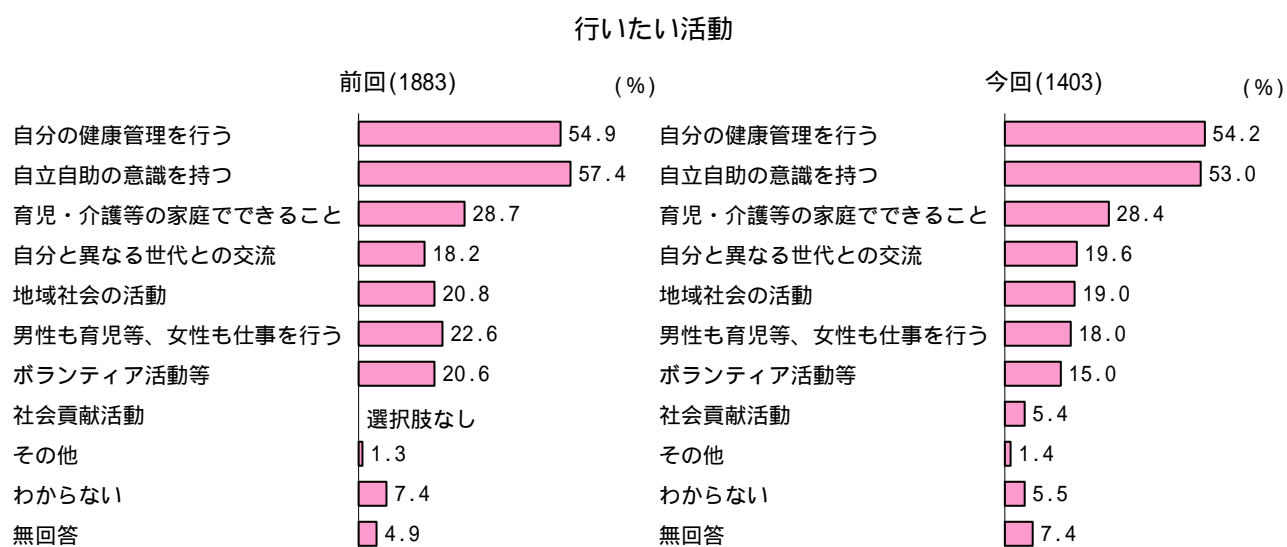
行政改革の重点



(2) 行いたい活動

町民自身が行いたい活動については、前回と選択肢が異なるものがあり、各選択肢への回答比率の多寡を比較することはできないため、全体的な順位についてコメントする。

今回も前回同様、「食生活や生活リズム、運動などに配慮し、自分の健康管理を行う」「自分のできることは自分で行うという自立自助の意識を持つ」が特に多くあげられている。また、これらに次いで、「育児や教育、介護など、家庭でできることをしっかりと行う」があげられており、自分自身を管理し、自立するという意向が引き続き強い。

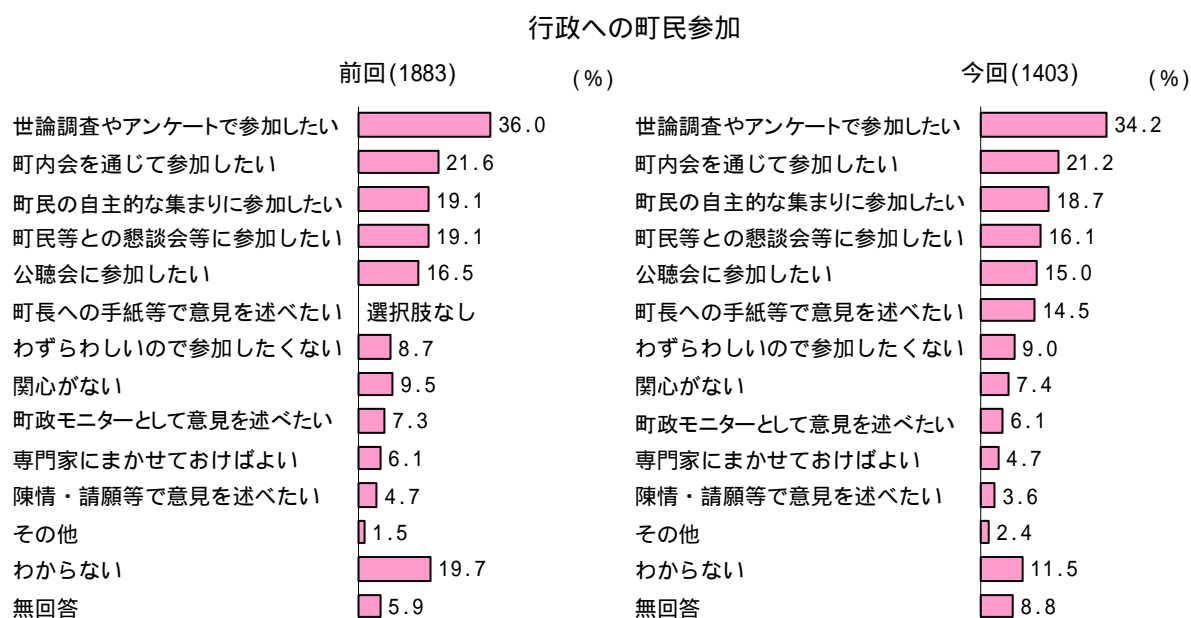


(3) 行政への町民参加

行政への町民参加で重要と思われることについては、前回と選択肢が異なるものがあり、各選択肢への回答比率の多寡を比較することはできないため、全体的な順位についてコメントする。

今回も前回同様、「世論調査やアンケートで参加したい」が最も多く、次いで「町内会(自治会)を通じて参加したい」「町民の自主的な集まり(まちづくりのグループ等)があれば参加したい」「町長や議員との懇談会や対話集会有れば参加したい」「公聴会があれば参加したい」などとなっている。

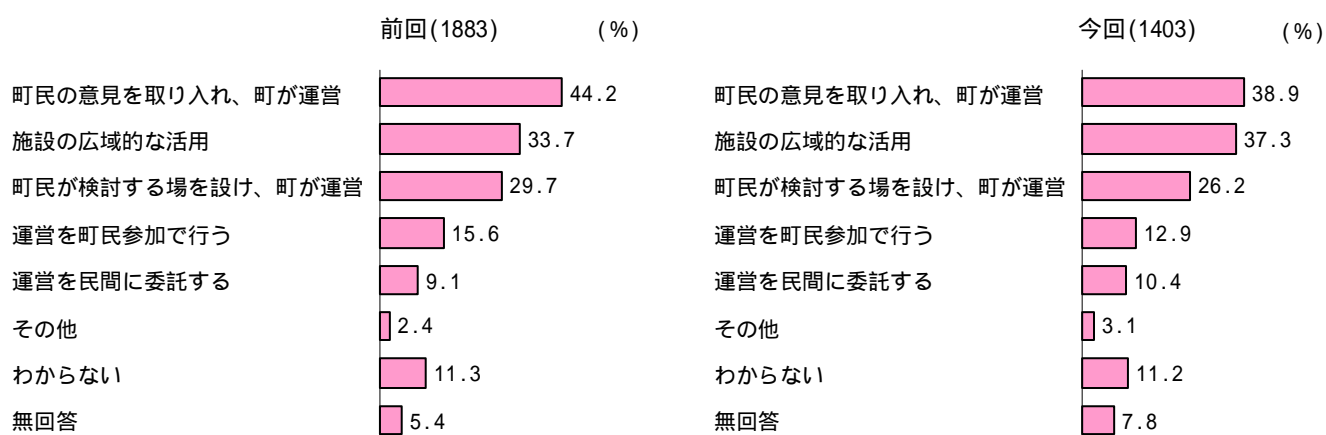
世論調査やアンケートなど、気軽に、また、自分の都合に合わせて取り組める方法、人と直接的にかかわらないでできる方法が多く求められている。また、前回調査にない選択肢である「町長への手紙やホームページへの書込みで、提案・意見を述べたい」が、今回14.5%あげられていることも、その一つと言えるだろう。



(4) 公共施設の活用方法

公共施設をより効果的かつ効率的に活用するにあたり重視すべき点については、今回も前回同様、「施設の利用方法について町民の意見を十分に取り入れ、町が運営にあたる」が最も多いが、その割合は、前回の44.2%から今回38.9%へと5.3ポイント低下しており、「施設を町外の方にも利用しやすいようにして広域的に活用する」が、前回33.7%から今回37.3%へと3.6ポイント上昇している。この回答については、町内の施設を町外の方が利用できるようにするとともに、瑞穂町民も町外の施設を利用できるようにしてほしいといった希望も含まれているものと考えられる。いずれにしても、町民の生活行動、生活圈等に応じ、一つの市町村内だけで対応できないものについては、市町村の枠にとらわれず、広域的な連携を図り、利用者の利便の向上を図っていくことが求められていると言えるだろう。

公共施設の活用方法



第4章 調査結果のまとめ

1 瑞穂町の生活について

まちの住みよさについては、全体的に住みよさ感が増している。年代が高くなるほど住みよさ感が増す傾向があり、特に20～30歳代では住みにくい感覚の方が強くはなっているものの、前回の調査時と比べ、若い世代においても住みよさ感が増していることは特筆される。

このため、これからも町に住み続けたいという意向も高まっている。町の住みよさとの関連では、住みよさが“普通”という感覚であっても、町に住み続けたいという意向は強くなっている。

町に住み続けたい理由については、今回も前回同様、自然環境のよさや住宅の都合、地域における人間関係などが主なところとなっているが、今回は前回に比べ、自然環境や地域の人との関係など、町が持つ魅力そのものに関する理由が多くなっている。

引っ越したい理由としては、前回同様、交通が不便なことが最大の理由となっている。公害などの生活環境が悪いということも多くあげられているが、これについてはやや少なくなっており、町の自然環境のよさと併せ、今回は環境面が高く評価される結果となった。また、買物の不便さも理由としてあげられているが、これについては大きく改善されつつある。この結果、買物の場については、町内での購買機会が増えている。

2 瑞穂町の将来像や現状の評価について

町の将来像は、医療体制が整ったまち、交通網の発達したまちが、前回に引き続き特に多く望まれている。

これからの社会が重視すべきこととして、安心して暮らせることが特に多くあげられており、医療体制の充実など安心して暮らせる環境が重視される結果となっている。この“安心”については、医療・健康面だけではなく、防災や治安、交通安全、福祉面などの“安心”も含まれているものと考えられる。

町政の各分野に対する評価について、満足感の高いものは、水道や葬祭などが前回同様、高く評価されている。特に葬祭への満足度が大きく上昇しており、新たな斎場整備による効果が大きいものと考えられる。

一方、これまで述べてきたことに符合する形で、公共交通や商業に対する評価が低くなっている。このほか、基地対策や保健・医療、防犯など、前回と同様の結果となっている。しかし、公共交通、商業についてはやや不満感が改善されつつある。

施策の重要性については、保健・医療、水道、公共交通、防犯、下水道などが特に重視さ

れており、中でも前回に比べ、防犯がより重視されるようになっている。

一方、重要性が比較的低いものとしては、イベントと観光、国際化、文化・芸術、町民総参画社会、工業などがあげられているが、いずれも「重要」とする認識が「重要ではない」とする認識を上回っており、決して重要ではないという評価ではない。

町政全体の満足感については、前回に比べやや上昇している。50歳代以下では不満感の方が高くなっているが、30歳代の評価は上昇している。一方、40～60歳代では評価が低下している。

土地利用のあり方については、前回同様、生活道路、下水道、公園など身近な生活環境の整備や、騒音、振動などの対策が多く求められている。

3 行政と町民の役割について

行政改革で重視すべきことは、前回同様、民間企業のようなコスト意識を持つなどの効率的な運営が最も多く、このほか近隣市町との共同による事業や、職員数の増員を抑えた事務事業の工夫、サービス時間の拡大などがあげられている。居住年数の短い層では、サービス時間の拡大を求める声が多い。受益者負担については、60歳代前後で多くあげられている。

町民自身が行いたい活動は、前回同様に、自分自身の健康管理や自立自助の意識を持つことが多くあげられている。30歳代以下では、自分と異なる世代との交流や、男女の共同参画意識も強く見られる。

行政への町民参加で重要なことは、世論調査やアンケートを通じた参画が、前回同様最も多くあげられている。この回答は、会社員・公務員・団体職員や学生に多く、一方、農業者では町内会や町民の集まり、町長等との懇談会など、直接顔をあわせた形での取組が多くあげられており、対照的な結果となっている。

公共施設の活用については、前回同様、町民の意見を取り入れ町が運営することと、広域的に施設を活用することが多くあげられている。施設の広域的な活用については、居住年数の短い層に特に多く、町外の施設も利用したいという意向も含まれているものと考えられる。

第 5 章 自由回答

本章では、回答者から自由記述形式で寄せられた意見について、項目ごとに概要をまとめ、その後に回答を掲載する。

1 意見のまとめ

(1) 居住空間

[住宅]

低層のマンションを求める意見と、都営住宅などの大規模な団地を求める意見がある。

[公園・緑地]

子どもが安心して遊べる公園、自然にふれあえる総合自然公園などの整備要望がある一方、公園等が多く子育て環境に恵まれているという意見もある。

[ごみ・し尿]

ごみ袋の料金が高い、また、ごみの有料化により不法投棄が増えそうなので監視を強化してほしいという意見がある。

[エネルギー]

都市ガスの整備、水道やガスの料金が高いなどの意見がある。

[環境保全]

環境が損なわれていることを懸念し、自然空間が必要だとする意見や、悪臭、大気汚染などに対するパトロールなどがあげられている。

[環境美化]

ペットを飼う人のマナーの向上、ごみが散乱しているなどがある。

[景観]

空き地の雑草対策の要望がある。

[上水道]

水道料金の高さや水質がよくないなどがある。

[下水道]

町全体で下水道の設置が必要とする意見や、家庭排水、浄化槽清掃費の補助を求める意見などがある。

[基地対策]

横田基地の民間利用に反対の意見と、基地との共存により文化交流や商業の振興などを求める意見がある。また、騒音問題、排気による大気汚染なども指摘されている。

(2) 都市基盤

[土地利用]

公共施設などを集中してほしいとする意見と、1か所に集まりすぎているという意見がある。また、農地を活用した田園都市のまちづくり、休耕地等を活用して福祉施設や病院の整備、開発に地域間の格差があるなどの意見がある。

[土地区画整理]

町全体の区画整理を求める意見、また、区画整理後に住居表示が長くなって不便という声もある。

[道路]

歩行者が安心して歩ける道路が求められている中、車いすでも通行できる歩道の要望、小さい子どもの手を引きながらベビーカーを押すには歩道が危険など、バリアフリーにかかわる声もある。このほか、新青梅街道の捨て看板対策、道路の雨水排水対策などもあげられている。

[公共交通]

八高線の増便や複線化、モノレールの誘致、町内循環バスの整備などの要望がある。八高線の終電が早いことで、23区や多摩地域東部に通勤するのがむずかしいという声もある。

[防災]

防災無線により安心感があるという声とともに、家庭の防音工事が進んでいるために防災放送が聞き取りづらく、無線の設置の要望がある。また、町の防災体制として、臨時職員ではむずかしいので事前から準備が必要という意見もある。

[情報化]

光ファイバー回線の導入要望がある。

(3) 生活環境

[コミュニティ]

町内会や自治会に入りたいが入りづらい、町内会の活動等に高齢者の参画を促す、地域の行事の情報がわからない、子ども会の中に同じ学年の子どもがいないなどの声が寄せられている。

[スポーツ・レクリエーション]

野球やサッカー以外の大会の開催、室内温水プール、健康づくりなどができるスポーツジム等の整備、中央体育館の改善、スポーツ施設の予約方法の改善などがある。

[イベントと観光]

イベントの会場に駐車場が少ない、バス運行の要望などがある。また、町民に受け入れられていない行事については削減してはという意見もある。

[防犯]

夜間のパトロール、保育園、幼稚園の防犯対策、小・中学生への防犯ブザーの配布などの要望がある。

[葬祭]

瑞穂葬祭の道開きの改善要望がある。

(4) 産業

[商業]

スーパー、レストラン、CDレンタル店などが町内にほしい、町に魅力がないため福生などに行ってしまう、買物やレジャーなどを近くで楽しめれば、都内へ出なくてもよくなり、若いお母さんやOLが町に定着するのではないかななどの声がある。

[農業]

農地や森林が残る緑豊かな町、農業の拡大などがある。

(5) 保健・医療・福祉

[保健・医療]

総合病院、産婦人科、耳鼻科、皮膚科などの要望がある。

[地域福祉]

公共施設のバリアフリー化、ひとり住まいや高齢者家庭への訪問などがあげられている。

[高齢者福祉]

高齢者福祉の充実を求める意見とともに、70歳代の女性からは、財政難の中、高齢者への祝い金を子どもの出産祝い金等にあててはどうかという声もある。

[児童福祉]

保育園の増設や、3歳までの子どもは親元で育てることの大切さをPRし、家庭で乳児を育てられる環境づくり、アレルギーの子が多くなっている中、保育園に栄養士をつけてはどうかなどの意見がある。

[障害者(児)福祉]

所得制限による身体障害者福祉手当の打ち切りを遺憾とする意見がある。

[低所得者福祉]

生活保護を受けている人が適正かどうかという声がある。

[社会保険制度]

保険料の負担についての意見がある。

(6) 教育・文化

[学校教育]

少人数クラスや学校の再編成、学校評議員制の導入、小学校での英語授業などが求められている。また、瑞穂町の小・中学生の学力が他に比べて低いのではないかという意見もある。

[生涯学習]

公共施設の利用料金負担や、各種団体の連携などの意見がある。

[社会教育]

図書館の図書やその他のソフトの充実などの要望がある。

[青少年健全育成]

児童館の増設を求める意見や、他人の子どもでも悪いことをしていたら注意したいができないという声もある。

[国際化]

外国語を勉強できる機会があることを活用してほしいという声がある。

[文化・芸術]

スカイホールを有効活用して、小・中学生が芸術に触れる機会をつくってほしいなどの意見がある。

[町民総参画社会]

ボランティア活用の意見がある。

(7) 行政

[行財政の運営]

住民からの相談への対応の改善、町職員が多い、利用しやすいサービス体制などがある。

[町民協働のまちづくり]

町民の意見を反映した町民参加のまちづくりが求められている。また、コストがかかっているかどうかの設問で、町民が気づいているところはよほど問題があるという指摘がある。

[広域行政の推進]

近隣市町と連携した医療機関の整備や福祉サービスなどが求められている。

(8) その他

[駐車場]

駅前への駐車場の整備、役場など公共施設等の駐車場が少ないという意見がある。

[合併等]

市にしてほしいという意見、市町村合併の賛否両方の意見などがある。

[アンケート]

今回のアンケートについて、集計結果の公表や、町政の情報が少なく答えにくい質問があったなどの声が寄せられている。

[その他]

差別のない町、瑞穂町の代名詞がつくようなまちづくりなどの意見がある。

2 自由回答

内容	性別	年齢	居住地区
1. 居住空間			
住宅			
・ 町営団地に住んでいるが、民間の怪しい業者が来るのでこわい。	男	20～29歳	長岡
・ 都営住宅に住んでいる人のマナーがわるすぎる。家賃が安いのにいい車に乗っている。高収入のひとは出て行くべき。都営住宅なんか無くてもいい。	男	30～39歳	不明
・ 高層マンションは、日照権や電波障害等、問題が多いので、瑞穂町は3階建て程度の低層マンションを推進して市街地整備を行う。	男	60～64歳	箱根ヶ崎
・ 都営住宅などの大規模な団地があると良い。	女	30～39歳	長岡
・ 住宅地の近くにモーテルやパチンコ店が多い。子どもの教育環境として良くない。	女	40～49歳	石畑
・ 一戸建て住宅が建ち始めているが、30坪くらいの敷地で、隣との境がない。火災時が心配なので、今後は4～50坪以上で建設するように、指導して欲しい。見た目にも美しいまちづくりを。	女	50～54歳	武蔵野
・ 箱根ヶ崎と東福生の間に駅が出来、基地は民営化されて空港になるという話だったので10年前に家を購入した。それから何の進展もなくたまされた気分である。町内会費や町民税は高額で何の見返りもなく、下水道、都市ガスもなくゴミ出しも有料と設備面でも行き届いていない。家の事がなければすぐに引っ越したい。	女	65～69歳	武蔵野
公園・緑地			
・ 子ども達が安心して遊べる公園を増やして欲しい。	男	30～39歳	石畑
・ 狭山池に年に2～3回魚を放流して頂きたい。	男	30～39歳	元狭山
・ 瑞穂町には癒しの施設がないので、総合自然公園を提案したい。森林浴、虫の鳴き声、草花をゆったりと眺める。	男	50～54歳	長岡
・ 小さな公園の掃除を週毎に持ち回りでやっている。ひと月に一度の掃除は負担が大きい。	男	50～54歳	武蔵野
・ 小さい子が安心して遊べる、広くて木陰のある、楽しい遊具付きの公園が欲しい。	女	30～39歳	殿ヶ谷
・ 転入初期の頃は気づかなかったが、子どもが生まれてみると、家から歩いていけるところに全く公園がない。もう少し各地区毎に緑地公園等増やして頂きたい。	女	30～39歳	石畑
・ 小さい子どもを遊ばせる公園が無く、子育てがしにくい。滑り台が一つあるだけでもずいぶん違うのだが。	女	30～39歳	箱根ヶ崎
・ 公園が少なく、子育てしにくい。公園の設備としては、ベンチ等よりは遊具があった方が有り難い。	女	30～39歳	箱根ヶ崎
・ 瑞穂町は公園等が多く、子育て環境に恵まれている。	女	30～39歳	箱根ヶ崎

内容	性別	年齢	居住地区
・子ども達が遊べる空間や公園が欲しい。空き地を有効活用して広場を早く作ってほしい。人間や青梅、羽村と比べて整備が遅れている。	女	30～39歳	元狭山
・砂場にガラスが落ちていたりするので、どの公園へ行っても子どもが安心して遊べるような環境づくりをして頂きたい。遊具があまり無いところも多く、子どもがあまり満足していない。	女	30～39歳	武蔵野
・子ども達が毎日遊べるような家の近所の公園がほとんど無いのはどうにかならないものか。	女	30～39歳	箱根ヶ崎
・最近大きな木を切ったりするところもあるので、緑の多い町を保存して行って欲しい。	女	30～39歳	箱根ヶ崎
・児童公園で注意の看板があるのに、大人が禁止事項を守っていない。高齢者や子どもが迷惑している。安心して利用出来るようにマナーに気を付けて欲しい。	女	50～54歳	石畑
・公園を作るときは、大きな木を残して、夏場の涼しい木陰を提供して欲しい。	女	50～54歳	長岡
・六道山や狭山池など、環境に恵まれた良い町である。	女	70～79歳	石畑
・子どもが楽しく遊べる公園がない。運動場はあるが、家族でくつろげるところが身近にない。休日はどうしても町外へ出かける事になる。	不明	30～39歳	石畑
・緑の保護を。	不明	不明	箱根ヶ崎
ごみ・し尿			
・ゴミの袋が高い。	男	20～29歳	殿ヶ谷
・ゴミ有料化後で不法投棄が増えそうなので、監視を強化して欲しい。	男	60～64歳	元狭山
・あきる野市のように、ゴミ処理場の建設を阻止したかったができてしまい残念だ。公害の面で、現状の調査結果を公表してもらいたい。	女	30～39歳	長岡
・ごみ処理について、議員に意見を聞いた事があったが、水準が低く、自己満足的なもので、全く町民の現実を分かっていなかった。	女	30～39歳	長岡
・ゴミ問題のマナー認識をはじめとして、町民の意識の格差が大きい。	女	30～39歳	元狭山
・ゴミ袋をもう少し安くして欲しい。	女	40～49歳	武蔵野
・有料ゴミには反対。家計が苦しいのに袋代が高すぎる。値段を下げて欲しい。	女	50～54歳	石畑
・トイレが水洗になるはずが、転入以来30年そのまま。暑い時期はくさいし、虫がたかる。定期的に消毒が必要だが、経費も相当かかる。トイレの事があるので、家に友達を呼ぶのもいやになる。こんな生活にはもう疲れた。	女	50～54歳	石畑
エネルギー			
・都市ガスの整備を早期に。	男	30～39歳	石畑
・都市ガスよりも高額のプロパンガスや、比較的高額な水道料金が負担になっている。	女	30～39歳	長岡
・水道、ガスの料金が他より高い。	女	30～39歳	箱根ヶ崎

内容	性別	年齢	居住地区
環境保全			
・都市化はよいと思うが、瑞穂町の良さ、らしさを今後も残して欲しい。	男	20～29歳	石畑
・転入以来の町の変化でもっとも気になるのは環境破壊。道路敷設や出店のしすぎでどんどん緑が失われていくのは寂しい。人工空間でなく自然空間が必要ではないか。	男	30～39歳	武蔵野
・工場の悪臭を何とかして頂きたい。	男	30～39歳	元狭山
・ときどき匂いがひどく、空気が汚い。環境のパトロールを実施して欲しい。	男	30～39歳	不明
・利便性も良いが下手な商業化工業化は自然に恵まれた瑞穂町の長所を損なうおそれがある。	女	20～29歳	武蔵野
・家庭用の焼却設備でゴミを野焼きするのは、匂いがひどいし、環境問題上どうかとおもうので、やめてほしい。	女	30～39歳	箱根ヶ崎
・健康な生活により生活環境は欠かせない。瑞穂町は工業専用地域に隣接して住宅地があり、窓を開けると騒音等がひどい。化学物質についてもいずれ調査するために毎月資金を積み立てている。	女	30～39歳	長岡
・長年住んだ瑞穂町を転勤を契機に離れる事になり思った事は、町の恵まれた環境。都内であれば有数の高級住宅地に相当する。車が有れば買い物や食事にも便利だし、緑も豊かである。商業化がすすめば、大気汚染等の公害も平行して発生するので、今後も変わらずにこのままであって欲しい。	女	30～39歳	長岡
・持続可能な社会や環境を残せるかどうかは今後大きな問題となるので、環境負荷を無くして自然保護や自然エネルギー活用を。	女	30～39歳	長岡
・長岡4丁目の公園は近くに工場が多いためか、蚊が異常に多い。小さい子どもをゆっくり遊ばせたいのに、子どものまわりに数十匹も集まってきて、必ず何カ所も刺される。保育園でも長岡地区は蚊が多いと聞く。何らかの対策で子どもが安心して遊べる施設の整備を。	女	30～39歳	長岡
・環境問題へのとりくみ。夜の工場からの公害の調査が必要。	女	30～39歳	長岡
・工場の悪臭がひどくて気持ちが悪い。とくに湿度の高い日などは非常に良くない。行政指導で改善させる事がどうしてできないのか。	女	30～39歳	箱根ヶ崎
・大気汚染、環境ホルモン等環境問題に配慮した独自の政策を打ち出せるとすばらしい。	女	60～64歳	元狭山
環境美化			
・瑞穂町のどこでもゴミや犬のフンが多すぎて、不快なのでもっと美化に力を入れて欲しい。	男	20～29歳	元狭山
・犬の散歩をするときのフンの後始末や、ネコの放し飼いで外にフンをさせるのが困る。	男	65～69歳	元狭山
・ごみのポイ捨てがないまちに。	女	20～29歳	石畑
・ペットを飼う人のマナーがわるい。民家の前での犬の粗相をそのままにする人も多い。	女	30～39歳	箱根ヶ崎
・商店の主人が残堀川にゴミをどんどん落としていたので、それ以来その店を使うのはやめた。川も汚れるはずだし、商店の活気が無くなるのもこういうところに原因がある。	女	65～69歳	石畑

内容	性別	年齢	居住地区
・ 町にゴミが散乱しすぎている。	女	65～69歳	箱根ヶ崎
景観			
・ 空き地に雑草が茂っていて、管理者に連絡しても何もしてくれない。通行の妨げになるだけでなく、害虫が発生して迷惑。定期的に町からの指導を望む。	女	30～39歳	石畑
上水道			
・ 水道料金が他所の市と比べて高額すぎる。羽村市の3倍は高い。家計を圧迫して生活しにくい。	女	30～39歳	箱根ヶ崎
・ 水道の水の質が非常に良くない。飲み水は一晩取り置いて浄化しなければとても飲めない。シャワーの水も匂いがきつい。一度水質検査の必要がある。	女	30～39歳	元狭山
・ 水道料金について。一人暮らしや留守の多い世帯向けに、使用量0～20の料金区分をもっと細密化して頂きたい。節水の奨励の面からも、過分の支払いへの不満も解消される。	女	65～69歳	武蔵野
下水道			
・ 町全体の下水道設置が必要。	男	40～49歳	元狭山
・ 青梅市でやっている家庭排水、浄化槽清掃費の補助制度を作してほしい。	男	50～54歳	長岡
・ 大至急下水道を使えるようにお願いしたい。	男	50～54歳	長岡
・ 下水道環境が悪い。	女	30～39歳	元狭山
基地対策			
・ ヘリコプターの低空飛行に怒りを覚える。	男	30～39歳	箱根ヶ崎
・ 横田基地の民間利用に心配している。これ以上飛行機の騒音が増えてはたまらない。発着本数が減るような努力を近隣市町と連携して行ってほしい。	男	30～39歳	箱根ヶ崎
・ 基地の夜間飛行の騒音問題の早期解決を。	男	30～39歳	箱根ヶ崎
・ 基地のある町として、今後は基地とのうまい共存が重要。文化交流や商業推進等これまで行っていない部分について対策が必要。	男	30～39歳	武蔵野
・ 横田基地や騒音に悩まされている。夜8時以降はひかえて欲しい。自宅の真上をものすごい騒音で飛行しているので困っている。	男	40～49歳	長岡
・ 防音壁の工事後、家の中に外の振動がすごく響くようになり、家の壁にもひび割れができて困っている。防音壁の工事にあたって町民アンケートなどは事前にあったのか。	男	50～54歳	箱根ヶ崎
・ 事故の可能性は確かにあるが、横田の米軍施設を利用出来るようにすれば、返還が早まったり、米軍の暴走が抑制されるのではないかと。	男	60～64歳	長岡
・ 横田米軍の飛行機が少々やかましいが、有る程度は仕方ないと思っている。	男	70～79歳	箱根ヶ崎
・ 横田基地の騒音については、飛行場がある以上有る程度は仕方ないと思う。しかし飛行機のまき散らす排気による大気汚染については問題がありそうなので、マスクミの利用も含めて、調査し公表して頂きたい。	男	70～79歳	武蔵野

内容	性別	年齢	居住地区
・横田基地の軍民共用に町民は反対していると言うが、中には賛成しているものもいる。騒音や事故の問題はあるが、民間利用が進めば町の発展にもつながるので、メリットも大きい。これについてまた別途アンケートをするべきでは。	女	20～29歳	長岡
・横田基地の軍民共用化には絶対反対の方針で。	女	20～29歳	武蔵野
・基地には絶対反対。軍民共用などとてもない。都知事の言いなりにならないでもらいたい。	女	30～39歳	箱根ヶ崎
・夜9時以降の基地の利用や、基地の軍民共用には反対。	女	30～39歳	箱根ヶ崎
・飛行機の発着が多い。飛行する位置も以前と比べ八高線よりになり、住宅地の上を飛んでいる気がする。どうにかならないのか。	女	40～49歳	箱根ヶ崎
・基地の訓練飛行による騒音を無くして欲しい。	女	50～54歳	箱根ヶ崎
・瑞穂町に20年も住んでいるのに、まだ防音工事がしてもらえない。昭和60年に降に瑞穂町に転入した住人には、飛行機の騒音を承知で住んだのだから工事を助成出来ないと言われた。以前から住んでいる世帯には2回目の工事やクーラー取り替えの話が来ている。家を買うときにそんな話は一度も聞いていない。不公平は無くしてもらいたい。	女	50～54歳	箱根ヶ崎
・防音工事の申し込みをしたが、国の予算がないという事で断られた。備品の変更も申し込みから3年かかるといふ。できるだけ早期の改善を求める。	女	60～64歳	箱根ヶ崎
・福生、羽村と比べて、基地の騒音対策が遅れているのではないかと。	女	70～79歳	石畑

2. 都市基盤

土地利用

・公共施設が一箇所に集まりすぎている。	男	30～39歳	長岡
・施設の集中化を優先して人が集まるまちづくりを。他の市町村のモデルになるような大きい事業展開を望む。	男	30～39歳	長岡
・役場、保健センター、郵便局、銀行、診療所をすべて同じ敷地に建てて、同じ駐車場で利用出来たら素晴らしい。	男	30～39歳	長岡
・どうして農業地帯にグラウンドを作るのか。畑にボールが入って荒らされる。	男	50～54歳	長岡
・環境問題や食糧問題の面から、農地を活用して田園都市のまちづくりを。	男	60～64歳	箱根ヶ崎
・自然と調和したまちづくりを。	男	65～69歳	箱根ヶ崎
・農地の荒廃を防ぐために、瑞穂町の農地は6メートル道路の分を確保すれば宅地利用可能になるように設定してもらいたい。	男	65～69歳	長岡
・農地調整区域や休耕地を使って、高齢者福祉施設や病院を作って頂きたい。介護が必要になったときにいつでも安心して入所出来る場所があると良い。	男	70～79歳	元狭山
・町の開発に地域間で格差がある。駅や役場周辺は良いが、長岡地区は交通手段も少なく、車の通行量が多いのに道は狭いまま。町全体が住みよくなるような配慮を。	女	20～29歳	長岡

内容	性別	年齢	居住地区
・公園が少なく歩道が途中で途切れている箇所が多すぎる。子どもを安心して遊ばせられない。	女	30～39歳	箱根ヶ崎
・二本木地区は人口が増えているので、郵便局を作ってほしい。	女	30～39歳	元狭山
・瑞穂町の駅というと箱根ヶ崎になるのかも知れないが、公共施設がどれも駅から離れすぎていて不便。役場、図書館、体育館、健康保健センター等。とくにスカイホールは何故あの場所にあるのか分からない。あれでは立川や秋川のホールようにはならないだろう。駅が新しくなる計画が以前からあったはずだが、これにあわせて公共機関を駅周辺に移転して頂きたかった。そうすれば人が集まり、商業施設も増えてくる。	女	30～39歳	武蔵野
・駅周辺に活気がない。	女	30～39歳	箱根ヶ崎
・公共施設があまりにも不便なところに集中しすぎている。図書館、体育館、郵便局はほとんど隣の市を利用している。自分のまわりの人も皆瑞穂町には足が向かないという。施設建設の場所に疑問がある。	女	30～39歳	箱根ヶ崎
・公共施設がすべて箱根ヶ崎中心にあり、車でなければ行けない。もっと色々な場所に設置して欲しい。	女	30～39歳	元狭山
・町内の空いている土地にもっと広い公園やデパート、スーパーを作らないと、市民がよそに流れてしまう。	女	60～64歳	元狭山
・陸の孤島といわれて40年たつが、何の変化もないままである。交通や環境等、住みよいまちづくりの施策を望む。	女	60～64歳	武蔵野
・町民会館やスカイホール他の公共施設が、住んでいる武蔵野地区から遠いため、町に30年も住んでいるが利用出来ない。	女	60～64歳	武蔵野
・スカイホールに高齢者が楽に行けるような具体策が欲しい。エスカレーターの設置等。	女	70～79歳	箱根ヶ崎
・休耕農地を、農協を含め町の管理でみどり農園として開放してもらいたい。	女	70～79歳	長岡
土地区画整理			
・町全体の区画整理が必要。	男	40～49歳	元狭山
・住所が以前は南平3丁目だったのに、区画整理後に西松原になってしまった。住所表記がとても長くなって不便なので、元に戻して欲しい。	男	50～54歳	箱根ヶ崎
・地図にも記載されていない町名がいまだに使われている。	男	60～64歳	長岡
・区画整理の件で、官僚的な進め方で思いやりもないし相手の立場に立った配慮が無く寂しく思う。	男	70～79歳	箱根ヶ崎
・箱根ヶ崎の東松原と西松原は、住所表示が長くて不便。どうにかならないものか。	女	30～39歳	箱根ヶ崎
・武蔵野地区は、私道に面した住宅が多く、土地の評価額が低い。昔の事とはいえ、不法な事を放置してきた行政に責任がある。区画整備を優先的に行ってほしい。	女	30～39歳	武蔵野
・区画整理は本当に必要だったのか疑問だ。地所の移動後に町から出るお金だけではとても足りず、色々とお費がかさむ。とくに移動しなくても道路を造れるような所もあった。本当に町民の事を考えての事なのか。	女	50～54歳	箱根ヶ崎

内容	性別	年齢	居住地区
<ul style="list-style-type: none"> 区画整理がなかなか進んでいない。草が生えっぱなしで防犯上良くないし、道路もがたがたで歩くだけでケガをしそう。ほこりが舞うので水でもまいて欲しい。この地域には高齢者も多いので配慮して欲しい。 	女	50～54歳	箱根ヶ崎
道路			
<ul style="list-style-type: none"> 横田基地沿いの箱根ヶ崎駅～東福生駅間の石畑北踏切は、歩道が無く交通量が多いために、歩行者や自転車にとって非常に危険な区域になっている。対策を要望する。 	男	20～29歳	武蔵野
<ul style="list-style-type: none"> 道路が狭い。歩行者が安心して歩ける道を増やして欲しい。 	男	30～39歳	石畑
<ul style="list-style-type: none"> 電柱の違法チラシや捨て看板対策に、各町内でボランティアを募集して撤去してはどうか。 	男	30～39歳	箱根ヶ崎
<ul style="list-style-type: none"> 河川の整備にはお金をかけるが、それより道路の整備を優先して欲しい。役場に依頼すると、予算がないのでできないと言われた。 	男	30～39歳	箱根ヶ崎
<ul style="list-style-type: none"> 旧青梅街道の拡幅と歩道設置を望む。 	男	30～39歳	石畑
<ul style="list-style-type: none"> 新青梅街道の歩道の捨て看板は、沿道の他市町に比べて瑞穂町が多くてだらしがない印象を受ける。宅地から出た木の枝が道路を狭くしているところが多数有るが、町の対策はどのようなものなのか。カーブミラーすら見えないところもある。町の道路を駐車場代わりにしている人がいるが、青梅市のように警察と協力して違反をなくす事は出来ないのか。 	男	30～39歳	箱根ヶ崎
<ul style="list-style-type: none"> 町内の道路が、歩道が狭く通行しにくい。自転車用のレーンもない。同じ道路で瑞穂町から出たとたんに歩道が広くなり自転車レーンができる区間が多々ある。子どもや高齢者に配慮した行政を望む。 	男	30～39歳	元狭山
<ul style="list-style-type: none"> 新青梅街道の捨て看板の具体的な対策を望む。 	男	40～49歳	石畑
<ul style="list-style-type: none"> 旧青梅街道の歩道の整備が必要。 	男	40～49歳	箱根ヶ崎
<ul style="list-style-type: none"> ガードレールをつけるなどし、歩道と車道の区別をつけて欲しい。 	男	40～49歳	元狭山
<ul style="list-style-type: none"> 住宅地の道路が狭くて車のすれ違いが困難なほどである。道路に違法に駐車している車が多く、緊急車両の通行時など妨げになるので規制が必要である。とくに夕方から朝にかけては常習化している。 	男	40～49歳	武蔵野
<ul style="list-style-type: none"> 役場の駐車場が狭くて使いにくい。道路も入り組んでいるところが多い。 	男	60～64歳	長岡
<ul style="list-style-type: none"> 現在の車社会にあって、役場の駐車場が狭いのはいかなものか。また歩道や電柱の教育上良くない看板が多いので撤去を徹底して欲しい。 	男	65～69歳	箱根ヶ崎
<ul style="list-style-type: none"> 車いすで通行しやすい歩道の設置を具体化して欲しい。 	男	65～69歳	元狭山
<ul style="list-style-type: none"> 旧青梅街道の歩道の整備を。 	男	70～79歳	箱根ヶ崎
<ul style="list-style-type: none"> 都道なのでどうにもならないかも知れないが、旧青梅街道を整備して欲しい。自転車で走っていても、車を運転していても、どちらにしてもこわい。 	女	20～29歳	石畑
<ul style="list-style-type: none"> 小さい子どもの手を引きながらベビーカーを押すには、歩道が危険すぎる。バス停やミラーが障害物になっていると、歩道から通行量の多い車道におりねばならない。歩道の整備を望む。 	女	20～29歳	元狭山

内容	性別	年齢	居住地区
・新青梅街道沿いの歩道を整備して、自転車が安全に通行しやすいようにして頂きたい。せまくて、草も生え放題であぶない。また、宿西の交差点がゴミ捨て場のようになっていて、治安がわるそうでこわい。	女	30～39歳	箱根ヶ崎
・二本木の工業地帯について、車道と歩道の整備が整っていないところがある。子どもの安全な通行に良くないので対策願いたい。	女	30～39歳	箱根ヶ崎
・雨の日の水はけが非常にわるい。	女	30～39歳	元狭山
・瑞穂町は道路に歩道がないところが多いので整備する必要がある。旧青梅街道や線路付近、商店街など、危ない箇所が多く、子どもが事故に巻き込まれないかいつも心配である。	女	30～39歳	箱根ヶ崎
・雨天時の道路の整備をきちんとして欲しい。	女	30～39歳	箱根ヶ崎
・遊歩道の整備を。木がうっそうと茂りすぎている。まわりから見えにくいので、子どもを一人で歩かせるのがこわい。砂利道なので、幼児用のバギーや車いすだと通りにくい。犬のフンも多くていやになってくる。雑草も多く汚らしい。いっそアスファルトで舗装してしまえばどうか。	女	30～39歳	長岡
・道路の整備をもっと良くして欲しい。雨水排水整備。あちこちに大きな水たまりや冠水があり、交通の妨げになっている。歩道ももっと広げないと通学路でさえ人がすれ違えない。交通安全にもボランティア活用等の具体的な対策が欲しい。	女	30～39歳	元狭山
・道路環境が悪い。	女	30～39歳	元狭山
・道路歩道の整備。	女	50～54歳	箱根ヶ崎
・自転車や歩行者にとって、歩道の整備がわるすぎて危険な箇所が多い。	女	50～54歳	元狭山
・道路も良くなっているので、個別に作るのではなく、近隣市町村と連携して利用しやすいものを作って頂きたい。	女	60～64歳	箱根ヶ崎
河川			
・残堀川の工事の意味が分からない。近隣住民には必要ない。近くの道路は曲がりくねったまま舗装してあって不便なままになっている。	女	30～39歳	箱根ヶ崎
公共交通			
・八高線が不便である。駅舎改築とともに、本数も増やして頂きたい。	男	20～29歳	箱根ヶ崎
・車がないとどこにも行けないので不便である。	男	20～29歳	長岡
・八高線の本数を増やして欲しい。交換待ち時間も長いし、終電が早すぎる。	男	30～39歳	石畑
・八高線の複線化と、モノレールの延伸を早く進めて頂きたい。	男	30～39歳	石畑
・瑞穂町は極端に交通が不便。とくに元狭山地区の西武バスは、1日に6～7運行で仮に往路で使った場合、復路のバスの運行が少ないため、使用するだけ不便になる。八高線の運行本数も、現在の2倍はあって良い。終電の時間も中央線や青梅線に比べて約2時間も早いため23区内や多摩東部での勤務には都合が悪い。八高線利用という理由で就職できないケースが今でもある。	男	30～39歳	元狭山

内容	性別	年齢	居住地区
・元狭山地区は過去に埼玉から都に併合した経緯もあり、地理的に市街化が遅れている。なかには騒音や悪臭等で問題を抱える地域もある。とはいえこのところ次第に住宅も増えてきているので、町内循環バスを運行して交通の便の悪さを解消して頂きたい。箱根ヶ崎から金子駅のあいだに新駅ができると聞いたがこれは本当なのか。	男	30～39歳	元狭山
・交通の便がわるすぎる。モノレールの誘致や八高線の複線化を。	男	30～39歳	武蔵野
・八高線の朝の本数を増加して欲しい。	男	30～39歳	石畑
・モノレールを箱根ヶ崎まで延長する。	男	30～39歳	石畑
・交通の便を改善すれば、自然と人の出入りは多くなる。個人的にはJR東日本に訴えているが、町の声として働き掛けもして頂きたい。	男	30～39歳	箱根ヶ崎
・バスや電車等、交通の便の悪さの改善を。	男	30～39歳	箱根ヶ崎
・八高線の複線化と、モノレール誘致の話はどうなったのか。	男	30～39歳	長岡
・駅の新築は喜ばしいが、デザインが北八王子の駅のように、画一的。もう少し独自性のあるものに出来なかったのか。	男	30～39歳	元狭山
・箱根ヶ崎駅と東福生駅のあいだに新駅を開設して欲しい。	男	30～39歳	武蔵野
・四小前からの羽村駅行きのバス便を増やしてもらいたい。	男	30～39歳	武蔵野
・八高線の複線化と増発の具現化を望む。	男	40～49歳	石畑
・箱根ヶ崎駅の新築に留まらず、八高線の増発をセットにして欲しい。	男	40～49歳	箱根ヶ崎
・鉄道は重要だが、八高線を利用した事のない行政担当者には問題の大きさが分からないのではないのか。	男	40～49歳	元狭山
・箱根ヶ崎駅からのバスを増便して欲しい。車が運転出来ないものには交通の便が悪すぎる。高齢者でも一人で出かけられるようにして欲しい。	男	40～49歳	元狭山
・電車の増便はもちろんだが、モノレールの駅が早くできると良い。駅の新築に併せて、駅前の商業施設整備を。タワー式の駐車場や駅ビルなどで近隣市からも集客を。	男	40～49歳	元狭山
・駅舎の改修に併せて、駅名を瑞穂等に改名してはどうか。	男	50～54歳	石畑
・箱根ヶ崎から小手指方面のバス便を増設してもらいたい。	男	60～64歳	元狭山
・公共施設はあるのだが、遠すぎて利用出来ない。そのための交通機関もない。何か対策が欲しい。	男	70～79歳	箱根ヶ崎
・公共施設の充実があっても、交通の便が悪く利用が困難なので、全くその恩恵にあずかれない。送迎バスの拡充等考慮すべきである。	男	70～79歳	箱根ヶ崎
・八高線複線化の早期実現を。	男	70～79歳	箱根ヶ崎
・八高線の本数を増やし、バスを近隣の駅に接続して欲しい。労働者と学生にとって非常に住みにくい原因になっている。	女	20～29歳	殿ヶ谷
・八高線の本数が少なすぎる。一本逃すと大幅に遅刻するし、終電も早すぎる。駅が新しくなるのも嬉しいが、とにかく早期の複線化を望む。	女	20～29歳	石畑
・交通の不便が解消されなければ、町の活性化は進まない。	女	20～29歳	石畑

内容	性別	年齢	居住地区
・ とくに電車。交通の便が悪すぎる。都内からだとただでさえ時間がかかるのに、拝島での接続が非常に悪く何十分も待たされる。早く複線化して本数を増やして欲しい。	女	20～29歳	元狭山
・ 交通機関が弱すぎる。朝晩のラッシュへの対応も真剣に考えて頂きたい。漠然とした事を改善するより、小さな事でもはっきりした点から改善を。	女	20～29歳	元狭山
・ 八高線の本数をもっと増やして欲しい。	女	20～29歳	元狭山
・ モノレールを早く整備して欲しい。	女	30～39歳	殿ヶ谷
・ 八高線の本数を五日市線と同じくらいでいいので増やして欲しい。出来れば拝島～箱根ヶ崎間の複線化も。元狭山地域はバスが少ないので本数を増やしてもらいたい。	女	30～39歳	元狭山
・ 箱根ヶ崎駅以外にも、モノレールや電車の駅を作って欲しい。バスの本数や停留所も増やして頂きたい。	女	30～39歳	元狭山
・ 八高線の本数が少ないため、青梅線の羽村、昭島の駅の方をよく利用する。バスも本数が少なく使いづらい。モノレールもいつになったら利用出来るのかわからない。せめてマイカーに頼らずにすむ、町内循環バスがほしい。	女	30～39歳	殿ヶ谷
・ 新しい駅舎に期待する。	女	30～39歳	箱根ヶ崎
・ 八高線の本数を増やして欲しい。	女	30～39歳	箱根ヶ崎
・ 立派な駅舎が出来るが、それに伴って電車の利用者が増えるとは思えない。駅前活性化には期待するが。	女	30～39歳	箱根ヶ崎
・ 八高線の本数が少なすぎて交通の便が悪い。	女	30～39歳	箱根ヶ崎
・ 八高線はもう少し本数が増えないものか。	女	30～39歳	箱根ヶ崎
・ 交通の便が悪いので、八高線複線化とバスの増便を。	女	30～39歳	武蔵野
・ 町に高齢者向けのバスがあるが、これから町を支えていく子ども達にも使用すれば、大きくなってから町に関心が出てくるのでは。	女	50～54歳	箱根ヶ崎
・ 八高線の複線化の早期実現を。	女	50～54歳	箱根ヶ崎
・ 通勤通学でのバス利用者にとっては、交通の便があまりに悪くて閉口する。	女	50～54歳	元狭山
・ 八高線、箱根ヶ崎駅の工事完成にあわせて、電車の本数を増やして頂きたい。	女	50～54歳	武蔵野
・ 町内の循環バスが欲しい。	女	60～64歳	石畑
・ 電車の本数を、朝晩だけでなく全体に増やして欲しい。	女	60～64歳	石畑
・ どの施設に行くのにも交通の便が悪い。町内の循環バスがあると良い。	女	65～69歳	長岡
・ 駅に駐車場がないので、つい町内でなく小手指の駅を利用してしまふ。新駅の設置に合わせて駐車場の整備を希望する。	女	70～79歳	元狭山
・ 老人夫婦なので車もなく、公共施設をほとんど利用出来ない。スカイホールに初めて行き、あまりに立派だったので驚いた。健康診断を受けるにも福生の病院を利用する事も多い。交通が不便なのが原因なので、町内循環バスを出して欲しい。	女	70～79歳	武蔵野
・ 八高線を複線化して本数を増やして欲しい。	不明	30～39歳	武蔵野

内容	性別	年齢	居住地区
防災			
・ 防災無線の放送が早口すぎて良く聞き取れない。	男	20～29歳	武蔵野
・ 防災放送の有線が以前あったが、この試みはよいと思う。緊急連絡の屋外放送よりも、情報の精度が高い。運営の予算的な面から縮小は仕方ないと思う。今後もこれに変わるものでよいから、緊急時通報用の無線やランプ等何らかの対策があると心強い。	男	30～39歳	箱根ヶ崎
・ 防災放送について、各家庭の防音工事が進んでいて聞き取りにくい状況にある。無線で各戸に設置するなどの対策が必要である。	男	70～79歳	箱根ヶ崎
・ 大雨で道路がすぐに水浸しになる。もっと対策を。	女	20～29歳	長岡
・ 水害対策について。ビューパークを山を崩して作ったせいかどうかは分からないが、雨が降ると、旧日光街道、青梅街道の交差点が川のように水浸しになって、大きなブランターもどこまでも流れていってしまうほどである。残堀川の整備も含めて対策を望む。	女	30～39歳	箱根ヶ崎
・ 瑞穂町は文化的な感じは少ないが、防災無線などの活用で安全面では安心感がある。	女	30～39歳	武蔵野
・ 火災や防災の放送の内容について、何を言っているのが良く聞き取れない。スピーカーの数を増やせばよい。	女	50～54歳	元狭山
・ さかえ町の都営アパート近辺は、火災のお知らせ等のスピーカーからの放送が聞き取りにくい。防火用水や消火器の場所を知りたい。空き家のまわりや道路に面しているところの樹木は、近所では言いにくいので、町の方から指導して頂きたい。	女	60～64歳	武蔵野
・ 災害時には大勢の職員の手が必要になると思うが、臨時職員では当てにならないので、事前から準備しておいて頂きたい。	女	70～79歳	殿ヶ谷
・ 町で夕方5時に鳴る鐘の音について。あちこち旅行していると、町によって音楽も異なる。山梨県の道志村では夕焼け小やけが流れていた。聞いてみるとどこかで懐かしく和ませられるので、瑞穂町も音楽を鳴らしてみてもどうか。	不明	30～39歳	箱根ヶ崎
情報化			
・ 光ファイバー回線の導入について町に問い合わせると、商工会の委託業務であるという返答。商工会の方でも動きがない様子だが、進んでいるのか。西多摩郡では二つの町が光ファイバー回線導入済みなので、方法等聞いてみたのだろうか。	男	30～39歳	武蔵野
・ 各家庭にパソコンが欲しい。	男	30～39歳	長岡
・ IT時代にあわせて、町会議員のホームページなど進めて頂きたい。	男	65～69歳	長岡
・ 光ファイバー回線を導入して欲しい。	女	30～39歳	武蔵野
3. 生活環境			
コミュニティ			

内容	性別	年齢	居住地区
・町内会や自治会の活動に参加したいと思うが、なかなか出来なくて残念。もう少し垣根が低いと入りやすいのかも知れない。	男	30～39歳	箱根ヶ崎
・瑞穂町には世代や地域を越えた交流が少ない。転入するまで他所でボーイスカウトのリーダーをしていたが、学校を越えた同世代の活動が多かった。	男	30～39歳	武蔵野
・町民運動会はやめた方がよい。町内会の行事も多いが、出る人がいつも決まっているので、やっても意味がない。	男	30～39歳	箱根ヶ崎
・まちづくりへの町民参加に、高齢化を併せて考えて欲しい。ひまでパチンコばかりしている高齢者をもっと町内会等に参加させて楽しみを分けて欲しい。町内会の役を何十年もやっている人がいるが、苦労もあると思うが、やりがいの面から、持ち回りでやって頂きたい。	男	60～64歳	箱根ヶ崎
・新規参入者には、町内会名の区分が判りにくい。	男	60～64歳	長岡
・自治会の体質が保守的で、よそ者の参加にきびしい。	男	70～79歳	長岡
・地域活動への取り組み等が、もっと活動的な町になる事を望む。	女	20～29歳	長岡
・町毎の夏祭りに参加したいが、日時や場所が全く分からず、町民なのに疎外感を覚える。広報等で町内のイベントの告知をして欲しい。	女	20～29歳	元狭山
・子ども会に加入してはいるが、同じ学年の子がいなくてつまらない。町内会をくっつけたりできないのか。	女	30～39歳	殿ヶ谷
・共働きの家庭でも地域活動に参加出来るように、情報や仕組みの面で配慮を。	女	30～39歳	長岡
・地域通貨を導入するなど、人の交流が広がる仕組みの試み。	女	30～39歳	長岡
・コミセンは一小地区や都営付近にはあるが、位置に偏りがある。四小付近に分室があると非常によい。	女	30～39歳	箱根ヶ崎
・排他的で付き合いのせまい地域性で、どここの嫁、せがれという風にすぐに身元が割れる。一方で安心だが、反面自由な発言は妨げられる。いまだによそものという言葉が生きていて、よそ者に分類されたひとを低く扱い、積極的に交流を持とうとしない。このような地域性がある限り、発展は望めないのでは。	女	30～39歳	箱根ヶ崎
・地区会館の利用にあたり、地元で昔から住んでいる人達の視線などが口うるさい感じがする。新しい人達の受け入れ態勢があると、色々な情報やイベントも活発になってくるのではないかと。とにかくアパート等の住民等を積極的にイベント等に誘って欲しい。スカイホールもうまく地元の力を取り込んで利用すればよい。	女	30～39歳	箱根ヶ崎
・障害児を抱えて一緒に通学したりするので、なかなか地域で活動出来ないが、地域の人みんな顔見知りでお互いに声を掛け合う関係が出来たらよい。不審者対策や青少年の育成にもなる。	女	30～39歳	長岡
・ゴミ収集やボランティア等コミュニティ活動の面で近隣市に遅れている感じがする。	女	40～49歳	箱根ヶ崎
・新住民と旧住民の間の意識の差が大きい。もっと開かれた都市になってもらいたい。	女	50～54歳	長岡
・転入して間もないが、自然に恵まれた良い町で住みやすく気に入っている。今後は地域活動に興味がある。	女	60～64歳	箱根ヶ崎

内容	性別	年齢	居住地区
・町内会は必要ない。回覧板は利用されていない。	女	65～69歳	箱根ヶ崎
・交通の便が悪く、これという地域密着型の商店もない。日常生活の買い物も隣の町まで車で行き、近所の人と会う事もなく会話もないので、まわりにどんな人が住んでいるのか情報もない。災害時にうまく地域ぐるみの助け合いができるのかと思うと不安になる。	女	70～79歳	長岡
スポーツ・レクリエーション			
・町営グラウンドを借りるに当たっては、きちんと書類を作ってお金も払っているにもかかわらず、先日きちんとした書式の書類が同じ時間に二つあって混乱した。このような事が割と頻繁にあると聞いている。管理をしっかりとやっていただかないと困る。	男	20～29歳	箱根ヶ崎
・中央体育館の利用予約について。3日前までしか予約を受け付けないのはおかしい。たまに予約されずに空いている時間もある。もっと柔軟に予約に対応出来るはずである。	男	20～29歳	元狭山
・町で野球やサッカー以外のスポーツについても大会を開いて欲しい。	男	20～29歳	元狭山
・室内温水プールを作ってほしい。	男	20～29歳	武蔵野
・グラウンドを使用しない日があるにもかかわらず、連盟などが毎週予約していて、一般利用者は使用料を払ってナイターしか使えない。こちらも休日が日曜しかないで、なかなか予約もできない。せめて電話で仮予約出来ないものか。	男	30～39歳	元狭山
・羽村市のように、格安のスポーツセンターでエアロビクス、健康ダイエット教室等受けられると良い。	男	30～39歳	武蔵野
・既存の体育施設や文化施設には、税金を納めている町民として不満がある。別の所に400メートルのトラックや温水プールを作ってほしい。ビューパークは利用価値がない。サッカーに使うのでグラウンドはぼこぼこになっている。	男	30～39歳	箱根ヶ崎
・町営の長岡グラウンドの管理について疑問。予約出来るかどうか、管理人の気分左右されすぎていておかしい。維持管理の仕方もおかしい。グラウンド利用後にグラウンドで特定の団体と補助金で飲み食いしているように見えるときがあるが、用途は明瞭になっているのか。管理体制を公平にして頂きたい。	男	30～39歳	長岡
・スポーツ施設が少ない。	男	30～39歳	元狭山
・会社員だと時間の制約があり、テニスコートの予約が出来ない。	男	30～39歳	武蔵野
・スポーツ施設を増やして欲しい。	男	40～49歳	元狭山
・武道館の利用について、柔道や剣道はもちろんだが、体育館のほうが適切ではないかと思われる種目の利用は制限した方がよいのだろうか。	男	60～64歳	箱根ヶ崎
・温水プールを作って欲しい。羽村市にあるような器具をつかった運動施設も良い。羽村では働いているひとの利用者も多い。公共施設は高台には作らない方がよい。	男	80歳以上	元狭山
・温水プールやサウナのついたスポーツ施設が安価であると良い。高齢者の健康づくり等で水中歩行用のプールなどがあるとよいのでは。	女	20～29歳	長岡
・中央体育館だけでは不足なので、他にも体育館を作って欲しい。	女	20～29歳	長岡

内容	性別	年齢	居住地区
・羽村市の温水プールのようにスポーツジム等の施設があると便利だと思う。	女	20～29歳	長岡
・町営プールだけでなく、スポーツセンターがあると良い。	女	20～29歳	元狭山
・会館と比べて、グラウンドの管理があまりにも管理人次第になっている。貸す貸さないの判断から始まって、清掃後の費用支払いまで基準があいまいになっている。	女	30～39歳	長岡
・スポーツを通じて子どもが学ぶ事は多い。学校の校庭に照明設備や屋外トイレを設けてもっと整備して欲しい。休日には大人も使えるようにすれば、無駄な出費もひかえられる。	女	30～39歳	石畑
・体育施設が少ないので公式試合等出来ない。有料でよいから立派なものを作り、使用料で運営出来るようにしてほしい。その際よそから来る人の交通の便も考慮して計画して頂きたい。	女	30～39歳	箱根ヶ崎
・中央体育館を新しくして欲しい。既存のものは古くてつかいにくい。高齢者向けの体育施設やジムなど健康づくりの設備導入があると良い。	女	30～39歳	箱根ヶ崎
・中央体育館を建て替えて、多目的に使用出来る総合体育館にして欲しい。	女	30～39歳	箱根ヶ崎
・サークル活動に参加したいが、夜間活動しているところがなかったり、興味のあるものが無くて選べない。	女	30～39歳	元狭山
・自分で健康づくりができるジム等の設備の充実を。	女	30～39歳	元狭山
・ビューパーク競技場のトラックは300メートル。陸連公認の400メートルにすれば、外部の利用者ももっと借りるのではないか。	女	40～49歳	箱根ヶ崎
・中央体育館に昨年まであった健康体操が無くなって残念である。自主運営だと何かと都合が悪い場合もある。参加費を取っても良いので町営にしてみたらどうか。	女	40～49歳	箱根ヶ崎
・瑞穂町には温水プール等、羽村市にあるようなスポーツ施設がないので、都合良く個人利用出来る施設があると良い。	女	50～54歳	石畑
・寝たきりにならないように健康に気を付けている。ジムやプール等の設備が近所にあると健康づくりに都合がよい。羽村が近いので利用しているが、市民と利用料金に差があるので不満を持っている。	女	60～64歳	石畑
・屋内プールが欲しい。近隣の市町村で利用しているが、健康づくりのために年中利用出来るプールは、多くの利用者が見込めるのではないか。	女	60～64歳	箱根ヶ崎
・自分にあった体力づくりを自由にできる、設備の良い総合体育館が欲しい。	女	65～69歳	石畑
・老人で外出の機会が無く、パチンコばかりしてしまうので、有料でいいから狭山池に釣り堀を作ってほしい。その際は、リリースした場合は入漁料だけにするとか、色々工夫して出来るだけ安くしてほしい。外出の機会が増えれば健康的にも充実する。	不明	80歳以上	長岡
イベントと観光			
・町民体育祭に有名人を呼んで欲しい。	男	30～39歳	長岡
・サマーフェスティバルや産業祭で駐車場がないので、ビューパークのグラウンドを開放して欲しい。	男	40～49歳	殿ヶ谷

内容	性別	年齢	居住地区
・ 公共施設を分散化し、駐車場も確保する。役場近辺に集中しており、駐車場が狭いので、遠くの住民はイベントに参加しにくい。体育祭、駅伝、サマーフェスティバルは毎年会場を変えて欲しい。	男	40～49歳	長岡
・ 各種行事があるが、町民に受け入れられていないものは削減して無駄な出費を抑えて欲しい。	男	50～54歳	箱根ヶ崎
・ 箱根ヶ崎のフェスティバルはすばらしかった。植木の無料配付も良かったので続けて欲しい。横田基地からのバンド演奏も良かった。	男	60～64歳	元狭山
・ 町外から瑞穂町を訪れる人が多い町に。	男	65～69歳	長岡
・ スカイホールは交通の便が悪く、高齢者が利用出来ないので、工夫して欲しい。	男	80歳以上	長岡
・ スカイホールのコンサートの入場料が、座席の最前列と後列で全く値段に違いがないのは疑問である。少しでも差をつけた方がよい。またチケットも違うところでも販売したり、広範囲に宣伝した方がよい。	女	30～39歳	殿ヶ谷
・ 長年住んでいるときほど不便も感じなくなってくるが、他の市とくらべると、活気やアピールの点で不足を感じる。公園などももっと活用して休日に集客性のあるイベントを催してはどうか。	女	30～39歳	箱根ヶ崎
・ 福生の七夕や立川の花火などは、夏の行事として楽しみにしているが、交通にはバス便がよいと思う。	女	60～64歳	武蔵野
交通安全			
・ 駅前駐輪所には、原付だけでなく、大きさが同程度の125cc程度の小型スクーターまでは駐車を許可して欲しい。	男	30～39歳	石畑
・ 瑞穂町は小さな町で顔なじみも多く、親戚関係もそろっているのですがずっと住みたいが、不便なのは否めない。このところザ・モールができたり、駅の改築が始まったりと発展的な動きが出てきたが、これに合わせて駐輪場が移動した事で、毎朝踏切付近が大変な事になっている。狭い道で自転車、車、バイクに、大人から小学生まで様々な歩行者がすれ違うため、いつ事故が起こってもおかしくない状況である。小学生の通学時間帯はスクールゾーンにして車の乗り入れを制限してはどうか。一度見てみれば納得すると思う。	女	20～29歳	箱根ヶ崎
・ 青梅街道に面した道路で自動車運転のマナーが非常に良くない。事故の危険性も高いので、何らかの規制をするべき。	女	60～64歳	石畑
防犯			
・ 瑞穂町で空き巣や車上荒らしがあり、治安がわるい印象を受ける。車の事故は大小問わず頻繁にある。何らかの対策を望む。	男	20～29歳	箱根ヶ崎
・ ボランティア活動に興味があるが、活動内容等の情報や広報が少ない。初老でも可能な学校の見回りや防犯活動に参加したい。	男	50～54歳	石畑
・ 夜間散策している方が多い割には歩道が暗く、整備されていない。空き巣も続いているようだが、警察のパトロールにも限界があり、要望には応じられなさそう。	男	60～64歳	長岡
・ 子どもが安心して遊べる町になると良い。	女	20～29歳	石畑

内容	性別	年齢	居住地区
・このところ空き巣やひったくりなどの犯罪が増えているので、町全体で防犯の取り組みを行ってほしい。	女	20～29歳	長岡
・道路に歩道がないためにバイクによるひったくりにあった人がいる。近所に泥棒が入ったので、誰も住んでない空き地は駐車場などにして整備して欲しい。瑞穂町は比較的軽犯罪の少ない町だが、まだまだ安全に一人暮らしが出来る町とは言い難い。街灯を増やして暗い死角を減らして欲しい。	女	30～39歳	箱根ヶ崎
・子どもをねらった犯罪からの、保育園や幼稚園の対策が甘いのではないか。腕に自信のあるシルバーの利用などで警備を強化してはどうか。	女	30～39歳	箱根ヶ崎
・街灯が少なく、防犯上問題がある。	女	30～39歳	箱根ヶ崎
・街灯が少なく、暗くてこわい。	女	30～39歳	箱根ヶ崎
・緑道は昼間はよいが、夜は不審者が通りやすい。	女	30～39歳	長岡
・夜間暗いのでパトロールを強化して欲しい。	女	30～39歳	長岡
・駅前に交番がない。	女	30～39歳	箱根ヶ崎
・夜になると町内がかなり暗いので、街灯を増やして欲しい。	女	30～39歳	箱根ヶ崎
・防犯への行政の意識が低い。小・中学生全員に防犯ブザーを持たせる。通学路に街灯がない区間があるので整備する。空き巣対策をする。	女	30～39歳	箱根ヶ崎
・子どもをまきこむ犯罪が多いので子どもの外遊びもなかなか安心してできない。学童保育や児童館の建設を希望する。とくに4小は他校にくらべ児童数が多いので、場所がない。あすなる児童館までは距離が有りすぎるし、自転車で行くとなると交通安全の面で危険が多い。このような状況では母親が安心して働く事もできない。	女	30～39歳	武蔵野
・防犯対策に力を入れて欲しい。	女	30～39歳	武蔵野
・街灯も増やさないと夜こわくて外出出来ない。	女	65～69歳	長岡
・空き巣に入られたが、警察に通報したのにそのまま何のケアもない。自分にとってはかなり特別な出来事だったのだが、負傷してない程度の事件はありふれているという事なのか。	女	70～79歳	元狭山
葬祭			
・瑞穂葬祭の道開きが一日に三回もあると迷惑だ。	女	20～29歳	元狭山
4. 産業			
商業			
・乳児を抱えているので、すぐ近所に薬屋、ドラッグストアなどの商業施設が欲しい。	男	20～29歳	長岡
・都内のように栄えた町にした方がよい。買い物に行くのに不便で仕方がない。	男	20～29歳	元狭山
・地元魅力的な商業文化施設がない。	男	30～39歳	石畑
・旧青梅街道の商店の建て直しを。	男	40～49歳	箱根ヶ崎
・新青梅街道沿いばかりでなく、国道16号沿いにもレストランなどができるとよい。	男	40～49歳	元狭山

内容	性別	年齢	居住地区
・商店が役場周辺に集中している。バスでわざわざ出向かねばならないので、生活圏内にスーパー等があると良い。また努めており残業等で遅くなると買い物が出来ないの、少し遅くまでやっているスーパーがあると良い。	女	20～29歳	長岡
・羽村まで行かないとCDのレンタル店がない。瑞穂にも作ってほしい。	女	20～29歳	長岡
・箱根ヶ崎駅の周辺にスーパーや買い物が出来るところが欲しい。	女	30～39歳	箱根ヶ崎
・町の中心地に住んでいるのに、歩いていける範囲にスーパーやコンビニがない。	女	30～39歳	箱根ヶ崎
・モールができたので、買い物は便利になった。	女	30～39歳	長岡
・若い世代が住みやすい町になって欲しい。買い物やレジャー（とくにカフェサロン）のために都内へ出なくても、近くで楽しめれば、若いお母さんやOLの方が町に定着するのではないか。	女	30～39歳	武蔵野
・瑞穂町に住んで交通の面だけでなく、あまりに不便が多い。買い物や物価など。	女	30～39歳	石畑
・瑞穂町の商店、観光、施設など、色々な面で考える必要がある。交通の便もそうだが、映画館などがあると良い。何とかしたいと思うが難しい。	女	30～39歳	箱根ヶ崎
・住宅街に商店が少なすぎるが、高齢を迎えたときのことを考えると心配。歩いていけるところに、昔のようにお肉屋、魚屋、八百屋などが有ればいいのだが。	女	30～39歳	箱根ヶ崎
・瑞穂町は広い土地があるので、アウトレットのような企業が来てくれると良い。	女	30～39歳	長岡
・住み始めて20年になるが、あまり魅力がないので、町の中心部である役場の方へ行く事がなかなか無い。ぶらりと町歩きをするには福生に出てしまう。喫茶店や音楽、ギャラリーも多い。スカイホールの活用もパッとせずもったいない。図書館や地区会館などの公共施設も活気がない。図書が少なすぎる。今後の発展に少し期待している。	女	50～54歳	武蔵野
・町内には耕心館、瑞穂斎場、スカイホールなど多くの施設があるが、商業活性につながるよううまく運営して頂きたい。	女	60～64歳	殿ヶ谷
・町内の商店街の統一的な活性化。	女	65～69歳	石畑
・青梅市に近く、またそちらの方が色々便利なので、買い物等何でもそちらで済ませている。	女	70～79歳	長岡
・箱根ヶ崎駅を中心に再開発を行い、商店街の活性化を。あわせて複線化やモノレール誘致、青梅街道の拡幅も課題である。	不明	30～39歳	石畑
・文化や商業の面での発展が望まれる。モールのまわりにシネコンの誘致を。	不明	50～54歳	元狭山
・町内に果物屋、お総菜屋もない。そんな町はないので早く作ってほしい。丸藤の地下があった頃は便利で良かった。	不明	70～79歳	箱根ヶ崎
農業			
・畑の税金を納めたくない。	男	50～54歳	長岡
・酪農の匂いが気になる。	男	60～64歳	元狭山

内容	性別	年齢	居住地区
・担い手の無くなった農地が資材置き場にされている。農地や森林等が多く残る緑豊かな町をめざして欲しい。	女	20～29歳	長岡
・近所で農業猶予を受けている家で、農業委員が見回りに来るときだけ畑を整備している。よそでは少し草が生えているだけでも注意されるのに、管理体制がおかしいのではないが。	女	30～39歳	長岡
・牛小屋の匂いが気になる。	女	65～69歳	長岡
・子どもの頃食糧難を体験したのものとしては、農業の拡大を考え、それに従事する人達（農業後継者）のための環境が必要だと考える。	女	70～79歳	箱根ヶ崎
5. 保健・医療・福祉			
保健・医療			
・産婦人科、耳鼻科等の病院が欲しい。	男	30～39歳	元狭山
・大きい病院が欲しい。	男	30～39歳	元狭山
・総合病院が欲しい。	男	30～39歳	長岡
・年一回健康診断を個人宛に告知して、診断表を出して欲しい。	男	60～64歳	元狭山
・福生病院の充実を。あそこに入院すると生きては帰れないという話もある。	男	60～64歳	武蔵野
・瑞穂町も高齢者のまちなので、総合病院が欲しい。	男	65～69歳	長岡
・医療機関の充実を。福生病院程度だと安心して受診出来ない。青梅総合病院並みにして欲しい。	男	70～79歳	武蔵野
・栗原医院がずっとあるとよい。歯医者は高すぎる。	女	20～29歳	元狭山
・大きな病院が全くない。住民が高齢化しているのに、交通の便の悪さを押しして近隣市町へ行かなければならない。	女	30～39歳	箱根ヶ崎
・子育て中なのでとくに感じるが、町内に総合病院が欲しい。	女	30～39歳	武蔵野
・耳鼻科、産婦人科、皮膚科の病院がない。病気の時こそ町内で見てもらいたい。医療体制の充実を。	女	30～39歳	石畑
・病院の状態に不満がある。福生病院は産科と内科が弱い。青梅総合病院に行く待ち時間は長いし交通の便も悪い。医師も熟練医が少なく、検査器具や施設も不十分である。せめて町内に救急対応の病院が欲しい。	女	30～39歳	元狭山
・介護施設は多いが、病院が少ない。できれば総合病院が欲しいが、せめて中堅の病院がほしい。高齢になると通院の機会も増え、よそまで出かけるのがなかなかないへんになってくる。	女	70～79歳	石畑
地域福祉			
・公共施設にもっとバリアフリーの導入が必要。あまりに段差が多すぎる。	男	40～49歳	殿ヶ谷
・母子、父子家庭や、年金生活者、多子家庭にやさしいまちづくりを。	女	30～39歳	武蔵野
・1人住まいや高齢者2人住まいの家庭には保健婦やお巡りさんの定期的な訪問が必要である。	女	60～64歳	武蔵野

内容	性別	年齢	居住地区
高齢者福祉			
・福祉施設の拡大を。高齢者世帯や介護問題に力を入れて欲しい。	男	30～39歳	長岡
・公共施設の運営にはボランティア等、もっとシルバー人材の活用を。	男	65～69歳	長岡
・今の日本があるのは老人のおかげなので、高齢者福祉に力を入れて欲しい。	男	70～79歳	石畑
・老健や特養の数はあるが、救急対応の病院が少ない。デイサービス含め、医療福祉にもっと力を入れて頂きたい。	女	20～29歳	箱根ヶ崎
・施設の管理清掃等には、派遣労働者ではなく、シルバーを活用して欲しい(有資格者はのぞく)。	女	65～69歳	武蔵野
・デイケア等、福祉施設は内容にもよるが、応分の料金を取って良い。	女	70～79歳	殿ヶ谷
・敬老の日のイベントには大変感謝しているが、財政難の折りであるので、祝い金は無くても結構である。高齢者よりは子ども向けに、例えば出産祝い金等に当ててはどうか。	女	70～79歳	殿ヶ谷
・昨年転入してきて介護のサービスを受けながら一人暮らしをしている。町の事はまだよく分からない。	女	80歳以上	武蔵野
児童福祉			
・乳児を抱え、1年間の育児休暇が終わり次第職場に復帰する予定。行政には不安なく仕事と子育ての両立が出来る環境づくりを期待する。保育施設に入所出来るかどうかについても今から心配している。施設や制度の充実を望む。	女	20～29歳	箱根ヶ崎
・都営住宅、4小近辺の子どもが多い地域に保育園をもっと増やして欲しい。	女	20～29歳	箱根ヶ崎
・保育園の3歳からの年少保育に対応して欲しい。また3歳までは親元で育てる事の大切さをもっと町がPRし、家庭で乳児を育てる環境を支援して欲しい。	女	30～39歳	殿ヶ谷
・友達の孫が長岡保育園に通っているが、食物アレルギーで給食がとれず、代替品を作って持たせているがかなり手間がかかり大変。昨今アレルギーの人は多いと聞くので、各園に栄養士をつけて対応してみてもどうか。	女	40～49歳	武蔵野
障害者(児)福祉			
・所得制限による身体障害者福祉手当の打ち切りは遺憾である。何らかの移行措置があるべき。毎月5500円と少額とはいえ、大事な生活資金であり、使途を計画している人もいる。ぜひとも再考を。	男	40～49歳	殿ヶ谷
低所得者福祉			
・働かずに健康そうなのに、生活保護を受けている人がいる。よく調査して欲しい。	男	60～64歳	元狭山
社会保険制度			

内容	性別	年齢	居住地区
<ul style="list-style-type: none"> 保険料の納入で役場に行くと、根こそぎお金を取られるのでこわい。世の中は、毎月同じだけお金を手に入れられる人ばかりではない。ひと月に10万円も収入がなかったり、アルバイトにしかつけない人もいる。保険料の納入のために医者にもかかれない。13800円を2人分毎月払うくらいなら、目先の歯医者や病院にかかりたい。何年も先の事より今の方が大変なのに。 	女	30～39歳	長岡
6. 教育・文化			
学校教育			
<ul style="list-style-type: none"> 学校教育の充実には関心がある。少子化対策として、1学年ひとクラスにならないように、少人数クラスや学校の再編成も含めて考慮して頂きたい。学校評議員制の推進等も幅広い人材が登用されるよう工夫して頂きたい。 	男	30～39歳	石畑
<ul style="list-style-type: none"> 大学の誘致を。 	男	30～39歳	長岡
<ul style="list-style-type: none"> 地域の小中学校の学力について評判が悪い。通学圏内にまともな私立学校もない。公立学校の教育の見直しを。 	男	30～39歳	長岡
<ul style="list-style-type: none"> 命の大切さや思いやりを学べる教育を、学校でして欲しい。 	女	20～29歳	長岡
<ul style="list-style-type: none"> 横田基地が近くにあり、ネイティブスピーカーが多いのだから、小学校の授業に英語の授業を取り入れて欲しい。 	女	30～39歳	箱根ヶ崎
<ul style="list-style-type: none"> 瑞穂の小・中学校は都内で比較すると学力が低いと聞く。中学校での良くない噂も耳にする。安心して公立の学校に登校させられるように、施設面、教育面、学力面の向上を図って頂きたい。 	女	30～39歳	長岡
<ul style="list-style-type: none"> 昨年転入して子どもが3人いるが、図書館、グラウンド、公園など近くにあり、満足している。3年後には中学校へ通学し始めるが、かなり距離が遠く、自転車通学について心配している。もっと近くに中学校ができればよいのだが。 	女	30～39歳	武蔵野
<ul style="list-style-type: none"> 学校教育は何故こんなにも乱れているのか。そもそも町が教育に関心があるのか疑問に思える。 	女	30～39歳	長岡
<ul style="list-style-type: none"> 教育面での充実を望む。 	女	30～39歳	武蔵野
<ul style="list-style-type: none"> 中学校で教護活動の時間を教育に取り込んでどうか。子どもが皆できるようになれば心強い。 	女	70～79歳	殿ヶ谷
生涯学習			
<ul style="list-style-type: none"> 公共施設については利用料金を払う事にしても良いのではないか。小・中学生の行事やスポーツ活動に関しては開いていれば無料で利用出来る方が、活発に交流活動ができて、教育的な視点からも良いのではないか。 	女	30～39歳	箱根ヶ崎
<ul style="list-style-type: none"> 生涯教育事業の各種団体は、別個に動くのではなく、もっとお互いにつながりをもって動けば、より効果的にPRできる。 	女	40～49歳	箱根ヶ崎
<ul style="list-style-type: none"> コミュニティセンターが出来て、証明書等の取得に役場まで行かなくて済みとても助かっている。ホールものびのび趣味の練習が出来てたいへんよい。 	女	60～64歳	武蔵野
<ul style="list-style-type: none"> 就労したてのまだ若い段階から、老後の事を自己責任で考える事ができるような指導を行うべき。 	女	80歳以上	武蔵野

内容	性別	年齢	居住地区
社会教育			
・ 図書館のさらなる充実を。図書の冊数が少なく、建物の構造も使いにくい。	男	20～29歳	元狭山
・ 図書館が不十分なので、大人向けの本や自習室の設置を検討して頂きたい。	男	30～39歳	殿ヶ谷
・ 図書館を駅近くに移設して欲しい。立地が山の上だと、利用者も限られるし、書棚や読書スペースも少なくなる。	男	30～39歳	箱根ヶ崎
・ 図書館には図書以外の貸出しソフトが少ない。施設よりも教育面を重視して欲しい。	男	30～39歳	武蔵野
・ 公共施設の整備は投資効果を見極めて。ビューパークや耕心館はもっと敷居の低い施設にしなければ、利用が見込めないし、駐輪場にも3億近い投資はお金をかけすぎ。読書スペースの少ない図書館や、古びた体育館の更新を優先すべき。	男	50～54歳	元狭山
・ 教育水準が低いので、もっと力を入れて欲しい。図書館が充実していないのでレポートが書けない。リクエストしても反応が遅い。勉強室が暗い。	女	20～29歳	石畑
・ 羽村市と比べて図書館の設備が悪い。町民の利用しやすさを。子ども達がゆっくり読めるスペースを作ったり、本の配置に工夫をしたりして欲しい。	女	30～39歳	箱根ヶ崎
・ 図書館にある本が古い。小・中学生むけの本を充実させて欲しい。	女	30～39歳	箱根ヶ崎
・ 図書館の充実度が低い。羽村の方が専門的な資料が多いので、そちらを利用する事が多い。もっと蔵書を増やして欲しい。	女	30～39歳	元狭山
・ 公共施設は図書館くらいしか使わないが、本があまり無いし、スペースがせまい。児童館や図書館はもう少しいいものを作っても良いのでは。	女	40～49歳	長岡
・ コミュニティセンターの図書館の前任職員は気配りの行き届いた人で、こちらが注文書を出す前に注文しておいてすぐ読めるようにしてくれたり、館内にいるいると気を遣っていたりと、本当のコミュニティがあった。今はただ本を借りるだけになってしまった。	女	40～49歳	武蔵野
・ もう少し規模の大きい図書館が欲しい。	女	50～54歳	箱根ヶ崎
・ 図書館に活気とやる気を充実させて頂きたい。	女	50～54歳	武蔵野
・ 現在の図書館は、資料の整理に問題があり、必要な本を探すのに苦労する。職員が怠けているのではなく、図書館があまりにも貧弱なのが原因。本が本の上に乗りに、限界まで本棚に詰め込んである。町長や議員は図書館を利用しないのではないか。体育館もしかり。何とかしてほしい。	不明	40～49歳	箱根ヶ崎
青少年健全育成			
・ 低学年層の教育、しつけに町が本腰を入れてお金と人手をかける。しつけの出来ない親対策に。	男	30～39歳	石畑
・ 瑞穂青少年吹奏楽団には町から補助金を出す必要はない。図書館の視聴覚室を私物化し、騒音をかき鳴らしている。	男	40～49歳	箱根ヶ崎
・ 2小や4小の子ども達も全員が不公平なく遊べる児童館をもうひとつ増やせないか。	女	20～29歳	長岡
内容	性別	年齢	居住地区

- ・子どもの性格が素直でなく非を認めないので、他人の子でも悪い事をしていたら注意しようと思うがなかなか出来ない。

女 70～79歳 長岡

国際化

- ・瑞穂は特区には申請しないのか。せっかく外国語を勉強出来る環境なのにもったいない。

男 30～39歳 武蔵野

文化・芸術

- ・スカイホールをもっと利用して欲しい。小・中学生向けに能、歌舞伎、オーケストラ、演劇等安価で企画して頂きたい。

女 30～39歳 元狭山

- ・スカイホールについて。駐車場が整備されておらず、駐車スペースも少ない。急な坂がづらい。ということでホールの使用頻度も少ないと聞く。近隣市のホールは演目も幅広い。町外者を呼び込め、町民も満足出来る運営を期待する。

女 40～49歳 石畑

- ・文化の日に毎年スカイホールで行われる文化祭に出演するのをとても楽しみにしていたのに、今年は当日使えないとの事で10月に前倒しになってしまった。文化の日に町民の前でやるところに意味があるので、文化祭の開催日の件を来年こそは元に戻して欲しい。

女 50～54歳 元狭山

- ・耕心館は施設としては不要。スカイホールは何故使用しないのか分からない。

女 65～69歳 箱根ヶ崎

- ・スカイホールは豪華すぎる。あのような建物はもう作らないでほしい。運営費は赤字だと思われるが、負債額を公示して頂きたい。

女 65～69歳 武蔵野

町民総参画社会

- ・ボランティアを専門領域に活用して欲しい。

女 70～79歳 長岡

7. 行政

効率的かつ効果的な行財政の運営

- ・町の嘱託職員の採用について。近隣市では5年の任期満了後は2年間登録できないことになっており、かつ臨時職員期間もカウントされる。しかし瑞穂町では嘱託の任期満了後そのまま臨時職員にスライドし、1年後に復帰というケースを認めている。一部の者だけに雇用の機会を与えるのは問題がある。人材が不足しているのであれば、広報だけでなく、職安の利用も考えればよい。来年度は是正して頂きたい。

男 30～39歳 石畑

- ・市制をめざして欲しい。

男 30～39歳 箱根ヶ崎

- ・早く市にして欲しい。

男 30～39歳 元狭山

- ・税金を使う際の計画書を町民に周知して欲しい。

男 30～39歳 不明

- ・役場で大声を出しているオンブズマンは迷惑だ。

男 30～39歳 不明

- ・近隣市町村と連携しながら、公共施設などの人件費他各種コストを切りつめる。公務員の大幅な人員削減をし、民間派遣社員の活用を。

男 30～39歳 石畑

- ・町内の全世帯へ年金の明細を配付する。

男 30～39歳 石畑

- ・町会議員が多すぎる。

男 30～39歳 箱根ヶ崎

内容	性別	年齢	居住地区
・ 町政についてあまり関心がないので情報もなく、よく分からない。	男	30～39歳	長岡
・ 税金が多すぎる。	男	30～39歳	元狭山
・ 転入後間もないので、町政についてはよくわからない。	男	30～39歳	元狭山
・ 民間企業のように、トップの考えを皆に確実に理解させる事や、決めた目標を責任を持って実施することが重要。	男	30～39歳	不明
・ 町内会の役職手当は出す必要がない。コンパニオンをつけての飲み食いなどのある無駄な研修旅行もなくてよい。青少年委員も、高校生がタバコを吸っていても注意もしないのはおかしい。町の職員は民間企業に負けないくらいよく頑張っているのだから、待遇にはしっかり反映し、職員の意見も町政に取り込まれる事を期待する。	男	40～49歳	箱根ヶ崎
・ サッカーも出来ない中途半端なグラウンドや、使いでのわるいスカイホールや耕心館。体育祭はいまどきどうかと思うし、騒音公害をまき散らす基地とベタベタつきあう交流協会や本数の極端に少ない駅等、不便な点を何とかしていきたい。	男	40～49歳	箱根ヶ崎
・ 福祉課に専門の大学卒業者をおいて頂きたい。	男	50～54歳	石畑
・ 庁舎をもっとセンスのある建物に変えて欲しい。	男	50～54歳	箱根ヶ崎
・ 町の職員の対応はたいへんよい。	男	50～54歳	箱根ヶ崎
・ 近隣の環境問題で環境課に電話相談した際、苦情申し立て者の名前を相手に言わないといけなくて名前を名乗れと言われたが、これでは相談する気になれない。相談がないから問題もないという風になるまえに、相談しやすい体制づくりを望む。	男	50～54歳	元狭山
・ 高根地区で道路舗装工事があった際に、一緒に自分の庭も舗装した家が数軒有るが、これは問題はないのか。きちんと自費で工事したのかどうか紛らわしいようなことは努めてすべきではない。事実と関係ないところで行政不信のもとになってしまう。	男	50～54歳	元狭山
・ アンケート設問の8については、町民に聞く前に、どれも積極的に実行すべき事だ。	男	50～54歳	武蔵野
・ 役場の毎週木曜日の窓口業務延長は有り難い。	男	50～54歳	武蔵野
・ 役場に相談に行ったとき、職員達が仕事の手を止めて何となくこちらの事を聞いていたのが非常に不愉快だった。仕事中に机の上にお茶やお菓子が出ている事も多いし、働かない人が多すぎる。	男	60～64歳	石畑
・ 役場の住民課の窓口業務は対応に時間がかかりすぎる。	男	60～64歳	石畑
・ 町の職員のために協力は惜しまない。	男	60～64歳	石畑
・ 瑞穂町は古い体質の人間が町民にも議員にも多く、このままでは町の改善は望めない。町の職員はもらった給料を自分のために使うだけではない。その3分の1は町のために使うように。	男	60～64歳	箱根ヶ崎
・ 景気対策の必要がある。	男	65～69歳	長岡
・ 財政難の中で、広報によると、健全度の評価が高いという事で心強い。	男	70～79歳	殿ヶ谷
・ 民間と比較すると町職員が多すぎる。もっと少数でよい。窓口の対応もやさしく親切にして欲しい。	男	70～79歳	箱根ヶ崎

内容	性別	年齢	居住地区
・町のサービスが何か上からものをいわれている感じがする。民間を見習って町民を第一に考えて欲しい。	女	20～29歳	長岡
・瑞穂町は、公共施設が遠く、医療機関も身近にないため、車がなければ非常に生活しづらい環境にある。高齢化のまえに郵便局や役場の出張所をショッピングモール近辺に置くなどの工夫が必要ではないか。	女	20～29歳	元狭山
・役場の職員の態度が悪すぎて、役場に行くと不愉快になる。住民が一番瑞穂の事は分かっているのだから、職員に瑞穂町住民を増やしていくべき。	女	20～29歳	元狭山
・町の職員は原価意識を持って労働すべき。	女	30～39歳	石畑
・瑞穂町だけでなく、国中いろいろと根本的な見直しが必要。	女	30～39歳	箱根ヶ崎
・図書館が祝日に営業しないのは利用者視点にたっていない。銀行も休日営業しているのに、民間に比べて努力が足りない。	女	30～39歳	箱根ヶ崎
・役場の窓口の対応がわるい。もっと来客に対して即座に対応して欲しい。	女	30～39歳	箱根ヶ崎
・福祉課の個人情報管理に疑問がある。諸々の個人情報が記載された葉書が例年届いていたが、今年に限って届かず、問い合わせたところ、出し忘れだったという。しかし、役場で直接受付した際に手渡された用紙は、例年の情報が記載されたものではなかった。あの用紙はどこへ行ったのか。紛失事件ではないのか。	女	30～39歳	長岡
・瑞穂町は高齢者や地元の人が多く、活気がない。町長の顔も見た事がない。町長は若い有望な人材に変えるべきだ。	女	30～39歳	長岡
・昼間は仕事、休日は出かけてしまうので、住んでいるのにあまり瑞穂町にない事に気がついた。昔より施設等はかなり改善されていて良いが、役場の窓口業務の休日対応や、役場とコミュニティセンターの業務連携が出来てくると良い。	女	30～39歳	武蔵野
・23区内から最近転入したが、いろんな事がおおざっぱすぎて分からない。とくに役場から配付された地図は問題が多い。地元のひとには分かり切っている事かも知れないが、病院に行こうと思ったが、さっぱり意味が分からない。役場の出張所もないし、住民票もとれない。もっと町民の利用しやすいサービス体制を整えて欲しい。	女	30～39歳	武蔵野
・町議、町職員は一般企業で働くものと同様に危機感を持って働いて欲しい。	女	30～39歳	箱根ヶ崎
・役場の職員の対応が不親切で、職員同士のなれ合いの態度が見苦しい。民間のような厳しさが無い。	女	30～39歳	箱根ヶ崎
・箱物施設が負担になっているようですが、立派なものがありながら運営がうまく行かない原因は行政が一番分かっているはず。責任を町民に押しつける前に、よりよいサービスのために考えて欲しい。	女	30～39歳	箱根ヶ崎
・役場の窓口業務が、毎週木曜は夜間延長に対応しているが、できれば土曜日も半日でいいから開けて欲しい。働いているので休みの方が出やすい。	女	30～39歳	元狭山
・他県からの転入者だが、瑞穂町の駅が箱根ヶ崎というのはどうなのか。都内では知らない人も多いので、「みずほ」などにしたら外部による町の認知度も上がるのではないか。	女	30～39歳	武蔵野

内容	性別	年齢	居住地区
・ゴミの減量化のために分別収集が始まったが、他市町村に比べ展開が後手に回っている。これまで捨ててきたゴミが資源として活かされなかった事に腹が立つ。まわりに併せて動くのではなく、積極的に施策展開して頂きたい。	女	30～39歳	武蔵野
・役場に行くと、暇そうにしている職員が多く、その割にはマニュアル通りの対応しかしてくれない。	女	40～49歳	石畑
・役場の職員の方は親切で、田舎っていいなとほっとさせられる。	女	40～49歳	長岡
・町の職員に若い年代の人を多く採用し、町全体を活性化してもらいたい。	女	40～49歳	元狭山
・広報の紙質が上等すぎる。もっと中身重視で願いたい。	女	40～49歳	武蔵野
・サービス業で、窓口業務の時間中に役場に行く事ができない。毎回有給休暇を取っての事になるが、そのたびに業務に時間がかかりすぎてどうかと思う。	女	40～49歳	武蔵野
・行政に係わるひとには、代々土地持ちの人が多く、町民の不満などは届いていない。そこを何とかして欲しい。	女	40～49歳	武蔵野
・役場の職員も大変だとは思いますが、もうすこし色々よそを見習って欲しいときもある。	女	50～54歳	長岡
・国民健康保険や年金の変更手続きに時間がかかりすぎる。	女	60～64歳	石畑
・役場の職員が胸にネームを付けているのは、親しみが持てて良い。	女	60～64歳	石畑
・施設を作る際は、作った後の維持管理費もふくめて無駄な支出を抑えて欲しい。	女	60～64歳	箱根ヶ崎
・まちづくりはひとつづくりである。また庁内に縦割り行政の部分を強く感じるので改善を望む。	女	60～64歳	箱根ヶ崎
・時計台や平和祈念塔にお金を使うことに、町長のビジョンのなさを感じる。	女	60～64歳	元狭山
・広報がよそに比べて紙質が豪華すぎる。	女	65～69歳	箱根ヶ崎
・町の地域活動委員には同じ人物が多い。	女	65～69歳	箱根ヶ崎
・自治会を基盤に選出された無能な議員が多く、給料目当ての議員生活に税金が支払われている点に幻滅を感じる。議員の義務遂行を問う意味で、町民との討論会を行ってほしい。	女	65～69歳	武蔵野
・年齢性別を問わず、役場で臨時職員を募集して欲しい。公募の際には、論文の提出を条件にして公平な採用を。	女	65～69歳	武蔵野
・行政は限られた予算で効率よく運営していると評価している。	女	70～79歳	殿ヶ谷
・役場の職員は外来者に分かりやすく対応して欲しい。	女	70～79歳	長岡
・税金の無駄な使い方がないように、政治に詳しくない人にも分かりやすく教えて欲しい。	女	70～79歳	長岡
・町政について詳しい情報がないのでよく分からない。	女	70～79歳	元狭山
・町長の政策には満足して生活している。	女	80歳以上	箱根ヶ崎
・社会的な問題が合併すれば解決するわけではない。瑞穂町は合併せずに全国的なモデルをめざすべき。	女	80歳以上	武蔵野

内容	性別	年齢	居住地区
・ 町の職員は、公務員というよりサービス業であるというところを認識して頂きたい。	不明	40～49歳	箱根ヶ崎
町民との協働によるまちづくり			
・ 便利でよりよい町になるように、みんなで協力していきたい。	男	30～39歳	石畑
・ 町長と対話の機会を設けて欲しい。	男	30～39歳	箱根ヶ崎
・ 2～30年先の子どものために計画を立ててもらいたい。	男	30～39歳	長岡
・ アンケート調査はもっと頻繁に行い、町民の意見を施策に積極的に取り入れて欲しい。	男	30～39歳	武蔵野
・ 快適なまちづくりに期待している。	男	30～39歳	武蔵野
・ コストがかかっているかどうかの設問で、町民が気づいているところはよほど問題があるところだと思われるので、即刻対応が必要である。	男	30～39歳	不明
・ 町民の意見を施策に反映して欲しい。	男	40～49歳	殿ヶ谷
・ 町の主催のイベントは自治会経由で広報するのではなく、個人対象に申し込みを受け付けて頂きたい。個人の自主的な意志を尊重するべき。	男	50～54歳	石畑
・ 計画性が低い町政に思える。町民への説明の機会を多くして欲しい。	男	50～54歳	石畑
・ まちづくりに町民の意見を積極的に取り入れて欲しい。	男	60～64歳	武蔵野
・ 町の情報がなかなか入らないので、アンケートに回答しにくい箇所がいくつもあった。金銭面だけでなく、目標の達成度が分かるので、予算の一覧等は広報で告知しても良いのでは。また議員は町民の声を直接聞く機会をもっと設けてはどうか。どういう理由で町民がその意見を持つようになったのか、そこが重要である。	男	70～79歳	石畑
・ 町民参加でまちづくりを見直していくと良い。	女	30～39歳	元狭山
・ 町会議員と町民の対話の機会があって良いのでは。	女	60～64歳	武蔵野
・ 選挙の投票率向上。	不明	不明	箱根ヶ崎
広域行政の推進			
・ 福生病院の荒廃が心配。近隣市町と連携して医療機関を確保して頂きたい。	女	30～39歳	箱根ヶ崎
・ 国が福祉サービスを地方に押しつけてきた以上、自治体の豊かさが住民の福祉に影響してくる事は確実にあった。近隣市との連携も考えつつサービスの運営を考えて頂きたい。	女	30～39歳	箱根ヶ崎
・ まちづくり構想にはじっくり時間をかけて取り組みればよい。瑞穂町は大都会の小型化でなく自然環境に恵まれた地域づくりを、近隣の町と交流を図りながら進めていくのがよい。	女	70～79歳	長岡
8. その他			
駐車場			
・ 駅前に駐車場を整備して、パークアンドライドが出来るようにして欲しい。	男	30～39歳	石畑

内容	性別	年齢	居住地区
・ 駅の近くにも駐車場が欲しい。	男	50～54歳	長岡
・ 産業まつり等、近隣市からの来客が多いイベントの際に、駐車場が少ないために早めに帰宅する客が多い。駐車場の増加を期待する。	男	70～79歳	箱根ヶ崎
・ 町内の行事にも町外の方達が参加出来るように駐車場の確保を強く希望する。	女	50～54歳	箱根ヶ崎
合併等			
・ 市町村合併は考えているのか。	男	40～49歳	箱根ヶ崎
・ 他市町との合併には反対。	男	50～54歳	長岡
・ 行政の効率的な運営の観点から、近隣市町との合併が必要では。	男	60～64歳	武蔵野
・ 近隣市と合併して欲しい。	女	30～39歳	箱根ヶ崎
・ 他市と合併して市になる事を希望する。宅地ばかりで何も独創的なものがない中途半端な町のまま10年も変化がない。	女	30～39歳	不明
・ 市制への変更を希望する。	女	50～54歳	武蔵野
・ 早く瑞穂市になってほしい。	女	60～64歳	箱根ヶ崎
・ 住んでみて思うのは、周辺の自治体に比べて本当に取り残されているなという事。合併や電車の複線化の事も含めて行政としてきちんと考えて欲しい。	女	60～64歳	元狭山
・ 将来に向けて羽村市と合併してはどうか。郵便局も瑞穂の業務は羽村に移管されているし、例はいくつもある。市に移行した方がメリットが大きいのではないか。	女	60～64歳	武蔵野
・ 合併して市になってほしい。	女	65～69歳	箱根ヶ崎
・ 瑞穂町に転入して9年たつ。自然環境はよいが、交通、商業施設、ゴミ収集の面で非常に不便を感じる。人口も増減がないので、市制をめざして自然には配慮しつつも再開発をすすめていくのが良いのではないか。	不明	30～39歳	箱根ヶ崎
アンケート			
・ アンケートの趣旨は理解出来るし、試みも良いと思うが、集計結果を公表して欲しい。調査にかかる経費は税金なのだから、一般的に考えると公表するのが当たり前ではないのか。	男	20～29歳	元狭山
・ 町民と役場との橋渡しとしてこのようなアンケートは評価出来る。	男	20～29歳	武蔵野
・ アンケート返信用の封筒にのりをつけておいて欲しかった。	男	20～29歳	武蔵野
・ アンケートで、町政の分野に関する問は分からないところが多く、回答が難しかった。答えられるところだけ選択出来るような工夫が欲しかった。	男	30～39歳	箱根ヶ崎
・ アンケートに参加出来て良かった。	男	30～39歳	長岡
・ アンケートの回収率は分からないが、3000人は少ないのでは。回収率が30%だとすると約1000人の意見で町民の声を判断するのは危険ではないか。	男	30～39歳	不明
・ アンケートの町政に係わる設問で、情報が少なく回答しにくい箇所が多かった。	男	40～49歳	箱根ヶ崎

内容	性別	年齢	居住地区
・ 返信封筒の表面のバーコードが個人を特定するものではないかと気になって仕方がない。	男	60～64歳	長岡
・ 設問の中に基地問題をもっと取り入れるべきでは。また、誘導的な設問が多い気がする。	男	60～64歳	武蔵野
・ アンケート調査に参加出来て良かった。	男	70～79歳	武蔵野
・ アンケートは3000人ではなく、もっと大勢の意見が必要ではないか。もっと若い年齢層が読んで答えやすいアンケートなら、より真実の意見が集まるのではと私は感じた。	女	30～39歳	石畑
・ アンケート結果がどのように町政に活かされるのか知りたい。	女	30～39歳	箱根ヶ崎
・ アンケートは同じ世帯に3枚配付するより、世帯毎に一枚よそに回した方がよいのでは。	女	30～39歳	長岡
・ アンケートの回答が難しい設問が多かった。	女	50～54歳	箱根ヶ崎
・ アンケート設問の、町政の満足度については分かるが、重要度についてはちょっと分からない。	女	65～69歳	殿ヶ谷
・ こういうアンケートの集計結果はあまり当てにならないのではないと思う。	女	65～69歳	箱根ヶ崎
・ 情報がないので回答出来ない設問があった。	女	70～79歳	武蔵野
・ 母が88歳で寝たきりなので、娘が聞き取り代筆した。	女	80歳以上	元狭山
その他			
・ 差別のない町になると良い。	男	30～39歳	箱根ヶ崎
・ 羽村のチューリップや青梅の菖蒲園のように、何々の瑞穂という代名詞がつくようなまちづくりを望む。	男	50～54歳	石畑
・ 良い瑞穂町になって欲しい。	男	70～79歳	長岡
・ 都内外のひとに、瑞穂町がもっと良い印象で知られるようになって欲しい。住みたい町として認識されるような。	女	30～39歳	箱根ヶ崎
・ 町の郵便局が縮小され、大半の人員が羽村郵便局に異動されているために、自分達の会社は大きな打撃を被っている。事態が深刻なので、なんとか都に掛け合って頂きたい。	女	30～39歳	元狭山
・ 個人情報の保護対策として、企業は別として、町独自の電話帳テレパルには個人は記載しなくて良いのではないか。	女	40～49歳	石畑
・ 子育ては自分でやりたい。町の職員にモデルになって頂きたい。結婚して10年近くの子育て期間を経てまた職場に復帰するなど。その間はパートを雇用してくれれば、大勢の人が助かる。	女	60～64歳	殿ヶ谷
・ 郵便局が不便になった。	女	65～69歳	石畑
・ スカイホールは足がわるくて入場出来ないし、体育館にも行った事がない。町民体育祭など一回も見た事がない。町政についても情報が無く、何も分からない。	女	65～69歳	箱根ヶ崎
・ 高根地区は交通、買い物の便が悪い。高齢者や身体不自由なものには住みにくい。	女	70～79歳	箱根ヶ崎
・ 町長は元気な限りずっと続けて欲しい。	女	70～79歳	武蔵野

内容	性別	年齢	居住地区
<ul style="list-style-type: none"> 次世代育成問題を扱う役場の福祉課に勤務していたが、職場でいじめにあい退職した。ひとり親で子どもを2人育てており、まさに次世代育成問題を抱えているのにひどい。再就職のあてもなかなか無く困っている。 	女	不明	殿ヶ谷

參考資料

1 調査票

町民意識調査票

アンケート調査へのご協力をお願い

町民の皆様には、日頃より町政全般にわたり、ご理解、ご協力をいただき厚くお礼申し上げます。

さて、瑞穂町では平成13年度から平成22年度の10年間を計画期間として「人と自然が織りなすまち みずほ - 快適な生活環境をめざして - 」を将来都市像とした長期総合計画をもとに各施策を推進していますが、この度、平成18年度から平成22年度までの町の行政の基本的な指針となる「後期基本計画」を策定することとなりました。

今回のアンケート調査は、瑞穂町にお住まいの皆様に日頃のお考えをお聞きし、後期基本計画作りの基礎資料といたく行うものです。町内にお住まいの20歳以上の方の中から3,000人を無作為に抽出させていただいた結果、あなた様をお願いすることになりました。

つきましては、お忙しいところ誠に恐縮に存じますが、上記の趣旨をご理解の上、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

なお、調査結果はすべて統計処理され、回答者ご自身にご迷惑をおかけすることはありませんので、率直なご意見をお聞かせくださいますようお願い申し上げます。

平成16年9月

瑞穂町長 石塚 幸右衛門

...ご記入にあたって...

1. 宛名のご本人がお答えください。
2. お答えは、質問ごとに「1つ選び」や「2つ以内」など、それぞれ選び方が指定されていますので、ご注意ください。 印は番号を囲むようにつけてください。
3. 「その他」にあてはまる時には、その番号を で囲むとともに、()の中に具体的な内容を記入してください。
4. ご記入いただいたアンケート調査は同封の返信用封筒(切手不要)に入れて、
平成16年9月21日(火)までに 郵便ポストにご投函ください。

このアンケート調査についてご不明な点や質問等がございましたら、瑞穂町役場企画課 企画係(電話557-7468 直通)までお問い合わせください。

はじめに、あなた自身のことについておたずねします。
該当する番号に をつけてください。

．性別 1．男 2．女

．年齢 (9月1日現在) 1．20～29歳 6．60～64歳
2．30～39歳 7．65～69歳
3．40～49歳 8．70～79歳
4．50～54歳 9．80歳以上
5．55～59歳

．職業(主なもの1つに をつけてください)

1．農業 7．学生
2．工業(自営) 8．派遣社員・アルバイト・パート
3．商業・サービス業(自営) 9．専業主婦・主夫
4．会社・団体役員 10．無職
5．会社員・公務員・団体職員 11．その他()
6．自由業

．職場もしくは通学先

1．自宅 4．都内23区 6．通っていない(無職)
2．町内 5．埼玉県 7．その他()
3．多摩地区市町村

．町内の居住年数(瑞穂町に住みはじめてから何年になりますか)

1．2年未満 4．10～19年
2．2～4年 5．20～29年
3．5～9年 6．30年以上

．お住まいの地区

1．殿ヶ谷地区 (町内会名:安住町、表町、仲町、中芝町)
2．石畑地区 (町内会名:東砂町、西砂町、丸町、神明町、表東町、
表上町、上仲町、旭町)
3．箱根ヶ崎地区 (町内会名:東1丁目、西1丁目、2丁目、東3丁目、
中3丁目、西3丁目、4丁目、5丁目、6丁目、7丁目、
8丁目、9丁目、松原町)
4．長岡地区 (町内会名:長岡町、東長岡町、春日町、愛宕町、水保町)
5．元狭山地区 (町内会名:二本木町、駒形町、高根町、富士山町、
栗原町、松山町)
6．武蔵野地区 (町内会名:旭が丘、さかえ町、富士見町、南平町)

瑞穂町の生活についてご意見をおたずねします。

問1 あなたは、瑞穂町を住みよいところと感じていますか、それとも住みにくいところと感じていますか。次の中から適当と思われるものを1つ選び、その番号をで囲んでください。

- | | | |
|------------|------------|-------------|
| 1. 非常に住みよい | 3. 普通 | 5. 非常に住みにくい |
| 2. まあ住みよい | 4. やや住みにくい | |

問2 あなたは、これからもずっと瑞穂町に住み続けたいと思いますか。それとも他のところへ移りたいと思いますか。次の中から適当と思われるものを1つ選び、その番号を で囲んでください。

- | | |
|--------------|----------------|
| 1. ずっと住んでいたい | 問2 - 1へお進みください |
| 2. できれば引越したい | 問2 - 2へお進みください |
| 3. どちらともいえない | 問3へお進みください |
| 4. その他 () | 問3へお進みください |

問2 - 1 (問2で「1. ずっと住んでいたい」とお答えになった方だけ答えてください) その理由は、主として次のどれに当てはまりますか。当てはまるものをすべて選
び、その番号を で囲んでください。

- | | |
|----------------------------|---------------------|
| 1. 自然環境がよい | 9. 騒音、悪臭などなく生活環境がよい |
| 2. 下水道や道路など、都市施設
が整っている | 10. 商業やその他事業に有利 |
| 3. 公共施設が十分である | 11. 仕事の都合 |
| 4. 交通が便利 | 12. 住宅の都合 |
| 5. 買物が便利 | 13. 家族の都合 |
| 6. 子どもの教育環境がよい | 14. 学校の都合 |
| 7. 友人・知人などがいる | 15. その他 |
| 8. 近隣との人間関係がよい | (具体的に) |

問3へお進みください

問2 - 2 (問2で「2.できれば引越したい」とお答えになった方だけ教えてください)
 その理由は、主として次のどれに当てはまりますか。当てはまるものをすべて選び、その番号を で囲んでください。

- | | |
|-------------------------|---------------------|
| 1. 自然環境が悪い | 9. 騒音、悪臭などあり生活環境が悪い |
| 2. 下水道や道路など、都市施設が整っていない | 10. 商業やその他事業に不向き |
| 3. 公共施設が不十分である | 11. 仕事の都合 |
| 4. 交通が不便 | 12. 住宅の都合 |
| 5. 買物が不便 | 13. 家族の都合 |
| 6. 子どもの教育環境が悪い | 14. 学校の都合 |
| 7. 友人・知人などがいない | 15. その他 |
| 8. 近隣との人間関係が悪い | (具体的に) |

問3へお進みください

問3 以下のような行動をとる場合、あなたはどこへ出かけますか。(1)~(7)のそれぞれについて、もっともよく行くと思われる地域を1つずつ選び、その番号を で囲んでください。

	町内	福生市	羽村市	武蔵村山市	昭島市	立川市	八王子市	青梅市	東京23区	埼玉県	その他
(1) 日常生活品(食料品・家庭用品など)の購入	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
(2) 休日のショッピング(衣料品、電化製品など)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
(3) 診療(通院)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
(4) 入院や手術	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
(5) 美術館や博物館等の文化施設の利用	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
(6) 外食	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
(7) 野球やテニス等のスポーツ活動	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11

次に瑞穂町の将来像や現状の評価についておたずねします。

問4 あなたは瑞穂町がどのようなまちになってほしいと思いますか。
次の中から適当と思われるものを3つ以内で選び、その番号を で囲んでください。

1. 企業立地が進む職住近接のまち
2. 道路や鉄道などの交通網の発達したまち
3. 商業や流通機能が整備され、消費生活が便利なまち
4. 良好な住宅環境を備えた住みやすいまち
5. 遊び場や施設が整備され、安心して子供を育てられるまち
6. 豊かな自然を活かした農業の充実したまち
7. 公園や緑地、街路樹などが整備された緑豊かなまち
8. 文化施設や歴史的施設が整備された文化的なまち
9. 学校施設や生涯学習施設などが整備された教育環境のよいまち
10. 集会施設などが整備された地域活動が活発なまち
11. 病院や診療所など医療体制が整ったまち
12. 高齢者や障害のある人のための施設や生活環境の整った福祉を重視するまち
13. 水質汚濁や騒音、振動などが少ない環境のよいまち
14. ボランティア活動やスポーツ活動など町民が活発に活動するまち
15. その他（具体的に)

問5 これからの社会は何を重視するべきと考えますか。次の中から適当と思われるものを3つ以内で選び、その番号を で囲んでください。

- | | |
|-----------------------|----------------------|
| 1. 安心して暮らせること | 9. 地域の中でお互いに助け合うこと |
| 2. 健康的に生活できること | 10. 交流の活発なこと |
| 3. 住み慣れたところで住み続けられること | 11. 思いやりの心に満ちていること |
| 4. 自分の適性や能力を活かせること | 12. 心の豊かさを実感できること |
| 5. 経済発展などによる活力のあること | 13. 生きがいを持ち自己実現できること |
| 6. 物質的な豊かさを実感できること | 14. 自己責任や自立自助に基づくこと |
| 7. 地域や家庭を重視すること | 15. その他 |
| 8. 時間的なゆとりを実感できること | （具体的に) |

問6 あなたは現在、次に掲げる町政分野について、どの程度満足していますか。また、どの程度重視していますか。それぞれの項目ごとにあなたのお気持ちに最も近いものをそれぞれ1つずつ選びその番号を で囲んでください。(カッコ内は施策の例示)

町政の分野	満足度					重要度				
	満足している	満足している どちらかといえば	どちらともいえない	不満である	不満である どちらかといえば	非常に重要である	重要である どちらかといえば	どちらともいえない	重要ではない どちらかといえば	重要ではない
(1) 住宅(良好な居住環境の整備等)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(2) 公園・緑地(公園の整備拡充、平地林の保全等)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(3) 循環型社会(資源循環型社会づくり等)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(4) ごみ・し尿(ごみの減量・再資源化の推進等)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(5) エネルギー(電気・ガスの安定供給、エネルギーの有効利用等)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(6) 環境保全(監視体制の充実、公害の未然防止等)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(7) 環境美化(環境美化の推進、悪化の抑制等)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(8) 景観(町の個性を活かした景観の形成等)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(9) 水道(安定した給水の確保、安全な水の供給等)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(10) 下水道(汚水・雨水対策の推進等)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(11) 基地対策(軍民共用化反対・生活環境の保全の推進等)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(12) 土地利用(計画的な土地利用、市街地整備の促進等)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(13) 土地区画整理(一体的な基盤整備の推進、指導・助成、計画づくりの支援等)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(14) 道路(幹線道路・生活道路の整備等)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(15) 河川(河川環境の整備、治水対策等)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(16) 公共交通(鉄道の充実、バス交通の拡充等)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

町政の分野	満足度					重要度				
	満足している	満足している どちらかといえば	どちらともいえない	不満である どちらかといえば	不満である	非常に重要である	重要である どちらかといえば	どちらともいえない	重要ではない どちらかといえば	重要ではない
(17) 防災（防災体制の確立、防災施設の整備充実等）	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(18) 情報化（総合的情報化の推進等）	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(19) コミュニティ（コミュニティ活動の推進、施設の整備等）	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(20) スポーツ・レクリエーション（スポーツ施設の整備・充実、活動の推進等）	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(21) イベントと観光（イベントの充実、観光の振興等）	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(22) 交通安全（交通環境の整備、交通安全思想の普及等）	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(23) 防犯（治安施設・防犯活動の充実等）	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(24) 消費生活（消費生活の向上、資源などの有効利用等）	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(25) 葬祭（施設の充実等）	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(26) 商業（魅力ある商店街の創出、経営基盤の強化等）	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(27) 工業（都市型工業の誘致、企業経営の安定等）	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(28) 農業（農地と環境の保全、多様な担い手の確保等）	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(29) 保健・医療（健康の保持・増進、医療サービスの充実等）	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(30) 地域福祉（地域福祉活動の支援、ボランティアの育成等）	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(31) 高齢者福祉（多様なニーズに応じた福祉サービスの推進等）	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(32) 児童福祉（子どもを生育させる環境整備、子育て支援システム等）	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(33) 障害者（児）福祉（就労や地域活動への参加支援、生活の安定の促進等）	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

町政の分野	満足度					重要度				
	満足している	満足している どちらかといえば	どちらともいえない	不満である	不満である どちらかといえば	非常に重要である	重要である どちらかといえば	どちらともいえない	重要ではない	重要ではない どちらかといえば
(34) ひとり親福祉（相談・指導体制の充実、就労支援等）	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(35) 低所得者福祉（自立援助、生活安定のための支援等）	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(36) 社会保険制度（国民健康保険事業、介護保険事業、年金相談等）	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(37) 学校教育（教育内容の充実、教育環境の整備等）	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(38) 生涯学習（推進体制・環境の整備、多彩な学習ニーズへの対応等）	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(39) 社会教育（自主性を重視した社会教育活動の促進、図書館活動の充実等）	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(40) 青少年健全育成（地域に根ざした青少年育成活動の展開等）	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(41) 国際化（国際化の推進等）	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(42) 文化・芸術（文化・芸術活動の振興、文化拠点の維持管理等）	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(43) 町民総参画社会（男女平等社会の推進、町民の主体性を活かしたまちづくり等）	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(44) 効率的かつ効果的な行財政の運営（行政改革の推進、効率的な財政運営等）	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(45) 町民との協働によるまちづくり（町民主体のまちづくりの推進等）	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(46) 広域行政の推進（広域的行政課題への対応、新たな広域連携のあり方の研究等）	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

問6 - 1 あなたは現在、町政にどの程度満足していますか。あなたのお気持ちに最も近いものを1つ選び、その番号を で囲んでください。

- | | |
|-------------------|------------------|
| 1. 満足している | 4. どちらかといえば不満である |
| 2. どちらかといえば満足している | 5. 不満である |
| 3. わからない | |

問7 住宅地、商業地、工業地、公共施設、農地などのありかたについて、重要と思われるものを3つ以内で選び、その番号を で囲んでください。

- | |
|---|
| 1. 再開発などによりマンションなどの集合住宅を中心とした住宅地を開発整備する |
| 2. 建築制限などにより一戸建てを中心とした住宅地を形成する |
| 3. 生活道路、下水道、公園などの身近な生活環境を整備する |
| 4. 基地や幹線道路などの騒音、振動などの対策を講じる |
| 5. 幹線道路沿いにショッピングセンターを誘致する |
| 6. 再開発や遊休地（低未利用地）の有効活用による商業の拠点づくりを行う |
| 7. 既存市街地の商店街の活性化を図る |
| 8. 住宅地の周辺に商業施設を分散配置する |
| 9. 公営駐車場をつくり買物がしやすいようにする |
| 10. 今後、工業用地は減少させ、住宅地や商業地を形成する |
| 11. 今後、新しい工業用地を造成し、工業地の拡大を図る |
| 12. 各地区ごとに公共施設を配置する |
| 13. 拠点となる場所に公共施設を集中させる |
| 14. 農地は積極的に保全する |
| 15. 積極的に農地を住宅地などへ転換する |
| 16. その他（具体的に |
| 17. 特にない |

最後に行政と町民の役割などについておたずねします

問8 町では第2次行政改革大綱に沿って行政改革を進めています。あなたは特に何が重要であると考えますか。次の中から3つ以内で選び、その番号を で囲んでください。

1. 町の施設を利用したり、サービスを受ける場合、利用者がある程度の費用を負担をするのは当然である
2. 町の職員は、民間企業同様のコスト意識をもって事務事業を実施し、効率的な運営に努めるべきである
3. 町が新しい事業や施策に取り組んでいくためには、現在の事務事業の見直しや補助金・交付金などの見直しもやむをえない
4. 夜間や休日窓口等、サービス時間の拡大を図るべきである
5. 町役場、その他町の施設の職員数はなるべく増やさないようにし、事務の委託化や臨時職員の採用など、工夫して事務事業を行うべきである
6. 近隣の市や町と連携して共同で事業を実施したり、スポーツ施設や文化施設の共同利用をもっと進めるべきである
7. O A化、情報化にもっと力を入れるべきである
8. その他（具体的に)
9. 特にない
10. わからない

問9 . 地域づくりの主役は町民一人ひとりであり、よりよいまちを創るためには、町民の方々の主体的な活動が期待されています。これからの社会において、あなた自身はどのような活動を行いたいと考えますか。次の中から重要と思われるものを3つ以内で選び、その番号を で囲んでください。

1. ボランティア活動に積極的に参加する
2. 地域社会の活動（自治会など）に積極的に参加する
3. 社会貢献活動（NPO活動等）に積極的に参加する
4. 自分と異なる世代（幼児・子ども・お年寄りなど）と積極的に交流する
5. 育児や教育、介護など、家庭でできることをしっかりと行う
6. 男性も育児や介護などに協力し、女性も仕事などを積極的に行う
7. 自分のできることは自分で行うという自立自助の意識を持つ
8. 食生活や生活リズム、運動などに配慮し、自分の健康管理を行う
9. その他（具体的に _____ ）
10. わからない

問10 行政への町民参加についてどのようにお考えですか。次の中から重要と思われるものを3つ以内で選び、その番号を で囲んでください。

1. 町民の自主的な集まり（まちづくりのグループ等）があれば参加したい
2. 公聴会があれば参加したい
3. 町政モニター(頼まれて、町政について意見を述べる人)として意見を述べたい
4. 町長や議員との懇談会や対話集会があれば参加したい
5. 町長への手紙やホームページへの書込みで、提案・意見を述べたい
6. 陳情・請願等により意見を述べたい
7. 世論調査やアンケートで参加したい
8. 議員や町職員、専門家にまかせておけばよいので、参加する必要はない
9. 町内会（自治会）を通じて参加したい
10. わずらわしいので参加したくない
11. 関心がない
12. その他（具体的に _____ ）
13. わからない

問 11 瑞穂町には、町民会館や地区会館、スカイホール、図書館、中央体育館、町営グラウンドなど、町民が利用するさまざまな公共施設があります。これらの施設をより効果的かつ効率的に活用するにあたり、重視すべき点は何ですか。次の中から重要と思われるものを2つ以内で選び、その番号を で囲んでください。

1. 施設の利用方法について町民の意見を十分に取り入れ、町が運営にあたる
2. 施設の利用方法について町民が検討する場を設け、その結果を尊重し町が運営にあたる
3. 施設の運営を町民参加で行う
4. 施設の運営を民間に委託する
5. 施設を町外の方にも利用しやすいようにして広域的に活用する
6. その他（具体的に _____）
7. わからない

その他、ご意見・ご提案がございましたら下欄にご記入ください。

貴重な時間、ご協力ありがとうございました。